

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和57年度

京 都 市 文 化 観 光 局
財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

京都市内道路試験研究会調査概報

ページ	行数	誤	正
18	27	豊富は	豊富な

序

京都市域には、平安京跡をはじめ、過去数千年に至る間の各時代の遺跡が各所に存在し、周知の埋蔵文化財包蔵地の総面積は、およそ5,000ヘクタールにも及んでいます。

古都といわれてきた京都も現代都市へと変容しつつあり、市内のいたるところで、かつての木造家屋群は、ビルへと変わり続けています。また、土木工事等による発掘件数が年とともに増加の傾向を示しているということは、一方では新たな事実の解明が進むことではありますが、また一方では、それに伴って遺跡が消滅するということにもなります。

このような状況の中で、本市といたしましても、市民や工事関係者の方々などの格別の御協力をいただきながら、保存し得る遺跡は可能な限り保存し、直接保存し難い遺跡については、その状態をできる限り後世に伝えられるように努めてまいりました。

この発掘調査概報は、昭和57年度国庫補助事業として実施した発掘調査の結果をまとめたもので、これが今後ながく活用されるよう念願しています。

おわりに、調査に当たって御協力、御援助をいただいた文化庁をはじめとする関係各位、市民のみなさま方に心から感謝の意を表します。

昭和58年3月

京都市文化観光局

例 言

1. 本書は、京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助を伴う昭和57年度の京都市内遺跡試掘、立会調査概要報告である。

2. 調査箇所は、調査概要一覧表に示した。

3. 本書の執筆分担は以下の通りである。

I 1, 2, 3, 5 家崎孝治

I 4 吉村正親

II 上村和直 加納敬二

4. 試掘、立会調査には、伊賀高弘、伊藤 潔、内田賢二、大槻明義、後藤孝彦、卜田健司、仲山之弘、野村篤美、尾藤徳行、松尾雅章、松尾武彦、宮原健吾、村田 弘、竜子正彦が参加し、資料の整理は、石塚美和子、乾 義子、児玉光世、中西愛子、山形頼子が行った。報告書作成にあたっては上記のもの全員が協力し、家崎、久世康博、辻純一、百瀬正恒、吉村が共同して行った。

大原野地区については、試掘調査、報告書作成とも上村和直、加納敬二が担当し行った。なお、報告書作成にあたっては平安博物館寺島孝一氏より多大な御教示を得た、記して感謝の意を表したい。

5. 本書中に使用した遺構・遺物の番号は、各遺跡毎に付した。遺構の分類記号は、奈良国立文化財研究所の使用例に従った。

6. 今回の調査の方位は国土座標の北を使用し、実測図は北を示した。また実測図に示した高さは、京都会場内に設置してある京都市水準点(H=49.28m T.P)より移しており、標高で示す。

7. 本書に掲載した地図は、京都市都市計画局及び国土地理院発行の地図を調整し、以下のごとく使用した。

平安宮跡 図版18 8000分の1 (京都市都市計画局発行 聚楽廻、壬生各2500分の1)

平安京跡 図版19-28 10000万分の1 (京都市都市計画局発行 花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅各2500分の1)

鳥羽離宮跡 図版29 5000分の1 (京都市都市計画局発行 城南宮、下鳥羽各2500分の1)

白河街区 下鳥羽遺跡 図版30 10000分の1 (京都市都市計画局発行 御所、吉田、三条大橋、岡崎、下鳥羽各2500分の1)

中臣遺跡 図版31 5000分の1 (京都市都市計画局発行 山科、勤修寺各2500分の1)

中久世遺跡 大藪遺跡 東土川遺跡 図版32 10000分の1 (京都市都市計画局発行 寺戸、久世、向日町、久我各2500分の1)

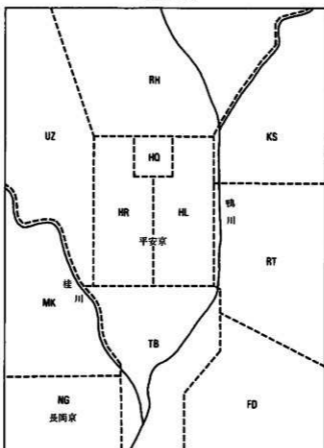
大原野地区 図版33 25000分の1 (国土地理院発行 京都西南部25000分の1)

大原野地区 図版34 5000分の1 (京都市都市計画局発行 小塩2500分の1)

小塩地区 図版35 2000分の1 (大原野農業協同組合発行 1000分の1)

南春日地区 図版36 2000分の1 (大原野農業協同組合発行 1000分の1)

地区設定図



目 次

I 調査の概要	1
1. 左京三条三坊 (HL44)	3
2. 右京二条二坊 (HR81)	6
3. 中久世遺跡 (MK10)	10
4. 東土川遺跡 (NG9)	12
5. 平安京跡試掘、立会調査の課題	15
II 大原野地区の試掘調査	22

図 版 目 次

図版1	平安京 左京三条三坊 (HL44)	1 調査区全景 (北から)
		2 SD1土器出土状況 (南から)
図版2	平安京 右京二条二坊 (HR81)	1 調査区全景 (南から)
		2 SD1・SD2・SK13 (南から)
図版3	1 東土川遺跡 (NG9) 土器出土状況 (北東から)	
	2 中久世遺跡 (MK10) SD1土器出土状況 (北から)	
図版4	平安京 左京三条三坊 (HL44)	SD1出土土器
図版5	平安京 西大宮大路 (HR81)	出土土器1~3
	仁和寺南院跡 (UZ5)	出土土器4, 5
	北白河古墳群 (KS15)	出土土器6~8
図版6	中久世遺跡 (MK10)	出土土器1, 4
	東土川遺跡 (NG9)	出土土器2, 3, 5, 6
図版7	東土川遺跡 (NG9) 出土土器	SD1 (2~11) SK8 (1, 12, 13)
図版8	仁和寺南院跡 (UZ5)	池状遺構出土木製品
図版9	小塩地区1	調査地空撮 (南から)
	2 小塩川西岸全景	(南東から)
図版10	南春日地区1	調査地空撮 (南から)

2 全景 (北西から)

- 図版11 小塩地区 緑釉・無釉陶器
- 図版12 小塩地区 窯道具
- 図版13 小塩地区 緑釉・無釉陶器 (陰刻文様)
- 図版14 小塩地区 出土遺物実測図
- 図版15 小塩地区 出土遺物実測図
- 図版16 小塩地区 出土遺物拓影・実測図
- 図版17 平安京図葉分割図 (調査地点位置図)
- 図版18 平安宮跡
- 図版19 右京 北辺・一・二・三条 三・四坊
- 図版20 右京 北辺・一・二・三条 一・二坊
- 図版21 左京 北辺・一・二・三条 一・二坊
- 図版22 左京 北辺・一・二・三条 三・四坊
- 図版23 右京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版24 右京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版25 左京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版26 左京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版27 右京 八・九条 三・四坊。左京 八・九条 一・二坊
- 図版28 右京 八・九条 一・二坊。左京 八・九条 三・四坊
- 図版29 鳥羽離宮跡
- 図版30 白河街区跡 下鳥羽遺跡
- 図版31 中臣遺跡
- 図版32 中久世遺跡 大藪遺跡 長岡京跡 東土川遺跡
- 図版33 大原野地区
- 図版34 大原野地区
- 図版35 小塩地区
- 図版36 南春日地区

挿 図 目 次

図 1	遺構実測図	3
図 2	SD 1 出土土器実測図	4
図 3	遺構実測図	7
図 4	SD 2 出土土器実測図	8
図 5	SD 3 出土土器実測図	9
図 6	調査位置図	10
図 7	SK 3 SD 1 出土土器実測図	11
図 8	北壁断面及び東壁断面図	12
図 9	線刻土器	13
図 10	SD 1 SK 8 出土土器実測図	14
図 11	現代の京都市	15
図 12	平安京の条坊	16
図 13	土地条件図概略図	17
図 14	遺構・遺物分布図	19
図 15	遺跡堆積状況図	20

表 目 次

表 1	3年間の試掘、立会件数	1
表 2	平安京内の3年間の試掘、立会件数	16
表 3	大原野地区遺跡地名表	23
表 4	大原野窯跡群分布表	23~24
表 5	試掘調査地点一覧表 (小塩地区・南春日地区)	27~29
表 6	遺物観察表	35~38
	調査概要一覧表	39

I 調査概要

昭和57年度現在、京都市内に分布する周知の遺跡（埋蔵文化財）は約800カ所余り、面積にして約50km²、京都市全面積61,061km²の8%強に相当する。

主要な遺跡としては、平安京跡を始め、長岡京跡、鳥羽離宮跡、深草遺跡、伏見城跡、白河街区跡（六勝寺跡）、中臣遺跡などがある。

昭和52年以来、京都市文化観光局文化財保護課は周知の遺跡内における土木工事に際し、試掘、立会調査を行ってきたが、昭和55年度より当調査を財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託し、現在に至っている。

昭和57年度に実施した京都市域における試掘、立会調査件数は788件である。その内訳は、立会調査が671件、試掘調査が117件で、特に遺構の残存状態が良好な13件については、発掘調査に切り換えた。

年度	試掘	立会	計
昭和55年	98	448	546
昭和56年	104	572	676
昭和57年	117	671	788

表1 3年間の試掘、立会件数

今年度の試掘、立会調査で得た新たな成果を以下列挙してみると、まず平安京内の条坊関係の遺構としては、右京六条三坊（HR1）で推定宇多小路東側溝を検出、溝内より平安中期の遺物が出土したのを始め、右京三条二坊（HR30）で、推定西堀川小路の路面と流路を検出、いずれも平安中期の遺物が出土。右京八条二坊

（HR56）で、推定七条大路路面を検出。右京二条二坊（HR81）推定西大宮大路で、南北の河跡を検出、平安前期～鎌倉の遺物が出土。左京八条一坊（HL41）で、推定壬生大路東側溝を検出。左京三条三坊（HL44）で、推定烏丸小路西側溝を検出し、溝内より11世紀中葉の一括土器類が出土。左京八条二坊（HL142）で推定油小路西側溝及び路面を検出。以上の内、西堀川小路、壬生大路、油小路跡検出地については発掘調査に切り換え調査を実施した。平安京内では、内裏外郭に推定される地点（HQ40）で平安初期の土器を多量に包含する遺構を検出、また推定中務省跡（HQ51）で平瓦を敷きつめた遺構を検出、いずれも発掘調査に切り換えた。その他では、推定内裏内郭（HQ81）で、平安前期の溝2条を検出した。

平安京外においても、今年度は多くの成果を得ることができた。仁和寺南院跡（UZ5）

では池状堆積層より動物形、剣形、物差し、木筒などの木製品が平安後期の土器類と共に出土したが、1尺の物差し（約31.0cm）は今まで平安京西市出土のものが知られているだけで、きわめて貴重な資料である。北白川の古墳群（KS15）の立会調査では、古墳時代後期の甕棺が検出され注目される。鳥羽離宮跡（TB38）では、飛鳥時代の遺構を検出し、発掘調査に切り換え、離宮以前の当地を知る新たな知見を得た。また鳥羽離宮跡の南に隣接する下鳥羽遺跡（TB34）の擁壁工事の立会調査においては、当遺跡で始めて奈良～平安時代の明確な遺構の遺存を確認した。東土川遺跡（NG9）では、弥生中期～古墳前期の溝、土壌など集落に直接関係する遺構を検出し、また中久世遺跡においても竪穴住居址の検出（MK7）、弥生中期～古墳前期の溝、土壌が検出され（MK10）、良好な資料を得ることができた。

一方、昭和56年度に分布調査を行なった大原野地区の内、今年度は小塩地区と南春日地区の試掘調査を実施した。調査の結果、窠体そのものの検出はなかったが、窠址で生産された須恵器、緑釉陶器類が多量に出土し、貴重な資料を得ることができた。近くに平安京を控え、供給地と消費地との、また周辺の古窠址群との関連を考える上で多くの新しい資料を提供するものと考え、特に項を設けて報告する。

以上が今年度の試掘、立会調査の主な成果であるが、この3年間に限ってみても、毎年100件を越すペースで調査件数が増大しており、都市再開発の波は激しくなる一方である。平安京内における土木工事件数の増加もさることながら、都市周辺部における開発が著しく増大しており、そのような状況の変化に対処するためには、調査体制の強化と組織の充実及び新たな調査法の再検討が緊急の課題である。十分なる発掘調査体制のとれない土木工事に対しては、今後とも試掘、立会調査を活用して積極的に取り組む必要があろう。

1. 左京三条三坊 (HL44)

1. 調査経過

中京区烏丸通御池下ル虎屋町で、中井二郎氏の中井ビル新築工事に伴う試掘調査を昭和57年5月19日に実施した。工事面積は197.4㎡で、建物基礎部分GL-2.85mまでの総掘りである。当該地は平安京左京三条三坊にあたり、敷地東端付近に烏丸小路の検出が予想されたため、その点に留意して東西3.5m、南北1.7mのトレンチを設定し調査を実施した。調査の結果、GL-2.5mで黄褐色泥砂層に切り込む南北溝を検出し、多量の平安後期の遺物が出土したため、京都市埋蔵文化財調査センター、施工主との協議の上、新たに昭和57年

5月28日から6月5日までの調査期間を設定し、継続調査を行なった。なお、調査面積は東西4m、南北5mの約20㎡である。

2. 遺構

基本層序は、盛土(0.4m)、近世層(1.2m)、中世層(0.6m)、黄褐色泥砂層である。黄褐色泥砂層は無遺物層である。検出した遺構は、土壇11基、溝2条、柱穴8基である。時代は平安中期から室町にわたる。主な遺構としては、烏丸小路西側溝と推定される南北溝SD1がある。SD1は黄褐色泥砂層を切り込んで成立しており、幅1.6m、深さ0.5mの規模をもつ。堆積土は暗灰褐色泥土(第1層)、暗灰色粗砂(第2層)、暗褐色粗砂(第3層)である。第1層と第2層は炭化物が多く混在する。溝内

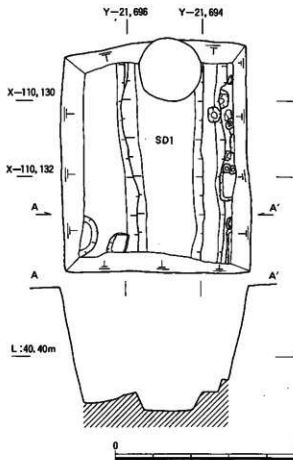


図1 遺構実測図

には多量の土器類が投棄された状態で検出され、土師器皿などは完形品を多く含み、接合するものも多い。SD1の東肩部分には平安中期の遺物を包含する堆積層があり、この溝が使用された時期を、幅をもって考えることができる。

3. 遺物

SD1より出土した土器類の大半は土師器である。土師器皿は、口径が10cm前後のもの、12cm前後のもの、14cm以上のものにと分類できる。10cm前後のものは口縁部を強く横ナデし、口縁端部が内側に肥厚するもの(1, 2)と丸くおさまるもの(3)がある。12cm前後のものには、口縁部を2段に横ナデし、口縁端部が外反して丸くおさまるもの(4, 5)と、口縁部が直線的に外に開き端部が丸くおさまり、糸切り底をもつもの(9, 10)がある。9, 10の胎土は白色系を示す。14cm以上のものは口縁部を2段に横ナデし端部を丸くおさめる(6~8)。

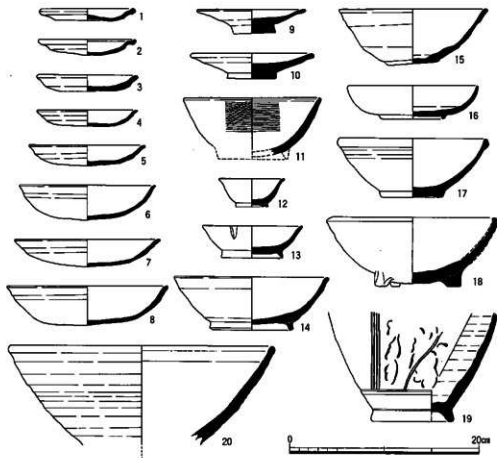


図2 SD1出土土器実測図

18は三足の土師質の鉢で、肥厚した口縁端部を平らに面取りする。器壁の内外面は、二次焼成によって表面剥離が著しい。11は瓦器碗であるが高台部を欠く。12は緑釉陶器の小碗、貼り付け輪高台の内側に段がつく。13は灰釉陶器の小碗、内面にのみ施釉、底部内面には重ね焼き痕が残る。14はいわゆる山茶碗。20の鉢の内面は、きわめて平滑で長期間使用された痕跡を残す。15は須恵器の碗、糸切り底である。16、17、19はいずれも白磁である。その他には鉛ガラスの数珠玉が1個出土している。

4.まとめ

今回検出した溝SD1は、今までの発掘調査などの成果から判断して烏丸小路西側溝と推定される。SD1からは多量の土器類が出土したが、土器の堆積状態を考えると、これらの土器群が埋った時点で、溝の機能は著しく阻害されたものと思われる。図2に載せたSD1出土の土器群はきわめて一括性の高いもので、寛治5年(1091年)の墨書土器が伴出した土器群よりも古い様相をもっており、11世紀中葉に位置付けて考えている。

注 平安京調査会「平安京跡発掘調査報告 左京四条一坊」(1975年)SE8掘形出土の土器群。

2. 右京二条二坊 (HR81)

1. 調査経過

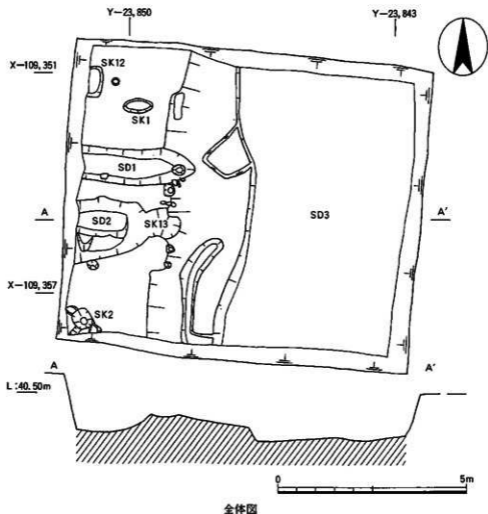
中京区西ノ京南両町31番地の山田グランドハイツ新築工事に伴う試掘調査を昭和57年9月6日に行なった。工事面積は553㎡で、GL-2.0mまでの総掘りである。当該地は平安京右京二条二坊にあたり、西大宮大路に関連する遺構の検出が予想されたため、東西に長いトレンチを2カ所、また宅地部分と推定されるところにトレンチを1カ所あけた。その結果、GL-0.6mで平安～中世の遺物を包含する河状遺構を検出したので、9月11日～9月24日までの調査期間を設定し、継続調査を実施した。調査は、東西9.5m、南北8mのトレンチを設定し、9月11日より機械力によって遺構面までの土砂を取り除き、以後手掘りによって調査を行なった。調査は予定通り9月24日に終了した。

2. 遺構

基本層序は、盛土(0.2m)、暗灰色砂泥(0.16m)、暗茶灰色泥砂(0.2～0.3m)、青灰色砂礫となる。青灰色砂礫は無遺物層で、その上の土層は近世以降のものである。遺構はすべて青灰色砂礫層を切り込んで成立しており、今回検出した遺構は土壇13基、溝3条、柱穴1基で、時期は平安から室町にわたる。出土遺物は遺物箱にして16箱である。南北の流路SD3は幅5m以上、深さ1m程の規模をもつ。主要な堆積土は、上から茶褐色砂泥、黒灰色泥砂、茶灰色砂礫、青灰色砂礫、暗灰色砂泥層で、平安前期から鎌倉までの遺物が出土している。SD1、SD2は東西溝である。SD1は幅0.9m、深さ0.45mの規模をもち、堆積土は暗灰色泥砂、暗茶灰色泥土(腐植土)、灰色粗砂の3層に分かれる。SD2は幅1.6m、深さ0.95mでSD1より規模が大きい。堆積土は4層に分層でき、上から暗灰色砂泥、暗茶灰色泥土(腐植土)、淡灰色泥土、淡灰色泥砂で、SD1と相似した堆積層位を示す。SD2の淡灰色泥土層からは、瓦器の羽釜、鍋などが1カ所にかたまって出土している。SD2とSD3が接するところでSK13を検出した。SK13は長径1.1m、短径0.8m、深さ0.35mの掘形をもち、中には径が20cm～40cmの河原石が埋積した状態で検出された。

3. 遺物

SD3から出土した遺物は土器類が大半で、他に瓦、木器類が少量出土している。遺構の性格上出土土器類は小片のものが多く、比較的豊富な器種、器形のものが出土してい



全体图

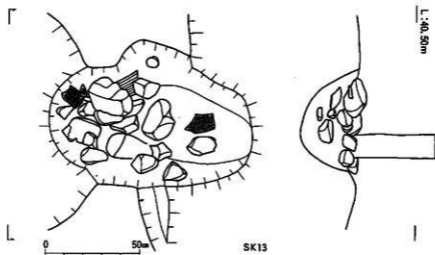


图3 遺構実測図

る。土師器の皿・杯・椀・甕・盤・羽釜、須恵器の杯・蓋・椀・鉢・甕・風字碗・二面碗、黒色土器A、Bタイプの杯、緑釉陶器の皿・段皿・椀、灰釉陶器の皿・椀・壺、瓦器の皿・椀、白磁片などがある。緑釉陶器に比べ灰釉陶器の量は少ない。時期は平安前期から鎌倉までのものがある。SD1からは、土師器、須恵器、黒色土器、灰釉、緑釉陶器、瓦器、白磁、瓦などが出土しているが、小片のものが多い。平安中期から鎌倉におさまるものである。SD2からは土師器、須恵器、灰釉、緑釉陶器、瓦器、白磁、木器片などが出土している。特に完形の瓦器の三足鉢(33)をはじめ羽釜(34、35)、鍋(36)が一括して検出され、この溝の廃絶期を知る手がかりを得た。SK13からはSD2と同時期の遺物が出土しているが、いずれも小片である。

4.まとめ

SD3は西大宮大路に沿って流れる南北の河跡で、出土遺物などから判断して平安～鎌倉にわたって流路として機能していたと考えられる。SD1、SD2ともにSD3から水を取り入れて使用されていたものであろう。特に、SK13は取水施設の一部と考えられる。なお、図3のSK13の杭は近代以降のものである。

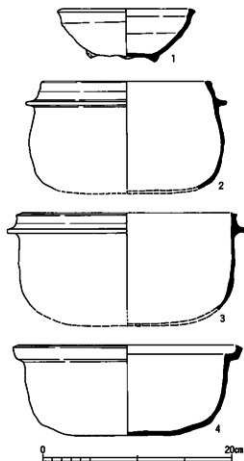


図4 SD2出土土器実測図

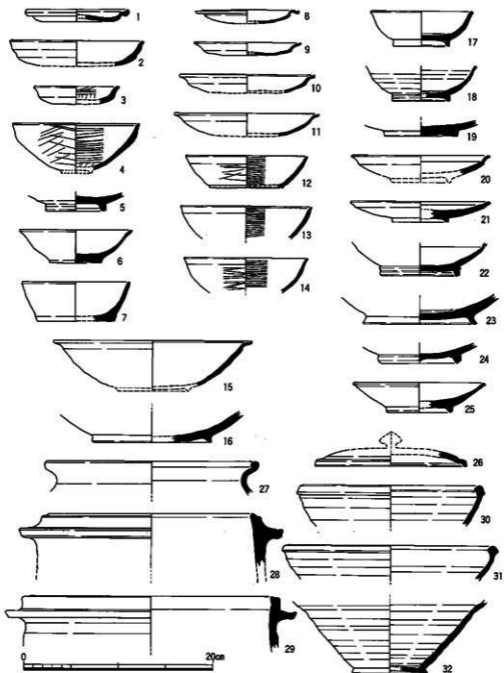


图5 SD3出土土器实测图、土師器1, 2, 5~11, 15, 16, 27~29 須惠器26, 30~32
 黑色土器12~14 瓦器3, 4 綠釉陶器17~23 灰釉陶器24, 25

中久世遺跡 (MK10)

1. 調査経過

南区久世中久世2丁目104番地、小野千成氏の専用住宅新築工事に伴う立会調査を昭和58年1月21日に実施した。建築面積は110.26㎡で、基礎部分を布掘でGL-1.2mまで掘り下げる工事である。当該地は、今までのこの付近における発掘、立会調査などの結果から、良好な遺構の検出が予想されたため、その点に留意して立会したところ、GL-0.9mで弥生～古墳時代の遺構を認めた。ただちにセンターに現状を報告し、施主との協議のうえ、建物基礎部分における継続調査を1月21日より1月27日まで設定し、実施した。

2. 遺構

基本層序は、盛土 (0.6m)、耕土 (0.3m)、黄褐色泥砂層である。黄褐色泥砂層は無遺物層で、弥生以降の遺構はすべてこの上で成立している。溝SD1は幅 0.9m、深さ 0.5m

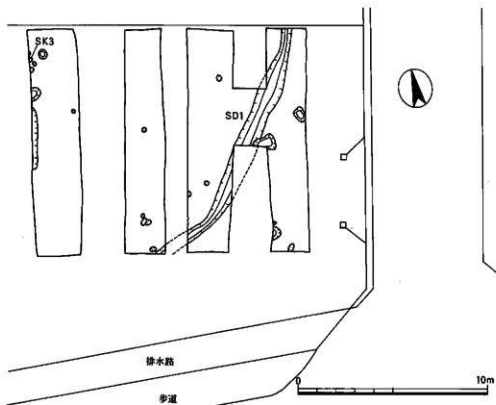


図6 調査位置図

の規模をもち、北から南西方向にゆるやかなカーブを描いて検出された。溝内の堆積土は暗黄褐色泥砂と黄褐色泥砂の上下2層に分層され、上層より完形の壺(6)が出土している。SK3は幅0.3m、深さ0.2m程の小さな掘形をもち、台付甕(1)が出土した。

3. 遺物

壺6は大きく開いた口縁部をもち、端部の平坦面に櫛描き波状文を施す。壺5は口縁部内面に半円状の櫛描き文を施す。2は高杯の脚部である。裾端部に刻み目をつける。これらSD1出土の土器群は弥生中期(畿内第Ⅲ様式)に位置付けられる。台付甕1は、いわゆるS字状口縁部をもつ小型のものである。肩部に櫛描き文を施す。

4. まとめ

SD1は掘形、堆積土などからみて人工的な溝であると考えられる。今回の調査では、住居跡の検出はできなかったが、これより南東約50mの地点での試掘調査(MK7)において竪穴住居跡が見つかっており、この付近に弥生中～古墳前期の集落が確実に存在する。

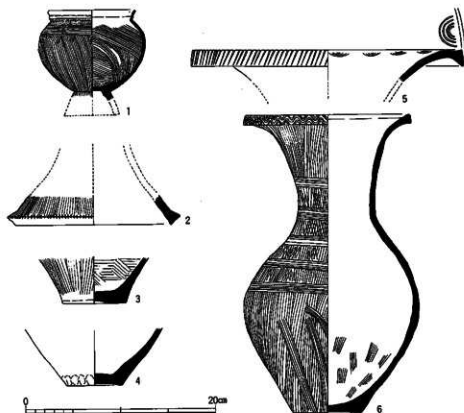


図7 SK3(1) SD1(2~6) 出土土器実測図

東土川遺跡 (NG9)

1. 調査経過

南区久世東土川町334番地で富士電工株式会社の工場増築工事に伴う立会調査を、昭和57年10月5日に実施した。建築面積は89.1㎡、基礎部分を布掘りでGL-1.2mまで掘り下げる工事である。機械掘削を立会していたところ、GL-1.1mで多量の弥生土器を包含する遺構を認めため、センターに連絡し、現場で施主との協議のうえ、3日間の調査期間を設けることになった。10月5日～10月7日にかけて調査を実施した。

2. 遺構

基本層序は、盛土(0.7～0.9m)、耕土(0.3m)で、その下は黄褐色砂泥の無遺物層である。土壌、溝などはすべて黄褐色砂泥層を切り込んで成立している。溝SD1は敷地の東南隅で検出されたもので、屈曲した掘形をもち、西肩は検出されたものの東肩は敷地外のため不明である。幅1.5m以上、深さ0.4m以上の規模があり、明らかに自然流路の様相を示す。SD1の堆積土は、上から暗黄褐色砂泥、暗灰色泥土(炭混)、茶灰色砂泥、灰色泥土の4層に分層される。第2層以下より多量の土器類が出土した。SK8は幅0.3m、深

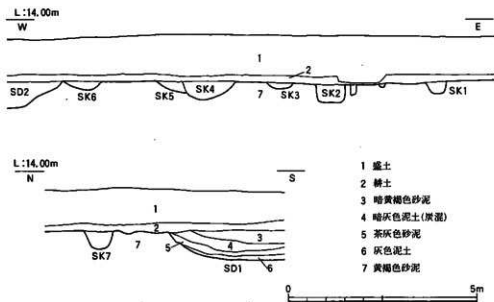


図8 北壁断面図及び東壁断面図

さ0.2mの堀形をもつ。この他に大小20基程の土壇を認めたが、土壇群の埋土は基本的に褐灰色の土色を示す。

3. 遺物

器台1は鼓のように立つもので赤褐色を呈して軟質である。口縁部に4条の凹線をもつ。壺2は、ゆるやかに外反する頸部から直立に立ち上がる受け状の口縁部をもつ。口縁部外面に一条の凹線を入れる。内面は粗いハケ目を施している。壺3は暗褐灰色を呈し、白色砂粒を多く含むもので断面は黒くなる。外反する頸部に短く立ち上がる口縁部をもつ。頸部には刺突文が三条まで認められ、口縁部の受部にも刺突文を施す。壺4は器形がゆるいS字状に立ち上がるもので、胴部上面には櫛描き直線文と列点文を交互に配する。壺5は白黄色で石英粒を含みや軟質、外面は縦方向のヘラ磨きが施され、内面は横ナデ及び斜めにナデる。細頸壺6は外面全面に縦方向のヘラ磨きが施されている。高杯の脚部7は大きく開く裾部をもつ。外面は縦方向のヘラ磨き、内面はナデ、柱部内面には成形時の絞り上げた痕跡が残る。小型の壺8、9はどちらも頸部を欠いている。共に外面はヘラ磨きを施す。長頸壺10は胎土にチャートの混入が多くみられる。頸部内面に絞り目が残り、外面には、櫛描き直線文、波状文を交互に配す。高杯11は表面の磨滅が著しく調整不明、赤色粒及びチャートの混入が非常に多い。壺12は口縁端部に刻み目が施され、口縁部内面にハケによるかき取りがみられる。外面は粗いハケ目が縦に走る。底部14は径が15cm程の大型品で、底部外面には焼成後に削られた一筋の凹みがある。以上の他に石製品として、SD1からは石庵丁、扁平片刃石斧、SK8からは磨製石剣の破片が出土している。また線刻



図9 線刻土器

土器(図9)がSD1より一点出土している。

4. まとめ

今まで東土川遺跡においては、流路以外の遺構は知られていなかったが、今回始めて集落と直接関係する遺構を検出することができ、今後この付近における再開発には留意する必要がある。

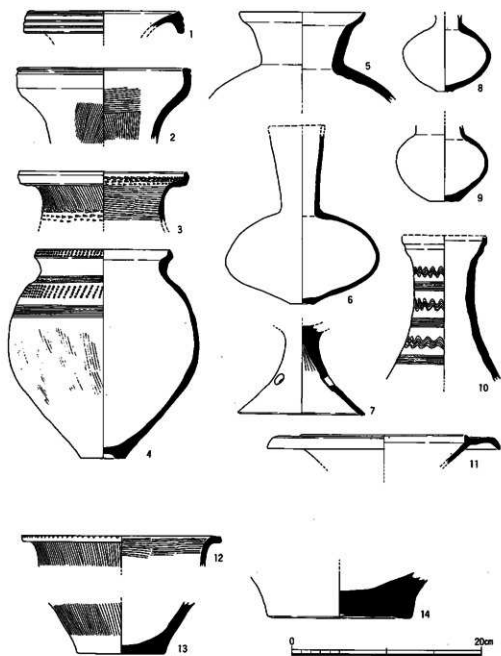


图10 SD 1 (1~11) SK 8 (12~14) 出土土器实测图

平安京跡試掘、立会調査の課題

一 昭和55年度～57年度の調査概要 一

1. はじめに

延暦13年(794年)、桓武天皇によって造営された古代日本の代表的な都城遺跡、平安京は、延喜式(972年)を始めとする多くの文献史料によって、その発展と衰退の歴史過程を辿り明らかにすることができる。しかし、そうした文献史料とは別に、現代京都市の市街地の下には、今なお平安京当時そのままに、建物、道路、溝、井戸跡などが数多く埋蔵されている。古代平安京に生きた人々の生活の痕跡、考古資料が包含する内容は、文献史料からは到底知り得ない歴史過程の一断面を何よりも実体的に物語るものである。

近年、この京都においても都市再開発は著しくとりわけ平安京内における埋蔵文化財の破壊は急速に進行しており、平安京跡の遺跡保存は緊急の課題となっている。京都市では、昭和48年、京都市文化観光資源調査会埋蔵文化財部会において、「平安京跡保護調査の基本



図11 現代の京都市

構想」を行政上の視点から示され、それを受けて昭和51年に財団法人京都市埋蔵文化財研究所が設立された。それ以後、当研究所は京都市域の埋蔵文化財(遺跡)調査の80%以上を担当、実施してきた。昭和55年より当研究所では調査担当部門を、発掘調査と試掘、立会調査とに二分した調査体制を取り、増加する都市再開発に対処する新しい方向を模索した。昭和52年以来、京都市文化財保護課が調査担当してきた京都市域における試掘、立会調査を、平安京跡の特殊性を十分に踏まえた上で積極的に当研究所で、その任務をになうこと

	右京	左京	平安宮	計
昭和55年	120 (15)	193 (37)	63 (12)	376 (64)
昭和56年	159 (25)	213 (39)	83 (14)	455 (78)
昭和57年	173 (20)	258 (27)	87 (13)	518 (60)

表2 平安京内の3年間の試掘、立会件数
()内は試掘件数

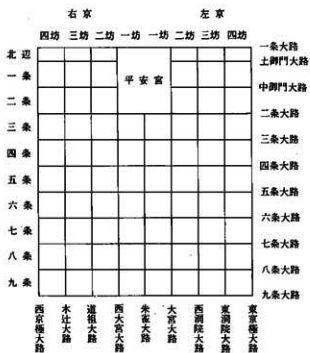


図12 平安京の桑坊

になった。そうした経過を経て、3年間の試掘、立会調査が実施されてきたが、この3年間の平安京内における試掘、立会調査件数は、表2の通り、昭和55年度 376件、昭和56年度 455件、昭和57年度 518件と増加の一途を辿っ

ている。当然それに比例して平安京跡の破壊は確実に進行しているのである。しかし一方では、平安京跡に関する考古資料は増大しており、全ての調査地点における土層堆積図、遺構図、遺物、写真などの膨大な記録が保存されている。本年度は、この3年間の中間報告を含めて、平安京内の地域的変遷を分布図で表し、将来的な課題について若干述べることにする。

平安京は、東西1508丈(約4.5km)、南北1753丈(約5.2km)の規模をもつ。その面積は約23.6km²で、京都市内遺跡の半分近くを占める。大内裏を中

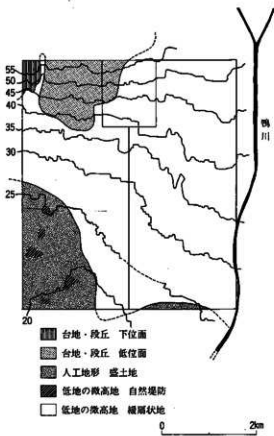


図13 土地条件図概略図

央北部に配し、それより南北に貫く朱雀大路によって西を右京、東を左京に分け、東西9、南北13の大路によって各坊が形成され、一坊は各々小路によって十六町に分割される。それらの条坊は、現代の京都市の街路部とほぼ重複して受け継がれており、平安京路の特徴的な一面をのぞかせている。

昭和52年発行の国土地理院の土地条件図をみると、平安京は標高55mから南へ約5km隔てた標高20mの、比高差1000分の7のゆるやかな沖積扇状地上に成立している。等高線は右京に比べ左京の方が全体的に高くなっている。平安宮西部、二条以北の現在の北野周辺には、台地・段丘の下位面、低位面がせり出しており、安定した土地

環境を形成している。それに引きかえ右京の南西部一帯は、桂川の氾濫原が広範囲におよび、湿潤な土壌環境を呈していることがうかがえる。

2. 平安京以前

平安京が造営された京都盆地の中央部は、沖積層が大部分を占める。現在のところ、平安京城内出土の最古の遺物は、発掘調査によって旧石器時代の有舌尖頭器などが数個体採集されているが、遺跡は未確認である。われわれの試掘、立会調査においては、右京二条二坊（昭和55年度立会調査）で縄文早期に属する押型文深鉢片を採集している。当地点は台地・段丘の低位面の先端部に位置しており、集落が存在する条件は備っている。右京七条二坊では2度にわたり縄文晩期の土器（船橋式）が出土している。いずれも明確な土壌、包含層を確認しており、当地点南側には弥生～古墳時代の集落址・农田町遺跡があることを考えれば、縄文晩期以降この付近で集落が営まれたことは確実である。弥生前期の遺物

としては、左京二条二坊で甕と石庖丁が平安京跡下層の砂礫層（流路堆積）より出土している。これより北東約250mに位置する内膳町遺跡（弥生前期）との関連が考えられる。弥生中期以降になると、平安京域内においても顕著な遺跡の出現がみられる。それはまた京都盆地中央部における弥生文化の定着を裏付けるものである。特に左京四条、五条の三・四坊付近を中心として弥生～古墳時代の遺構・遺物が広範囲に検出されており、二千年來、このあたりはきわめて生活環境に適した空間域を形成してきたことが指摘できる。

3. 平安時代

延喜式の京程の項には、平安京の形態、規模が記録されている。この3年間の試掘、立会調査でも条坊に関連する路面、溝跡などが20カ所以上検出しているが、測量の結果をみると、延喜式に記載された内容とは一致することが判明している。

平安時代の遺構、遺物は、平安京内全域にわたって検出している。しかしその中でも、条坊遺構に限らず平安前期～中期の遺跡の残存状態は、左京に比べ右京の方がはるかに良好である。慶滋保胤の「池亭記」（982年）では、右京における人家の荒廃がすでに9世紀より避けられない事実として述べられている。その理由には社会的な問題と共に、最大の原因が桂川の氾濫による右京の湿潤劣悪な土壌環境にあったことは明白である。平安初期に築かれた条坊、邸宅などが、比較的早い段階で廃絶されていった様子は、右京における遺跡分布の在り方に端的にあらわれている。特に当時の人々の生活圏が左京一帯に移っていく過程は、平安前期～中期と平安後期の分布図を比べてみるとなお一層明らかである。平安後期の遺跡分布はすでに中世的傾向を示しており、平安京が変貌して行く過程を探る重要な問題が内在している。

4. 中世（鎌倉～室町）

平清盛が福原に遷都（1170年）すると共に、平安京は名実とも政治の中心的地位から脱落していった。安元の大火（1177年）によって、平安宮の象徴である大極殿が焼失し、以後ついに再建されることなく荒廃していった事実からもそのことは指摘される。しかし、その一方で平安京は中世的都市への変貌を遂げつつあった。特に、左京においては、中世、近世、近現代と絶えることなく都市生活が営まれ、それらの遺跡堆積層が2m以上に及ぶ地域も少なくない。中世都市の変遷を解明する上で、左京は豊富に考古資料を包含しており、今後の遺跡調査の重要なカギを握る地域である。

5. 遺跡堆積状況図

図15は平安京跡の検出される深さ、つまり平安以降の遺跡堆積層の厚さを表示したもの

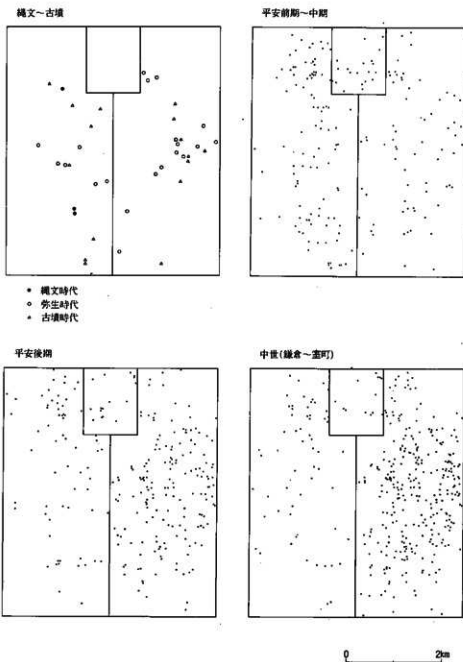


図14 遺構・遺物分布図

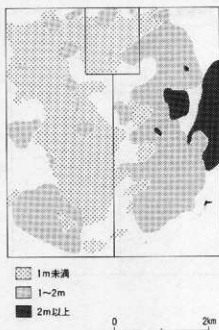


図15 遺跡堆積状況図

6. 結び

平安京は、古代中国の長安、洛陽城を模して造られたとされている。平安京は、ここ10年米の発掘調査などによって条坊遺構を始めとして、建物、井戸、土壌などが数多く検出され、少しずつその実体を明らかにしつつある。今回、3年間の資料を平安京城に限りて縄文～古墳、平安前期～中期、平安後期、中世（鎌倉～室町）の時代別にまとめ概観してみたが、あらためて言うまでもなく、様々な問題、課題が山積している。平安京遷都以前、すでに縄文時代からこの地域には人々の生活が営まれてきたことが、われわれの調査で明確となった。今後、平安京内における当該地域では、積極的に調査目的をもって取り組む必要があろう。一方、平安京跡においては、特に平安宮の実状が問題となる。平安宮跡に限って言えば、平城宮や長岡宮跡に比較して不分明な部分が多い。平安宮の殿舎の配置については裏松園禪の「大内裏図考証」などで詳しく知ることができるが、遺跡そのものの確認は少ない。その大きな理由としては、平安宮に相当する地域が京都市内でも人家の密集した人口密度の高い居住地域であり、当地域における土木工事は100㎡以下の小規模なものが多く、個々の遺構の全体的把握が困難なことがある。しかし今後とも、建築物の設計変更などの遺跡保存の問題と共に、小規模な開発であってもできる限りの発掘調査体制を

である。なお空白部分は、資料が十分でなく表現を省いた地域である。分布図でも端的にあらわれたように、遺跡の密度は右京より左京の方が高い。右京は全体的に遺構面が浅く、大部分が1m未満である。それとは対照的に左京においては、平安京の遺跡は現地表下1m以上、およそ2m前後の深さに遺存する。遺跡の残存状況からいえば、左京では現存の建物の基礎が1m程であれば中世以前、少なくとも平安時代の遺跡は残存している可能性が高いといえる。その反面、比較的平安京造営当初の遺跡が残存する右京では、堆積層が浅いため、再開発によって遺跡が破壊される率が高く、最近の右京再開発の動向からして予断を許さないものがある。

組織して取り組む必要があろう。

平安京跡は、現代の京都の市街地と全く重複している。そして500件を越す土木件数が1年間の内にある、このような状況下で十分な発掘調査体制を組織することは現実には不可能である。われわれは都市遺跡に対応する調査法として、発掘調査とは別に試掘、立会調査を明確に位置付けた。個々の発掘調査では、なかなか把握しにくい遺跡の全体的把握を成し遂げる調査法として試掘、立会調査は最も有効である。堆積土層及び遺構の断面観察を通して、遺跡の立地、層序、拡がり、残存状況などを記録し遺跡の現状を正確に把握することは、遺跡の保存、調査研究を進めて行く上で貴重な資料を提供するものである。確かに個々の遺跡が抱える問題は必ずしも一様ではない。遺跡それ自体の性格によって自ずと調査の取り組み方も異なり方法もあろう。しかし、われわれが実行している試掘、立会調査は、周辺遺跡などにおいても、遺跡の拡がり、新たな集落跡の発見など多くの成果をあげている。現在の都市再開発の激しい波に抗して、様々な調査でもって遺跡の将来的な展望を切り開いて行くことは、現代のわれわれに課せられた緊急の任務であると考えられる。

注 平安京跡における試掘、立会調査の調査は、1975年田中琢氏が「論集平安京研究」第2号（平安京調査会）に紹介された「ロンドンの歴史のゆくて」にその多くを触発され実行しているもので、当調査に限らず公共の上下水道、ガス、電話電気などの広域にわたる立会調査でも実施されている。また、発掘調査においても、臨川寺旧境内遺跡（1978年発行京都市埋蔵文化財研究所調査報告Ⅳ）、平安京左京八条三坊遺跡（1982年発行同Ⅵ）ですでに遺跡周辺部における埋蔵文化財の残存状況の調査報告がなされている。

Ⅱ 大原野地区の試掘調査

1 調査概要

本報告は京都市西京区大原野で実施される土地基盤整備事業予定地において、京都市埋蔵文化財研究所が実施した試掘調査に関するものである。事業予定地の面積は、150000㎡である。この地域一帯には、古墳・窯跡・散布地などが確認されている。1982年7月から3月にかけて当研究所が行なった分布調査による遺跡確認の結果、新たに多くの遺跡の存在が認められた。

今年度の調査は事業予定地のうち、来年度事業が実施される小塩地区と南春日地区の試掘調査である。調査期間は1983年1月24日から3月30日までである。調査対象面積は小塩地区が約3,000㎡、南春日地区が約8,000㎡の広域に及ぶものであった。調査は分布調査の成果に基づき、試掘トレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。遺構・遺物の遺存状態の良好な所、特に、小塩地区では引き続き発掘調査に切り換え、南春日地区では来年度以降の発掘調査対象地となった。

小塩地区は近年の発掘調査・分布調査などから大原野窯跡群の中心に位置し、周辺から緑釉陶器の窯跡等が確認されている。今回の調査は窯跡及びそれに関係する施設の検出を主要な目的とした。南春日地区については、分布調査により、古墳時代から中世にかけての遺物散布を確認していることから、今回の調査ではそれらの時期の遺構・遺物の検出を主要な目的とした。

2 位置と環境

大原野窯跡群は大原野の南西部に広がる丘陵地帯に営まれた奈良時代から平安時代中期にかけての須恵器と緑釉陶器の窯跡群である。窯跡群の所在する丘陵地帯は、河川によって形成された数多くの小丘陵がほぼ南西から北東に延びている。窯跡の分布する丘陵の標高は70mから200mの間である。窯跡が分布する範囲は南北約1.6km、東西約1.0kmの地域である。窯跡が集中して分布しているのは小塩の谷筋で、その周辺の地域では、窯跡が散在している。窯跡が分布する標高は80mから130mの間である。分布調査で確認した窯跡は18カ所であった。これらの窯跡を各地区ごとに北から分けると、南春日地区（南春日町を中心とする）(16)、善峰寺地区（善峰寺川流域の谷筋）(4)、明治池地区（明治池が所在

する谷筋) (1~3, 5)、小塩地区 (小塩川流域の谷筋) (7~11)、天仏講池地区 (天仏講池の所在する谷筋) (6)、大向地区 (大向谷筋) (12, 13)、石作地区 (石作山頂) (14, 15) である。

窯跡の立地は丘陵の南斜面に位置するものが多く、附近一帯では1980年度の分布調査で窯の立地に適した黄色粘土の分布が認められている。窯の形態には三角窯と穴窯とがあり、三角窯には石作窯跡 (14, 15) があり、穴窯には天仏講池 (6) 大向窯跡 (13) がある。

1. 塚原古墳群	14. 大原野神社遺跡	27. 散布地	40. 散布地	53. 灰方古墳群
2. 福西古墳群	15. 散布地	28. 散布地	41. 窯跡	54. 善峰寺経塚
3. 散布地	16. 古墳	29. 円山古墳群	42. 散布地	55. 散布地
4. 散布地	17. 散布地	30. 散布地	43. 散布地	56. 古墳群
5. 散布地	18. 散布地	31. 八幡宮古墳	44. 散布地	57. 散布地
6. 散布地	19. 古墳	32. 散布地	45. 散布地	58. 散布地
7. 散布地	20. 散布地	33. 散布地	46. 天仏講池窯跡	59. 散布地
8. 長壠塚古墳	21. 寺院跡	34. 上羽古墳	47. 明治池窯跡	60. 石作窯跡
9. 勝持寺古墳	22. 大道古墳	35. 散布地	48. 窯跡	61. 古墳群
10. 散布地	23. 南春日窯跡	36. 散布地	49. 窯跡	62. 古墳群
11. 散布地	24. 散布地	37. 散布地	50. 散布地	63. 古墳
12. 散布地	25. 散布地	38. 窯跡	51. 窯跡	64. 芝古墳群
13. 散布地	26. 石見上野古墳	39. 散布地	52. 窯跡	

表3 大原野地区遺跡地名表 (図版33)

No.	名称	所在地	立地	出土遺物	時期	備考
1	明治池1号窯跡	西京区大原野灰力町	丘陵 南斜面	須恵器 (杯・壺・鉢・ 壺・甕)	平安 前期	文献18.
2	2号窯跡					
3	3号窯跡					
4	善峰寺1号窯跡	西京区大原野石作町 小字蓼平前	丘陵 南斜面	無釉陶器 (皿・碗)、窯 壁片	平安 中期	文献19.
5	明治池4号窯跡	西京区大原野小塩町 小字早庄尾	丘陵 南斜面	無釉陶器 (皿・碗)、窯 壁片		文献19.
6	天仏講池窯跡	西京区大原野小塩町	丘陵 南斜面	無釉陶器 (皿・碗・壺・ 甕)、須恵器 (鉢)、 窯壁片	平安 中期	1980年に磁気探 査・ボーリング 調査を実施。灰 原を確認。 文献16.
7	小塩2号窯跡	西京区大原野小塩町 小字下ノ町	丘陵 南斜面	無釉陶器 (皿・碗)、窯 壁片	平安 中期	文献19.

8	小塩3号窯跡	西京区大原野小塩町 小字下ノ町	丘陵 南斜面	無釉陶器(皿・椀)、窯 壁片	平安 中期	文献19。
9	小塩1号窯跡	西京区大原野小塩町 小字トシリ	丘陵 南斜面	無釉陶器(皿・椀・耳 皿・壺)、緑釉陶器(皿・ 椀)	平安 中期	1960年頃に破壊 ・遺物大量に出 土。1979年に発 掘。文献8, 12, 14。
10	小塩4号窯跡	西京区大原野小塩町 小字品谷	丘陵 南斜面	無釉陶器(皿・椀・壺) 緑釉陶器(皿・椀) 竈道具(三叉トチ・サ ヤ)	平安 中期	1983年発掘。 調査トレンチ No.4。
11	小塩5号窯跡	西京区大原野小塩町 小字品谷	丘陵 南斜面	無釉陶器(皿・椀・壺)、 緑釉陶器(皿・椀・壺)、 須恵器(杯・皿・鉢)、窯 壁片、竈道具(サヤ・ 三叉トチ・焼台)	平安 中期	1983年発掘。 調査トレンチ No.14。
12	大向1号窯跡	西京区大原野小塩町 小字大向	丘陵 西斜面	無釉陶器(皿・椀)、 窯壁片	平安 中期	文献19。
13	大向2号窯跡	西京区大原野小塩町 小字大向	丘陵 南斜面	無釉陶器(皿・椀・風 字硯)、須恵器(鉢)、窯 壁片	平安 中期	登り窯。窯体が 壁面に露出。文 献16, 19。
14 15	石作1号窯跡 2号窯跡	西京区大原野石作町 山地	丘陵頂	無釉陶器(皿・椀・壺・香 炉の蓋)、緑釉陶器(皿・ 椀・壺・唾壺、須恵器 (鉢)、竈道具(三叉トチ・ サヤ・焼台)	平安 中期	1979年発掘。 三角窯を発見。 文献4, 15。
16 17 18	南春日町1号窯跡 2号窯跡 3号窯跡	西京区大原野南春日 町小字深谷	丘陵 北斜面	須恵器(杯・鉢・壺) 緑釉陶器	奈良 平安 中期	1980年に灰原を 発掘調査。 文献17。 図版33-23。

表4 大原野窯跡群分布表(図版34)

3 調査経過

小塩地区 調査は1983年1月24日から2月24日まで実施した。調査の方法は各水田毎に3m×3mの試掘トレンチを基本とし、1から3カ所を設定した。当地区では39カ所の試掘トレンチを設定した。調査にあたっては上層から順次手掘りで掘り下げ、完掘後土層の断面実測、写真撮影等の記録作業を行なった。遺構・遺物包含層を検出したトレンチでは、下層まで完掘することを避け、今後の調査に備え調査は必要最小限にとどめた。調査の結果、遺構・遺物の遺存状態が良好なNo.4、12、14、17～19、23については発掘調査に切り換えた。発掘調査は1983年2月25日から3月30日まで実施した。

南春日地区 調査は1983年2月23日から3月28日まで実施した。調査の方法は小塩地区と同様である。当地区では19カ所の試掘トレンチを設定した。調査の結果、No.10、13、15では遺構・遺物の遺存状態が良好であった。

4 遺構

小塩地区 調査地は中央に小塩川が流れる幅広い谷部に位置する。標高は95mから83mで、小塩川に向いゆるやかな河岸段丘になっており、いずれも棚田状に水田が営まれている。分布調査ではNo.4・6・7・10・12・14～18・19・34・35の各トレンチ周辺に遺物の散布が認められた。試掘調査の結果、No.4・14・17・18・23では遺構・遺物包含層を検出した。その他の調査区では耕土・床土下層に厚さ5cmから50cm程度の黄褐色泥砂層が堆積し、その下層は黄褐色砂礫層の地山で、遺構は全く検出できなかった。黄褐色泥砂層では中世から近世にかけての遺物が出土した。

No.4 小塩川西岸の北西部にあたり、調査地内では最も高所に位置する。地形は北西から南東へ傾斜している。標高は92mである。調査は南北3m東西15mの試掘トレンチを設定し、地表下40cmから50cmで遺物包含層を検出した。包含層の厚さは20cmから50cmで、地山直上に堆積している。地山は黄褐色砂礫層で、南へ緩やかに傾斜している。炭・灰・窯壁片等を含む包含層から緑釉陶器・無釉陶器・竈道具等が出土した。

No.14 小塩川西岸の中央部に位置し、地形は西北から南東へ緩やかに傾斜している。標高は89mである。調査は南北3m東西3mの試掘トレンチを設定し、地表下70cmから80cmで遺物包含層を検出した。包含層の厚さは20cmから30cmで、地山直上に堆積している。地山は黄褐色砂礫層で、南へ緩やかに傾斜している。包含層からは無釉陶器・竈道具が多量

に出土した。また包含層中には、炭・窯壁片等を多量に含んでいた。このため、調査区の北西部にあたる地点にNo.6・7・12の試掘トレンチを設定し、調査を行なったが、遺構は検出できなかった。

No.17・18 両トレンチは同一の水田で、小塩川西岸北部に位置している。両トレンチは1979年度に調査が行なわれた小塩1号窯跡の南西にあたり、大きく段差がある。標高は88mである。No.17では南北18m東西2mの試掘トレンチを設定し、地山上面で溝状遺構を検出した。No.18では南北2m東西6mの試掘トレンチを設定し、厚さ70cmの遺物包含層を検出した。地山は両トレンチ共、黄褐色砂礫層で、西から東へ緩やかに傾斜している。No.18の包含層からは緑釉陶器・無釉陶器等が出土した。

No.23 小塩川西岸で、No.17・18の東側に位置する。標高は87mである。調査は南北3m東西3mの試掘トレンチを設定し、地表下30cmから40cmで遺物包含層を検出した。包含層の厚さは10cmから20cmで、地山上面に堆積していた。地山は黄褐色砂礫層で、南西から北東へ緩やかに傾斜している。包含層からは緑釉陶器・無釉陶器が出土した。

南春日地区 調査地は北西から南西に延びる低い丘陵上に位置する。標高は100mから80mで、調査地の北東部では西から東へ傾斜し、南西部では北から南へ傾斜している。傾斜面には棚田状に水田が営まれている。分布調査ではNo.1～12・18の各地点周辺で遺物の散布が認められた。調査の結果No.10・13・15では、遺構・遺物包含層を検出した。その他の調査区では、耕土・床土下層に厚さ20cmから40cmの黄褐色砂泥層が堆積し、その下層は黄褐色泥砂層の地山であった。

No.10 調査地の北部に位置し、標高は93mである。調査は南北3m東西3mの試掘トレンチを設定し、地表下20cmから30cmで、遺物包含層を検出した。包含層の厚さは約10cm程度であった。地山は黄褐色泥砂層であった。包含層からは須恵器・土師器が出土した。

No.13 調査地の中央部で、北から南へ傾斜し、標高は88mである。調査は南北3m東西3mの試掘トレンチを設定し、地表下40cmから50cmで、地山を切り込む溝状遺構を検出した。地山は黄褐色泥砂層である。溝状遺構からは須恵器が出土した。

No.15 調査地の南部で、北西から南東へ傾斜し、標高は84mである。調査は南北3m東西3mの試掘トレンチを設定し、地表下30cmで茶灰色砂泥層を切り込む炭層を含む落ち込みを検出した。地山は黄褐色泥砂層である。

表5 試掘調査地点一覧表

小塩地区 (図版35)

No.	大きさ (m)	調査概要	遺物	備考
1	3×3	床土下で厚さ40cmの遺物包含層検出。ベース面は凸凹多く、北東部で落ちこむ。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、黒色土器、青磁、磁器。	
2	3×3	床土下で厚さ20cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、瓦器。	
3	3×3	床土下で厚さ20cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、土師器、瓦器、白磁。	
4	3×15	床土下で遺物・炭・灰を多量に含む包含層検出。	無釉陶器、緑釉陶器、須恵器、青磁、瓦、窯道具、窯壁片。	発掘調査に切り換える。
5	3×3	床土下で厚さ50cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、白磁。	
6	3×3	床土下で厚さ10cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、瓦器、青磁。	
7	3×3	床土下で厚さ40cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、土師器、黒色土器。	
8	3×3	床土下で厚さ40cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、白磁、磁器、瓦器。	
9	3×3	床土下で厚さ40cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、土師器、黒色土器、白磁、磁器。	
10	1×8.6	床土下で厚さ10cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、磁器。	
11	3×3	床土下で厚さ50cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、黒色土器、瓦器、青磁。	
12	3×3	床土下地山上面で南側への落ちこみを検出。	無釉陶器、土師器。	発掘調査に切り換える。 (14と接続)
13	3×3	床土下で厚さ50cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、瓦器、陶器、磁器。	
14	3×3	床土下で遺物・炭を多量に含む包含層検出。	無釉陶器、須恵器、緑釉陶器、土師器、銭(開元通宝)、窯壁片、窯道具。	発掘調査に切り換える。 (12と接続)
15	3×3	床土下で厚さ70cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、黒色土器、銭。	
16	3×3	床土下で厚さ60cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、土師器、陶器、磁器、黒色土器、窯壁。	

17	2×18	床土下地山上面で土埧・溝検出。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、陶器、銭。	発掘調査に切り換える。 (17、18接続)
18	2×6	床土下で遺物包含層を検出。	無釉陶器、緑釉陶器、須恵器、土師器、陶器、瓦器、磁器、瓦。	
19	2×15	床土直下で地山検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、須恵器、瓦器、磁器。	
20	3×3	床土直下で地山検出。遺構なし。	なし。	
21	3×3	床土下で厚さ70cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、土師器、白磁、磁器。	
22	2×2	床土直下で地山検出。遺構なし。	無釉陶器、陶器、磁器。	
23	3×3	床土下で遺物包含層を検出。	無釉陶器、緑釉陶器、陶器、白磁、磁器、瓦器、瓦。	発掘調査に切り換える。
24	3×3	床土下で厚さ50cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、窯壁、青磁。	
25	3×3	床土下で厚さ50cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、白磁。	
26	3×3	床土下で厚さ60cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、瓦器、陶器、磁器。	
27	18×2	耕土直下で地山検出。遺構なし。	無釉陶器、陶器、磁器。	
28	3×3	床土下で厚さ40cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、陶器、磁器、銭。	
29	3×3	床土直下で地山検出。遺構なし。	陶器。	
30	3×3	耕土直下で地山検出。遺構なし。	無釉陶器、磁器。	
31	3×3	床土下で厚さ30cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、土師器、白磁、陶器。	
32	3×3	床土下で厚さ60cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、チャート片。	
33	3×3	床土直下で地山検出。遺構なし。	なし。	
34	3×3	床土下で東西方向の溝(近世)を検出。他遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、瓦器、青磁。	
35	3×3	床土下で厚さ30cmの遺物包含層検出。遺構なし。	無釉陶器、緑釉陶器、土師器、瓦器。	
36	1×6	床土直下で地山検出。遺構なし。	なし。	

37	3×3	床土直下で地山検出。遺構なし。	なし。	
38	3×3	床土直下で地山検出。遺構なし。	なし。	
39	2×5	床土直下で地山検出。遺構なし。	なし。	

南春日地区 (図版36)

No	大きさ (m)	調査概要	遺物	備考
1	3×3	床土下で厚さ30cmの遺物包含層検出。地山面にこぶし大の石が散布する。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器、陶器、瓦。	
2	2×2	床土下で地山検出。遺構なし。	須恵器、土師器、陶器、瓦器、磁器。	
3	3×3	床土下で厚さ20cmの遺物包含層検出。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器、瓦。	
4	2×2	床土下で厚さ30cmの遺物包含層検出。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器、磁器、銭。	
5	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	なし。	
6	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	須恵器、土師器、陶器、瓦器、磁器。	
7	3×3	床土下で厚さ20cmの遺物包含層検出。遺構なし。	なし。	
8	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	なし。	
9	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	須恵器、土師器、磁器。	
10	3×3	床土下で厚さ10cmの遺物包含層検出。	須恵器、土師器、瓦器。	発掘調査予定。
11	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器、磁器。	
12	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器。	
13	3×3	床土下で、地山上面を掘り込む。溝状遺構を検出。	須恵器、土師器、磁器。	発掘調査予定。
14	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	なし。	
15	3×4	床土下で炭層検出。遺物多く含む。	須恵器、土師器、瓦器、磁器。	発掘調査予定。
16	3×3	床土下で厚さ30cmの遺物包含層検出。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器。	
17	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	土師器、瓦器、磁器。	
18	3×3	床土下で地山検出。遺構なし。	なし。	
19	3×3	床土下で厚さ20cmの遺物包含層検出。遺構なし。	須恵器、土師器、瓦器、白磁。	

5 遺物

小塩地区

今回の調査で出土した遺物には、土器類・竈道具・瓦類・金属製品類等があり、土器類が大半を占める。

1 土器類

土器類のほとんどが緑釉陶器・無釉陶器・須恵器である。これら以外には灰釉陶器・土師器・黒色土器・瓦器・磁器等が出土しているが、小破片で摩滅したものが多い。ここでは緑釉陶器・無釉陶器・須恵器について若干の所見をまとめておきたい。なお、各土器の観察については、別表としてまとめた。

緑釉陶器・無釉陶器の器形には、大・中・小の椀、稜椀、中・小の皿、段皿、稜皿、耳皿、三足皿、蓋A・B・C、壺、短頸壺、長頸壺、唾壺、手付瓶、香炉等があるが、椀、皿が大半を占める。椀は口縁部が外反し、高台は削り出しで、切り高台と蛇ノ目高台が多く、輪高台が少ない。皿の口縁部は外反するもの、内湾するもの、内湾し内面に沈線を施すものがある。高台には切り高台、蛇ノ目高台、輪高台があり、輪高台が多い。椀、皿の調整は口縁部、体部内外面にロクロナデを施し、体部外面下半のみヘラケズリを施す。器面のヘラミガキは底部、体部、口縁部のいずれも内面に施すが、体部外面にまで施すものは少なくヘラミガキは粗い。ただ、壺、蓋類については体部外面にのみヘラミガキを施す。胎土は青灰色・暗灰色を呈する硬陶と、黄灰色・灰白色を呈する軟陶のものがあり、軟陶のものは少ない。軟陶・硬陶ともに砂粒の少ない精良な陶土をもちいている。硬陶の椀・皿類には重ね焼きの痕跡が底部内面に認められるものがある。釉薬を施したものは量が少なく椀、皿、壺等の器形がある。施釉の範囲は原則として壺の内面を除き、全面に施釉する。釉薬の色調は硬陶のものは濃緑色を呈し、軟陶のものは黄緑色を呈する。陰刻文を施したものは少量で、器形には椀、皿、稜皿、耳皿蓋Cがある。文様の種類には花文、蝶文、雲文があり、いずれも文様は簡略化され、粗雑な施文である。文様は底部内面には花文を施し、稀に雲文と蝶文がある。体部内面の上半部4カ所に蝶文と雲文を施す。椀には体部上半部に蝶文を施すものが数点認められる。口縁端部に施す輪花は、椀、皿類に数点認められる。ヘラ記号は椀、皿の底部内外面に施し、「一」・「二」・「〇」・「△」・「X」等がある。

須恵器の器形には、皿、杯、鉢があり、鉢が大半を占める。皿、杯はロクロ調整で、底部は回転ヘラ切りである。鉢には口縁部の形状により三種類に分かれ、大きさによっても

分かれる。ロクロ調整で、底部は回転糸切り成形である。胎土は精良で青灰色・暗灰色で、固く焼け締まり、緑釉陶器、無釉陶器の硬陶の胎土と同様である。

2 窯道具

窯道具には、サヤ、トチン、増埴状土製品・焼台等がある。増埴状土製品は小型で、内外面に厚く釉薬が付着している。これは石作窯跡で出土したものと類似し、用途は不明である。焼台には中空のもの、そうでないものがある。それらの他に、陶器小片の断面を研磨したものが多数出土した。陶器の調整に使用されたものと考えられ、石作窯、篠・前山窯でも類似したものが出土している。

3 瓦類

瓦類には軒丸瓦と平瓦が出土しているが、量は少なく、いずれも小片で牽滅している。

4 金属製品

金属製品には銭貨が4、5枚出土し、No14の遺物包含層からは「開元通寶」が出土している。「開元通寶」は、ほぼ完形で鑄上がりは不良で、背面上方に卯月「ㄣ」の鑄印がある。

南春日地区

今回の調査で出土した遺物には、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、陶器、磁器、瓦、金属製品等で、いずれも少量で小片である。

6 まとめ

小塩地区

小塩地区は調査対象地のほぼ全域で試掘調査を行なった。分布調査で確認した遺物散布の密度が高い範囲に設定した4カ所のトレンチでは、遺物包含層・遺構を検出した。しかしながら、その他の調査区では、中、近世の若干の遺物が出土した以外、遺構は全く認められなかった。これは中、近世に行なわれた水田開墾の際、旧地形は著しく削平を受けたためと考えられる。No4・14の試掘トレンチでは、炭・灰・窯壁片や焼けひずみ等の焼成時の不良品を含む遺物包含層を検出した。しかし、窯跡に関連する遺構、土層は検出できず、包含層は二次的なものであることが判明した。しかしながら地形などから考え、近辺に窯跡群を推定することができる。No17、18、23については、遺物包含層は認められたものの、炭・灰等を含んでいないため性格は不明である。従来、調査地周辺は遺物散布により窯跡の存在が推定され、窯跡の位置等については不明な点が多かったが、前年度の分布調査と今回の調査で、ある程度明確になった。

今回出土した多量の陶器、須恵器は、先述した様に、おそらく付近の窯跡で生産されたものである。そのことから、従来、未報告であった小塩窯で生産された陶器の器種構成、成形、調整、施釉等の特徴が今回の調査で明確になった。また、小塩窯では生産されていないと考えられていた陰刻文を施す陶器が多種にわたり出土したことも注目される。これらの陶器には、緑釉を施したものに比べて、無釉のものが多量に認められた。これは亀岡市篠窯跡群の調査で、全陶器に占める緑釉陶器の割合が少ないことと類似している。また、数種の窯道具の出土は、平安時代の陶器生産技術の内容を知る上で貴重な資料であろう。さらに緑釉生産跡で灰釉陶器が数点であるにせよ、出土したことについては今後陶器生産の中で大きな問題となろう。

出土した陶器の年代については、平安京、平城京の調査で出土したものに器形、成形、調整等の点から多く類似品が認められる。類似品には平安京右京一条三坊九・十町-S G 177 B で出土した緑釉陶器の碗・皿、須恵器の鉢・壺や、平安京左京八条三坊一-S G 29 A ^(註3) で出土した緑釉陶器の碗・皿、須恵器の鉢・壺・短頸壺がある。また平城京東三坊大路東側溝 S D 650 上層で出土した緑釉陶器の碗・皿、須恵器の鉢に類似品が認められる。以上 ^(註4) のものはその他の伴出遺物等から、9世紀後半代～10世紀初頭と考えられており、このことから今回出土した遺物も同様の年代が与えられる。

近年、平安京との密接な関係をもつ京都周辺の窯跡群についての研究が進んでおり、大原野窯跡群内の一つである石作窯跡、亀岡市・篠窯跡群での発掘調査等により、窯跡関係の資料は増加の一途をたどっている。今回の小塩窯跡の調査においても、他の窯跡からの出土遺物との比較検討により、陶器生産の内容、位置づけを考える上での重要な資料を得ることができた。

南春日地区

分布調査で確認した遺物散布密度が高い地点について試掘調査を行なったが、中、近世に行なわれた水田開墾のため、旧地形等が著しく削平されていた。そのため遺物は若干出土したものの遺構はNo13、15で検出した土壌を除き、ほとんど認められなかった。出土遺物は小片で、摩滅したものが多く、二次堆積土に含まれる。

注

- 1 緑釉陶器の素地で、緑釉が施されていない陶器。
- 2 平良泰久、伊野近富「平安京跡（右京一条三坊九・十町）昭和55年度発掘調査概要」
（『埋蔵文化財発掘調査概報』1981-1 京都府教育委員会 1981年）

- 3 鈴木廣司、吉川義彦他『左京八条三坊』京都市埋蔵文化財研究所調査報告第6冊
(京都市埋蔵文化財研究所 1982年)
- 4 奈良国立文化財研究所編『平城宮発掘調査報告』VI平城京左京一条三坊の調査
(奈良国立文化財研究所 1974年)

参考文献

総論

- 1 田辺昭三「京都の古代・中世窯」(『日本のやきもの集成5』 平凡社 1981年)
- 2 京都市埋蔵文化財研究所編『平安京発掘資料撰』(京都市埋蔵文化財研究所 1981年)
- 3 寺島孝一「平安京の様相」(『シンポジウム 平安時代の土器、陶器発表要旨』愛知県陶磁資料館 1981年)
- 4 寺島孝一「畿内の緑釉陶窯」(『考古学ジャーナル』211号 1983年)
- 5 京都市編『史料京都の歴史全城篇』2 考古(平凡社 1983年)

洛北窯跡群

- 6 宇佐晋一「緑釉土器窯址本山遺跡とその周辺」(『考古学研究』第15、16号 1956年)
- 7 坂東善平「緑釉陶器資料」(『古代学研究』第39号 1964年)
- 8 坂東善平「京都市内発見の緑釉陶器、私学会館出土の資料」(『古代学研究』第40号 1965年)
- 9 坂東善平「洛北の資料」(『古代文化』第12巻第4号 1964年)
- 10 坂東善平「幡枝町発見の平安時代の須恵器窯跡」(『古代学研究』第57号 1970年)
- 11 同志社大学文化史学専攻生幡枝地区遺跡調査研究グループ「京都市本山、幡枝地区遺跡分布調査の記録」(『考古学資料集』1 1971年)
- 12 寺島孝一「平安京出土の緑釉陶器」(『考古学雑誌』第61巻31号 1976年)
- 13 京都市埋蔵文化財研究所編『坂東善平収蔵品目録』(京都市埋蔵文化財研究所 1980年)

大原野窯跡群

- 14 岩崎誠「小塩窯出土緑釉陶器」(『乙訓文化』36号 1978年)
- 15 寺島孝一「石作窯跡の発掘調査」(『古代文化』第31巻11号 1979年)
- 16 石井望「遺跡確認法の調査研究、昭和54年度実施報告」(京都市埋蔵文化財研究所 1980年)

- 17 京都市埋蔵文化財研究所編『南春日竊跡発掘調査の概要』(京都市埋蔵文化財研究所 1980年)
- 18 吉村正親「明治池古竊跡の発見とその遺物」(『史想』第19号 1981年)
- 19 京都市埋蔵文化財研究所編『京都市内遺跡、試掘、立会調査概報』(京都市文化観光局 1982年)

篠塚跡群

- 20 堤圭三郎「国道9号バイパス関係遺跡発掘調査概要」(『埋蔵文化財発掘調査概要』京都府教育委員会 1976年)
- 21 安藤信策他「国道9号バイパス関係遺跡昭和52年度発掘調査概要」(『埋蔵文化財発掘調査概報』京都府教育委員会 1978年)
- 22 安藤信策「国道9号バイパス関係遺跡発掘調査概要」(『埋蔵文化財発掘調査概要』1979 京都府教育委員会 1979年)
- 23 安藤信策他「篠塚跡群昭和54年度発掘調査概要」(『埋蔵文化財発掘調査概要』1980-1 京都府教育委員会 1980年)
- 24 安藤信策、水谷寿克他「篠塚跡群昭和55年度発掘調査概要」(『埋蔵文化財発掘調査概報』1981-2 京都府教育委員会 1981年)
- 25 水谷寿克「亀岡市篠塚跡群」(『京都府埋蔵文化財情報』創刊号 京都府埋蔵文化財調査研究センター 1981年)
- 26 石井清司「篠、西長尾竊跡発掘調査概要」(『京都府埋蔵文化財情報』第2号 京都府埋蔵文化財調査研究センター 1981年)
- 27 石井清司「篠、西長尾5・6号竊跡発掘調査概要」(『京都府埋蔵文化財情報』第3号 京都府埋蔵文化財調査研究センター 1982年)
- 28 堤圭三郎「亀岡市篠塚跡群」(『丹波史談』112号 丹波史談会 1982年)

表6 遺物観察表

器種	器形	土器番号	形 部 の 特 徴	手 法 の 特 徴	備 考
緑 釉 軸	小型 碗	1	体部は内湾し、口縁部は外反する。高台は切り高台である。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。底部は未切り成形。	無釉・軟陶。 No14で出土。
		2	体部は内湾し、口縁部は外反するもの(4、5)と直線的にのびるもの(2)がある。(6)は体部中位に若干稜が付く。 高台は切り高台(2、5、6)、切り高台の中央部を環状に凹める高台(3)、蛇ノ目高台(4)がある。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。体部外面下半部、高台部はヘラケズリ調整。体部内面は密、外面は雑なヘラミガキ調整。	いずれも重ね焼き痕跡あり。 2～5は無釉・硬陶。 6は緑釉・硬陶。 3、4はNo14で出土。 2、5、6はNo23で出土。
		3			
		4			
		5			
		6			
	大型 碗	7	体部は内湾し、口縁部は内湾する。高台は蛇ノ目高台である。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。体部外面下半部、高台部はヘラケズリ調整。体部内面は密、外面は雑なヘラミガキ調整。	いずれも重ね焼き痕跡あり。 No14で出土。
		8			
無 釉 軸 陶 器	小型 皿	10	体部は直線的にのび口縁部は内湾する。高台は切り高台である。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。体部外面下部・高台部はヘラケズリ調整。体部内・外面は雑なヘラミガキ調整。	重ね焼き痕跡あり。 無釉・硬陶。 No23で出土。
		中 型 皿	9	体部は直線的にのびるもの(11、13)と内湾するもの(9、12、14-17)があり、口縁部は外反するもの(11、13、15)と内湾し内面に凹線を施すもの(9、14、16、17)がある。高台は切り高台(11)、切り高台の中央部を環状に凹める高台(12、13)、蛇ノ目高台(14、15)、輪高台(9、16、17)がある。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。体部外面下半部・高台部はヘラケズリ調整。体部内面は密、外面は雑なヘラミガキ調整。(9)は底部内面に1ヶ所・体部内面に4ヶ所の環文様をヘラで陰刻する。
	11				
	13				
	15				
	17				
	段 皿	18	体部中位内外面に凹線を入れ段にする。体部下半部は内湾し、上半部は外反する。高台は輪高台である。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。体部外面下半部、高台部はヘラケズリ調整。体部・底部内面・体部外面上半部は雑なヘラミガキ調整。	無釉・硬陶。 No4で出土。
椀 皿	19	体部は内湾し中位より屈曲し、口縁部は立ち上り唇外反する。体部外面に稜を付ける。	体部内外面はロクロナデ調整。体部外面下半部はヘラケズリ調整。体部内外面は密なヘラミガキ調整。	濃緑色釉を全面に施 釉。硬陶。 No23で出土。	
耳 皿	20 21	体部は内湾し両側を折り曲げ耳を作る。高台は平底である。	体部内外面、底部内面、高台外面はロクロナデ調整。底部外面は回転糸切り成形。耳部はユビオサエ成形。	20は無釉・硬陶。 21は無釉・軟陶。 No14で出土。	

緑	蓋	蓋 A 25	天井部は内湾し端部は下方へ短く屈曲する。天井部中央に環状のつまみを持つ。	天井部・口縁部内外面はロクロナデ調整。	無釉・硬陶。No19で出土。	
		蓋 B 26	天井部は平坦で端部は下方へ短く屈曲する。	天井部・口縁部内外面はロクロナデ調整。	無釉・硬陶。No18で出土。	
		蓋 C 27	天井部は平坦で中位より下方へ折れ直線的にのびる。中位外面にヘラで凹線を施す。	天井部内外面はロクロナデ調整。天井部外面下半部はヘラケズリ調整。天井部内外面は施なヘラミガキ調整。	無釉・硬陶。灰白色・精良な粘土。No14で出土。	
	無釉陶器	小型瓶	28	外反する口縁の端部を折りまげ、上下端を断面三角形に突出させる。口頸部と体部との接合は2段構成である。	頸部・口縁部内外面はロクロナデ調整。接合部内面はナデ調整。	28は無釉。29は緑灰色釉が若干残る。硬陶。28はNo23で29はNo4で出土。
			29			
		蓋 A	30	平坦な底部に外反する高い高台をもつ。体部は内湾する。	高台部内外面、底部・体部外面はロクロナデ調整。底部・体部内面はロクロナデ調整で凹凸あり。	無釉・硬陶。No14で出土。
			蓋 B 31	平底で底部は内湾する。	体部外面はロクロナデ調整。底部・体部内面はロクロナデ調整で凹凸あり。底部外面は回転糸切り成形。	無釉・硬陶。No14で出土。
		唾壺	32	口縁部は若干内湾する。頸部はゆるやかに屈曲し外面には三角形の凸帯を付ける。	口縁部、頸部内外面はロクロナデ調整。口縁部内外面は密なヘラミガキ調整。頸部外面はヘラで成形する。	無釉・硬陶。No4で出土。
			四足蓋	33	肩はなで肩で体部最大径は下へきがり体部はやや扁平である。体部2ヶ所に3本の凹線を施す。肩から4方に下に向って太くなる三角形の脚部を貼り付ける。	体部内外面はロクロナデ調整。体部外面は密なヘラミガキ調整。脚部はタテ方向のナデ調整。
	須恵	中型瓶		22	体部は内湾するもの(22)と直線的にのびるもの(23)がある。底部は平底である。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。底部外面は回転ヘラ切り成形。
			23			
		中製杯	24	体部は内湾する。底部は平底である。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。底部外面は回転ヘラ切り成形。	灰白色で硬い。No14で出土。
西鉢	鉢 A	35	体部は内湾し、頸部はすばまり口縁部は外反し大きく拡張する。	体部・口縁部内外面はロクロナデ調整。	硬く焼けしめる。灰白色、No14で出土。	
		鉢 B	36	体部は内湾し口縁部は若干拡張する。底部は平底である。	体部・口縁部内外面、底部内面はロクロナデ調整。底部外面は回転糸切り成形。	硬く焼けしめる。灰白色、No14で出土。
			鉢 C 37	体部は直線的にのび口縁部は下方に拡張する。	体部・口縁部内外面はロクロナデ調整。	硬く焼けしめる。灰白色、No14で出土。

灰 陶 器	手 付 皿	34	肩はなで肩で体部はいちじく型を呈する。底部は平底である。口縁部は外反する。把っ手は体部上部から頸部に貼り付ける。断面は長方形である。	底部・体部内面、頸部・口縁部内外面・体部外面上半部はロクロナデ調整。体部外面下半部はヘラケズリ調整。底部外面はナデ調整。把っ手はヘラケズリ調整。	灰白色で硬く焼けしまる。釉は外面全面・口縁部内面に施す。No14で出土。
			38 39	体部は直線的で口縁部は丸く、39は内湾する。体部中位に径1cmの円形の穴を持つものもある。底部は平底である。	巾約3cmの粘土成形。体部底部内面はナデ調整。体部外面はオサエ成形。底部外面には、はなれ砂が付着する。穿孔は焼成前で作成内へ向けてあける。
窯 道 具	ト チ	40 41	三叉トチである。支部は円型で端部は上・下に拡張する。	手づくね成形で端部はユビオサエで拡張。	硬質(40)、軟質(41)がある。釉が若干付着したものもある。40はNo19で41はNo23で出土。
			43	体部は内湾し底部は丸く砲弾型である。口縁部は丸い。器壁は厚い。	内外面オサエ成形で凹凸がはげしい。内外全面に厚く緑色～赤褐色の釉が付着する。
土 づ ば 製 品	焼 台	42 44	円型で上下を拡張している。42は円筒形である。	体部外面・底部オサエ成形。42の内面はしぼり痕跡がある。	硬質と軟質がある。No14で出土。

器種	器形	土器番号	形態の特徴	手法の特徴	施刻文様の特徴	備考
緑 釉 無 精 陶 器	皿	45 46	体部は内湾し口縁部は肥厚する。	内外面共にロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。	いずれも円弧で表す線文である。46の方がていねいで畑の中に脈を入れる。	全面緑釉・硬陶。45はNo18、46はNo4で出土。
		47 48	体部は内湾し口縁部は外反する。内面に凹線を施す。	体部内外面、底部内面はロクロナデ調整。体部外面下半部、高台部はヘラケズリ調整。体部内外面ヘラミガキ調整。	いずれも円弧で表わす雲文で48は連続した文様か。	47は無釉・硬陶。48は緑釉・硬陶。No4で出土。
	柄	49 50	体部は内湾し口縁部は外反する。50は内面に凹線を施す。	体部内外面はロクロナデ調整。外面下半はヘラケズリ調整。体部内外面はヘラミガキ調整。	円弧で表わした線文で、50は内・外面に施す。	無釉・硬陶。49はNo4、50はNo23で出土。
		51	体部は内湾する。	体部内面・外面はロクロナデ調整。外面下半部はヘラケズリ調整。体部内外面はヘラミガキ調整。	内面に円弧で表わす雲文を施す。	無釉・硬陶。No4で出土。

緑 釉	耳 皿	52	俵部を大きく屈曲させ耳にする。端部を波うたせる。	体部内外面はロクロナデ調整。	耳部外面に円弧で表わした線文を施す。	無釉・硬陶。 No4で出土。
	蓋	53	天井部は内湾し外面に2条の凸線を付ける。	内外面はロクロナデ調整。内面はヘラミガキ調整。	外面に雲文を施す。	全面緑釉・硬陶。 No4で出土。
	皿	54 55	高台は輪高台である。	内面はロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。高台部はヘラケズリ調整。	いずれも底部中央部で、54は円弧で表わした花文で円弧の基を入れる。55は先割れ花文で基を入れる。	54は無釉・軟陶。 55は全面緑釉・硬陶。54はNo4、55はNo23で出土。
	碗	56 57	高台は輪高台である。	内面はロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。高台部はヘラケズリ調整。	56は底部中央に雲文を表わす。57は底部中央に花文の輪郭線を表わし、俵部には51と同様の雲文を表わす。	無釉・硬陶。 56はNo4、57はNo18で出土。
黒 釉 陶 器	皿	58	高台は輪高台である。	内面はロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。高台部はヘラケズリ調整。	底部中央に円弧で表わした粗雑な花文を施す。基は1ヶ所のみ入れる。	無釉・硬陶。 No4で出土。
		59	高台は切り高台である。	内面はロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。高台部はヘラケズリ調整。	底部中央に円弧で表わした4弁の花文を施し、間に細かい弁を施す。弁内には基を入れる。	無釉・硬陶。 No4で出土。
	皿	60	高台は切り高台である。	内面はロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。高台部はヘラケズリ調整。	底部中央に円弧で表わす線文を施し、上部に雲文を1ヶ所施す。	無釉・硬陶。 No14で出土。
		61 62 63	高台は輪高台である。	内面はロクロナデ調整後ヘラミガキ調整。高台部はヘラケズリ調整。	底部中央に中心の円の周囲に宝珠形の花弁を61は一重、62・63は二重に施す。いずれも基は省略し、脈を施す。脈は61・63は粗で62は密である。	61は無釉・硬陶。 62は無釉・軟陶。 63は全面緑釉・硬陶。61はNo17、62はNo23、63はNo4出土。

調查概要一覽表

凡例

遺跡名		調査地		
調査方法	記号	調査月日	掘削深	残存状況
調査概要				図版番号

平安宮跡		中・西ノ京小堀町2		
立会	HQ-1	4/5	0.30m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-1

平安宮跡		上・御前通下立売上ル三助町281-51		
立会	HQ-2	4/6	0.20m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-2

平安宮跡		上・日暮通丸太町下ル南伊勢屋町758		
立会	HQ-3	4/13	1.60m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-3

平安宮跡		上・中立売通松屋町東入新白水丸町462		
立会	HQ-4	4/13	0.10m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-4

平安宮跡		上・七本松通仁和寺街道下ル二番町211-15		
立会	HQ-5	4/13	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-5

平安宮跡		上・上長者町通浄福寺西入新柳馬場頭町517		
試掘	HQ-6	4/22	0.90m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-6

平安宮跡		中・聚楽廻東町31-8-2		
立会	HQ-7	4/16	0.20m	未確認
盛土のみ。				20-7

平安宮跡		上・仁和寺街道千本西入五番町166		
立会	HQ-8	4/19~22	1.45m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-8

平安宮跡		上・竈門通下長者町上ル亀木町216		
立会	HQ-9	4/22	0.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-9

平安宮跡		上・七本松通下長者町下ル三番町		
立会	HQ-10	5/8	1.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-10

平安宮跡		上・下立売通浄福寺東入下丸屋町498-1		
立会	HQ-11	5/12	1.00m	上部削平
表土下1.0mにて平安時代前期～中期の土壌検出。土師器、須恵器、灰釉、瓦など出土。				20-11

平安宮跡		上・千本通竹屋町下ル東入主税町803-6		
立会	HQ-12	5/12	0.40m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				20-12

平安宮跡		上・日暮通下立売上ル天秤町地先		
立会	HQ-13	5/17	1.20m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-13

平安宮跡		上・六軒町通仁和寺街道上ル四番町126-7		
立会	HQ-14	5/25・26	1.70m	半壊
表土下0.5mにて江戸時代後期の土壌1基検出。下層は無遺物層。				20-14

平安宮跡		上・下立売通御前東入西東町356		
立会	HQ-15	5/26	0.20m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				20-15

平安宮跡		上・丸太町通智恵光院東入西院町924		
立会	HQ-16	6/1	2.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-16

平安宮跡		上・六軒町通下長者町下ル西入利生町294-97		
立会	HQ-17	6/2	0.70m	未確認
埋土のみ。				20-17

平安宮跡	上・出水通日暮西入金馬場町175			
立会	HQ-18	6/4	1.10m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-18

平安宮跡	中・聚楽廻西町186-88			
立会	HQ-19	6/15	1.20m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-19

平安宮跡	中・聚楽廻中町49-17			
立会	HQ-20	6/16	0.50m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				20-20

平安宮跡	上・千本通中立売上ル西中筋町17			
立会	HQ-21	6/16	1.15m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-21

平安宮跡	中・聚楽廻中町39			
立会	HQ-22	7/2	0.15m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-22

平安宮跡	中・西ノ京内畑町18-2			
立会	HQ-23	6/24	0.65m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-23

平安宮跡	中・聚楽廻西町64-18			
立会	HQ-24	6/26	0.30m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-24

平安宮跡	上・松屋町通下立売上ル浮田町608-2			
立会	HQ-25	6/28	0.30m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-25

平安宮跡	上・千本通仁和寺街道仲御堂町77			
立会	HQ-26	6/29~7/1	2.00m	半壊
表土下1.3mにて室町時代の包含層検出。				20-26

平安宮跡	上・仁和寺街道七本松西入上ル二番町194			
立会	HQ-27	7/1	1.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-27

平安宮跡	上・下長者町通松屋町東辰巳町117-1			
立会	HQ-28	7/6	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-28

平安宮跡	中・聚楽廻西町181			
試掘	HQ-29	7/8・9	3.00m	全壊
調査区6ヶ所にトレンチをあけるが、表土下3.0mの地山まですべて近現代層。				20-29

平安宮跡	中・西ノ京右馬寮町10-8			
試掘	HQ-30	7/12	1.60m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-30

平安宮跡	上・千本通下立売下ル小山洞908-94			
立会	HQ-31	7/15	0.85m	未確認
盛土のみ。				20-31

平安宮跡	上・日暮通出水下ル天秤町580			
立会	HQ-32	7/15	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-32

平安宮跡	上・日暮通出水下ル天秤町583-1・2			
立会	HQ-33	7/16	0.50m	未確認
盛土のみ。				20-33

平安宮跡	上・日暮通下立売上ル天秤町581-5			
立会	HQ-34	7/20	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-34

平安宮跡	上・日暮通下立売上ル天秤町581-6			
立会	HQ-35	7/29	m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				20-35

平安宮跡		上・裏門通上長者町下ル亀木町220-3		
立会	HQ-36	7/23	0.20m	未確認
盛土のみ。				20-36

平安宮跡		上・出水通智恵光院西入田村備前町217-3		
立会	HQ-37	7/27	0.35m	未確認
盛土のみ。				20-37

平安宮跡		上・仁和寺街道御前通東入鳳端町224		
立会	HQ-38	7/27	0.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-38

平安宮跡		中・西ノ京右馬寮町13		
立会	HQ-39	7/31	0.20m	未確認
盛土のみ。				20-39

平安宮跡		上・千本通下立売下ル小山町908-11		
立会	HQ-40	8/3	1.55m	半壊
表土下0.15mにて黄灰色泥砂層の無遺物層。平安時代前期の土壌2基検出。土師器、須恵器、灰精、緑釉瓦など多量に出土する。遺構の残存状態良好にて、発掘調査に切り換える。 20-40				

平安宮跡		上・裏門通下長者町上ル亀木町216		
立会	HQ-41	8/7	0.15m	未確認
盛土のみ。				20-41

平安宮跡		上・竹屋町通千本東入主税町地先		
立会	HQ-42	8/7・9	1.60m	未確認
盛土のみ。				20-42

平安宮跡		上・竹屋町通千本東入主税町827-10		
立会	HQ-43	8/13	0.70m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-43

平安宮跡		上・出水通松屋町西入西天押町152-1		
立会	HQ-44	8/21	0.15m	未確認
盛土のみ。				20-44

平安宮跡		中・西ノ京左馬家町3-1(朱雀第二小学校)		
立会	HQ-45	8/21	0.70m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-45

平安宮跡		中・西ノ京内畑町14		
立会	HQ-46	8/24	0.20m	未確認
盛土のみ。				20-46

平安宮跡		上・下立売通智恵光院西入下丸屋町492-2		
立会	HQ-47	8/27・30	1.30m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-47

平安宮跡		中・西ノ京車坂町15-5(朱雀第六小学校)		
立会	HQ-48	8/27	1.50m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-48

平安宮跡		中・聚楽通中町51		
立会	HQ-49	9/2	0.40m	未確認
盛土のみ。				20-49

平安宮跡		上・中立売通日暮東入新白水丸町462-99		
立会	HQ-50	9/16	0.60m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-50

平安宮跡		上・丸太町通浄福寺西入中務町491-81		
試掘	HQ-51	9/18	1.13m	上部削平
表土下0.8mにて平安時代中期の包含層検出。下層で南北方向に平瓦を敷きつめた遺構を検出。遺構の残存状態良好にて発掘調査に切り換える。				20-51

平安宮跡		中・聚楽通中町44		
立会	HQ-52	9/29	0.40m	未確認
盛土のみ。				20-52

平安宮跡		上・六軒町通下立売上ル七番町330-9		
立会	HQ-53	9/29	0.50m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				20-53

平安宮跡	中・西ノ京右馬寮町17-6			
試掘	HQ-54	9/30	1.30m	半壊
表土下0.95mにて平安時代の包含層検出。				20-54

平安宮跡	上・千本通下立売下ル小山町908-86			
立会	HQ-55	10/6	0.25m	未確認
盛土のみ。				20-55

平安宮跡	上・上長者町通浄福寺西入新柳馬場頭町517			
立会	HQ-56	10/15	0.45m	未確認
盛土のみ。				20-56

平安宮跡	上・中立売通六軒町西入三軒町65-41			
試掘・立会	HQ-57	10/16~29	0.70m	半壊
表土下0.7mにて南北方向の溝1条検出。平安時代の瓦出土。				20-57

平安宮跡	上・仁和寺街道七本松西入上ル一番町108-2			
立会	HQ-58	3/14	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-58

平安宮跡	上・千本通下立売西入稲葉町456			
立会	HQ-59	10/23	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-59

平安宮跡	中・西ノ京小堀町2			
立会	HQ-60	11/9	0.90m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-60

平安宮跡	中・聚楽廻東町7-1			
立会	HQ-61	11/11	1.85m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-61

平安宮跡	上・下長者町通六軒町西入利生町294-67			
立会	HQ-62	11/30	0.35m	未確認
盛土のみ。				20-62

平安宮跡		上・下立亮通七本松西入西東町367-2		
立会	HQ-63	12/3	0.25m	未確認
盛土のみ。				20-63

平安宮跡		上・丸太町通智恵光院東入中務町486-18		
試掘	HQ-64	12/13	1.60m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-64

平安宮跡		中・千本通二条上ル聚楽町854		
試掘	HQ-65	12/14	0.95m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-65

平安宮跡		中・聚楽廻中町36-1		
立会	HQ-66	12/13	0.36m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-66

平安宮跡		中・聚楽廻西町71-3、中町40-15		
試掘	HQ-67	12/21	1.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-67

平安宮跡		上・出水通土屋町東入東神明町295		
立会	HQ-68	1/10	0.40m	未確認
盛土のみ。				20-68

平安宮跡		上・御前通下立亮上ル三助町281-44		
立会	HQ-69	1/17	0.18m	未確認
盛土のみ。				20-69

平安宮跡		上・竹屋町通千本東入主税町1245-6		
立会	HQ-70	1/27, 2/14	1.40m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-70

平安宮跡		中・聚楽廻西町65		
試掘	HQ-71	1/28	1.20m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-71

平安宮跡		上・土曜町通中立売下ル西富仲町683		
立会	HQ-72	1/31	0.20m	未確認
盛土のみ。				20-72

平安宮跡		上・丸太町通千本東入中務町491		
試掘	HQ-73	2/1	1.80m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-73

平安宮跡		中・聚楽通東町19-1		
試掘	HQ-74	2/9	1.60m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-74

平安宮跡		上・下長者町通七本松西入鳳瑞町241-7		
立会	HQ-75	2/12	0.20m	未確認
盛土のみ。				20-75

平安宮跡		上・松屋町通丸太町上ル左馬松町782-6		
立会	HQ-76	2/16	1.20m	半壊
表土下0.9mにて室町時代の包含層検出。				20-76

平安宮跡		上・千本通二条下ル東入主税町824-4		
立会	HQ-77	2/18	1.15m	上部削平
表土下0.7mにて平安時代の包含層検出。				20-77

平安宮跡		上・真門通中立売上ル今新在家町206-11		
立会	HQ-78	2/18	0.10m	未確認
盛土のみ。				20-78

平安宮跡		上・七本松通一条下ル一番町		
立会	HQ-79	2/22	0.64m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				20-79

平安宮跡		上・中立売通智恵光院東入上ル新白水丸町東組462		
立会	HQ-80	2/22	0.50m	未確認
盛土のみ。				20-80

平安宮跡	上・土屋町通出水上ル東神明町291-1			
試掘	HQ-81	2/25, 3/7~18	2.50m	全壊
表土下0.7mにて平安時代～鎌倉時代の土壌20基、溝2条検出。				20-81

平安宮跡	上・千本通竹屋町上ル東入南主税町1197			
立会	HQ-82	3/15	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-82

平安宮跡	上・千本通竹屋町上ル主税町1206			
立会	HQ-83	3/15	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-83

平安宮跡	上・下長者町通七本松西入上ル鳳瑞町241-7			
立会	HQ-84	3/22	0.50m	未確認
盛土のみ。				20-84

平安宮跡	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町247-1			
立会	HQ-85	3/22	0.30m	未確認
盛土のみ。				20-85

平安宮跡	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町247-1			
立会	HQ-86	3/22	m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				20-86

平安宮跡	上・下立売通千本東入田中町453			
立会	HQ-87	3/30	0.50m	未確認
盛土のみ。				20-87

平安京右京

六条三坊	右・西院西寿町33			
立会	HR-1	4/1	1.50m	上部削平
表土下0.9mにて南北方向の溝を検出。幅1.05m以上、深さ0.4mで溝内より平安時代中期の土師器、須恵器、黒色土器など出土。推定宇多小路東側溝に位置する。				25-1

六条三坊	右・西院西寿町27地先			
立会	HR-2	4/1	1.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-2

九 条 一 坊		南・唐橋西寺町(唐橋小学校)		
立 会	HR-3	4/1	0.50m	半 壊
表土下0.5mにて西寺焼失時の層と考えられる焼土層を検出。瓦少片出土。				30-3

一 条 二 坊		中・西ノ京南大炊御門町25-2		
立 会	HR-4	4/2	1.10m	全 壊
表土下0.8mにて佐比川東岸部を検出。堆積土中より平安時代中期の遺物出土。				22-4

四 条 一 坊		中・壬生森町56-20		
立 会	HR-5	4/5・6	3.25m	全 壊
表土下1.6~2.0mにて室町時代の溝状遺構検出。四条通にかかるため幅の確認不能、1.3m以上。				26-5

七 条 一 坊		下・朱雀分水町78-1・2		
立 会	HR-6	4/5	1.55m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-6

四 条 一 坊		中・壬生神明町地内		
立 会	HR-7	4/6	1.30m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-7

六 条 三 坊		右・西院溝崎町12、他7筆		
立 会	HR-8	4/7・8	0.95m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-8

三 条 二 坊		中・西ノ京銅駝町76地内		
立 会	HR-9	4/8	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-9

八 条 三 坊		右・西京極大門町地先		
立 会	HR-10	4/8	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-10

三 条 一 坊		中・西ノ京里池町20-57		
立 会	HR-11	4/9	0.30m	未 確 認
盛土のみ。				22-11

一 条 三 坊		中・西ノ京伯楽町24		
試 掘	HR-12	4/12	0.40m	全 壊
推定中御門大路の路面と南側溝を検出。他の遺構の残存状況も良好につき発掘調査に切り換える。 21-12				

北 辺 二 坊		上・一条通御前西入大上之町67		
立 会	HR-13	4/16	0.45m	未 確 認
盛土のみ。 22-13				

五 条 二 坊		右・西院平町6		
立 会	HR-14	4/19	1.15m	上部削平
表土下0.35mにて平安時代前期の包含層検出。須恵器、瓦など出土。 26-14				

九 条 一 坊		南・唐橋門脇町4		
立 会	HR-15	4/26~28	2.10m	全 壊
表土下1.2mにて平安時代中期の包含層検出。土師器、緑釉陶器、軒丸瓦、軒平瓦など前期～中期の遺物出土。また鎌倉時代、室町時代の木枠の井戸各1基検出。下層砂礫層より古墳時代中期～後期の須恵器数片出土。 30-15				

八 条 一 坊		下・西七条東久保町55		
立 会	HR-16	4/22	3.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。 30-16				

四 条 二 坊		右・西院東淳和院町16-1		
立 会	HR-17	4/24	1.40m	上部削平
表土下1.0mにて池状堆積検出。室町時代前期の土師器、須恵器、灰釉など出土。 26-17				

二 条 二 坊		中・西ノ京南円町76		
立 会	HR-18	4/26・27	2.65m	上部削平
表土下1.6mにて平安時代中期の包含層検出。土師器、須恵器、瓦など出土。 22-18				

三 条 四 坊		右・山ノ内北ノ口町1-17・18		
立 会	HR-19	5/4	0.85m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。 21-19				

八 条 三 坊		右・西京極東町～佃町地内		
立 会	HR-20	5/7	1.00m	未 確 認
盛土のみ。 29-20				

六 条 二 坊		右・西院西高田町33		
立 会	HR-21	5 / 6・7	3.50m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-21

八 条 一 坊		下・梅小路東中町36		
立 会	HR-22	5 / 8	1.40m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-22

一 条 四 坊		右・花園寺ノ前町40-7, 50-3・4		
立 会	HR-23	5 / 8	0.80m	半 壊
表土下0.6mにて平安時代末期の包含層検出。下層の土壌は埋め戻し済みにて調査不可能。				21-23

九 条 一 坊		南・東寺通御前～御土居、御土居通東寺～八条、他		
立 会	HR-24	5 / 10～21	1.15m	上部削平
近現代層より多量の瓦、土師器、須恵器、弥生土器など出土。				30-24

二 条 四 坊		右・太秦安井春日町13		
立 会	HR-25	5 / 15・17	1.00m	半 壊
表土下0.4mにて平安時代中期の包含層検出。土師器、須恵器、緑釉出土。				21-25

二 条 三 坊		中・西ノ京壺ノ内町2		
立 会	HR-26	5 / 15・17	0.70m	半 壊
表土下0.33mにて平安時代の包含層検出。土師器、須恵器、緑釉出土。				21-26

一 条 二 坊		中・西ノ京大炊御門町地先		
立 会	HR-27	5 / 18～24	1.35m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-27

九 条 一 坊		南・唐橋門脇町5-5		
立 会	HR-28	5 / 19	0.80m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-28

八 条 三 坊		下・西七条南月號町2-1、七条御所ノ内西町50-1		
試 掘	HR-29	5 / 21・22	2.30m	上部削平
表土下1.7～2.2mにかけて平安時代前期～後期の包含層検出。土師器、須恵器、緑釉、灰釉など出土。				29-29

三 条 二 坊		中・西ノ京原町64		
試 掘	HR-30	5/26	1.00m	半 壊
表土下 0.6m にて御土居の土器基部検出。下層にて南北方向の平安時代中期の流路と路面を検出。推定西堀川小路に位置する。発掘調査に切り換える。 22-30				

三 条 四 坊		右・山ノ内五反田町16-11		
立 会	HR-31	5/28	1.13m	半 壊
表土下0.6m にて室町時代の包含層を検出。輸入陶磁器、土師器出土。 21-31				

四 条 三 坊		右・西院下花田町8		
立 会	HR-32	6/2	1.45m	上部削平
表土下0.76m にて路面検出。推定宇多小路に位置する。時期不明。 25-32				

四 条 二 坊		右・西院上今田町地先～東今田町地先		
立 会	HR-33	6/2～29	1.50m	上部削平
表土下1.6m にて平安時代中期の包含層検出。土師器、須恵器、灰釉、瓦など出土。 26-33				

三 条 一 坊		中・西ノ京皇池町		
立 会	HR-34	6/5～9	1.30m	上部削平
表土下 0.7m にて奈良時代～平安時代中期の包含層検出。土師器、須恵器、瓦など出土。 22-34				

九 条 三 坊		南・吉祥院前河原町地内		
立 会	HR-35	6/5	1.30m	未 確 認
巡回時工事終了。調査不可能。 29-35				

九 条 一 坊		南・唐橋門脇町4-8		
立 会	HR-36	6/12	1.35m	半 壊
表土下0.6m にて平安時代中期の土壌 4 基及び包含層検出。土師器、須恵器、緑釉、瓦など出土。 30-36				

六 条 三 坊		右・西院南寿町10		
立 会	HR-37	6/10	1.50m	半 壊
表土下0.25m にて江戸時代、0.7m にて平安時代中期の東西方向の流路を各 1 条検出。平安時代中期の流路は幅6.7～7.4m、深さ0.4m、流路内より土師器、須恵器、灰釉など出土。 25-37				

四 条 三 坊		右・西院乾町70-1・3		
立 会	HR-38	6/11・12	2.00m	全 壊
表土下0.64m 以下池または流れ堆積。表土下0.86m にて土師器、須恵器、曲物など出土するが細片にて時期不明。				25-38

二 条 二 坊		中・西ノ京上平町54		
立 会	HR-39	6/11・12	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-39

五 条 一 坊		中・壬生森前町19-3		
立 会	HR-40	6/12	0.40m	未 確 認
盛土のみ。				26-40

四 条 三 坊		右・西院小米町2, 3		
試 掘	HR-41	6/14	1.60m	上部削平
表土下1.6m にて弥生時代の包含層及び土壌検出。				25-41

七 条 四 坊		右・西京極北裏町7-3地先～東池田町78地先		
立 会	HR-42	6/14～19	1.50m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-42

九 条 一 坊		南・唐橋花園町32		
立 会	HR-43	6/16	1.00m	半 壊
巡回時工事終了。一部断面の表土下 0.5m にて土師器、須恵器、動物の歯など出土。遺構の可能性があるが調査不可能。				30-43

三 条 三 坊		中・西ノ京西中合町地先		
立 会	HR-44	6/17	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-44

三 条 三 坊		中・西ノ京桑原町1		
立 会	HR-45	6/21	0.65m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-45

三 条 三 坊		中・西ノ京月輪町38		
立 会	HR-46	6/25	0.70m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-46

二 条 二 坊		中・西ノ京南円町138		
立 会	HR-47	6/29	2.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-47

九 条 一 坊		南・八条源町36		
立 会	HR-48	7/3・5	1.30m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-48

二 条 二 坊		中・西ノ京中御門東町17		
立 会	HR-49	7/5	0.94m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-49

四 条 一 坊		中・壬生森町9-21		
立 会	HR-50	7/9	0.83m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-50

二 条 二 坊		中・西ノ京両町5		
立 会	HR-51	7/12	1.40m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-51

三 条 一 坊		中・西ノ京小倉町10		
立 会	HR-52	7/13・14	1.75m	半 壊
表土下1.14mにて古墳時代～平安時代の土師器、須恵器出土。池あるいは湿地状の堆積。				22-52

六 条 一 坊		下・中堂寺栗田町1		
試 掘	HR-53	7/16・17	1.20m	上部削平
表土下0.8mで平安時代前期の土壊2基検出。土師器、須恵器、緑釉、瓦出土。				26-53

七 条 二 坊		下・西七条西石ヶ坪町32-1		
立 会	HR-54	7/20	1.63m	半 壊
表土下1.09mにて流れ堆積検出。古墳時代の高杯及び平安時代前期の土師器、須恵器など出土。				26-54

六 条 一 坊		下・中堂寺南町10		
立 会	HR-55	7/23	1.50m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-55

八 条 二 坊		下・西七条南农田町76		
立 会	HR-56	7/27	1.30m	上部削平
表土下0.2~0.8mにて推定七条大路路面4面検出。時期不明。下層にて平安時代の包含層検出。土師器、灰軸、緑釉など多量に出土。				30-56
四 条 四 坊		右・山ノ内山ノ下町22 (山ノ内小学校)		
立 会	HR-57	7/26	1.35m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-57
一 条 三 坊		中・西ノ京大炊御門町8		
立 会	HR-58	8/31	1.60m	上部削平
表土下0.95mにて平安時代の南北方向の溝2条検出。須恵器少量出土。				21-58
七 条 一 坊		下・朱雀宝蔵町110		
立 会	HR-59	7/29	1.30m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-59
八 条 三 坊		下・七条御所ノ内西町8-4		
立 会	HR-60	7/31	0.75m	半 壊
表土下0.32mにて平安時代~室町時代末期の遺物を含む旧河川の堆積検出。				29-60
北 辺 三 坊		北・大將軍南一条町37-4 (大將軍小学校)		
立 会	HR-61	8/2・23	1.50m	全 壊
表土下0.75mにて室町時代後期、下層にて平安時代中期の包含層検出。				21-61
二 条 三 坊		中・西ノ京北薬井町134		
立 会	HR-62	8/5	1.35m	上部削平
表土下1.0mにて平安時代の包含層検出。土師器、灰軸など出土。				21-62
六 条 一 坊		下・中堂寺庄ノ内町56-10		
立 会	HR-63	8/10	1.90m	上部削平
表土下0.8mで土壌3基検出するが遺物の出土なし。下層1.1mにて旧河川の堆積検出。弥生土器1片出土。				26-63
三 条 二 坊		中・西ノ京中含町55		
試 掘	HR-64	8/14	1.90m	全 壊
調査区東側の表土下1.2mにて平安時代後期の包含層検出。土師器、須恵器、緑釉、灰軸など出土。遺構の検出はなし。				22-64

二条二坊		中・西ノ京南円町32		
立会	HR-65	8/19	1.30m	半壊
表土下0.4mにて平安時代後期の包含層検出。土師器、灰釉など出土。下層にて平安時代中期の土壌検出。				22-65

一条四坊		右・花園猪毛町地先		
立会	HR-66	8/21	1.30m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-66

八条二坊		下・七条御所ノ内中町44-2・6		
立会	HR-67	8/20	1.15m	上部削平
表土下0.3mにて平安時代の包含層検出。土師器、須恵器、灰釉など出土。				30-67

九条一坊		南・唐橋花園町18-1, 19		
立会	HR-68	8/23	0.20m	未確認
盛土のみ。				30-68

四条一坊		中・壬生朱雀町29-3・4		
試掘	HR-69	8/23	2.07m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-69

五条二坊		中・壬生東高田町32-1・2		
立会	HR-70	8/24	1.30m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-70

七条四坊		右・西京極北裏町11-5		
立会	HR-71	8/24	1.80m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-71

八条一坊		下・西七条西久保町3		
立会	HR-72	8/26	1.30m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-72

一条二坊		北・大將軍東薬司町59-1		
立会	HR-73	8/28・31	1.60m	半壊
表土下0.5mにて平安時代～鎌倉時代の包含層検出。土師器、須恵器、灰釉など出土。				22-73

九 条 二 坊		下・七条御所ノ内南町95		
立 会	HR-74	9/1	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-74

五 条 二 坊		中・壬生東土居ノ内町20		
立 会	HR-75	9/1	1.30m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-75

七 条 二 坊		下・西七条掛越町45地先		
立 会	HR-76	9/1~3	1.30m	未 確 認
埋土のみ。				26-76

五 条 四 坊		右・西院安塚町		
立 会	HR-77	9/1・2	1.10m	上部削平
表土下0.8mにて平安時代の包含層検出。土師器、須恵器出土。				25-77

八 条 四 坊		右・西京極中沢町地内		
立 会	HR-78	9/3	1.30m	未 確 認
埋土のみ。				29-78

七 条 二 坊		下・西七条比輪田町35		
立 会	HR-79	9/3	1.00m	上部削平
当該地は大部分池または湿地状の堆積を呈し池の南西部を検出。池内堆積土より平安時代前期～中期の土師器(墨書を含む)、須恵器(墨書を含む)、緑釉、灰釉、黒色土器、土馬、瓦、木器など出土。				26-79

八 条 一 坊		下・梅小路本町30-2		
立 会	HR-80	9/3	0.90m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-80

二 条 二 坊		中・西ノ京南両町31, 32, 45, 46		
試 掘	HR-81	9/6~24	2.00m	全 壊
表土下0.8mにて平安時代の南北方向の河跡及び平安時代～鎌倉時代の東西方向の溝2条検出。				22-81

五 条 三 坊		右・西院北矢掛町31-1		
立 会	HR-82	9/7	1.10m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-82

一 条 二 坊	中・西ノ京北円町75, 76, 77			
立 会	HR-83	9/8・10・11	1.60m	半 壊
表土下0.6mにて室町時代の包含層検出。				22-83

五 条 一 坊	中・壬生高樋町45			
立 会	HR-84	9/9	1.15m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-84

五 条 一 坊	中・壬生高樋町45			
立 会	HR-85	9/9	1.15m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-85

三 条 二 坊	中・西ノ京東中合町47			
立 会	HR-86	9/13・14	1.85m	半 壊
表土下0.62mにて平安時代の土壌2基検出。土師器、須恵器、灰釉、緑釉、瓦など出土。				22-86

五 条 一 坊	中・壬生松原町43-19			
立 会	HR-87	9/13	0.30m	未 確 認
盛土のみ。				26-87

九 条 四 坊	南・吉祥院中河原里南町6			
立 会	HR-88	9/14	. m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-88

四 条 三 坊	右・西院下花田町19			
立 会	HR-89	9/16	1.00m	半 壊
表土下0.5mにて平安時代中期の土壌1基検出。				25-89

北 辺 四 坊	右・花園猪ノ毛町2-39			
立 会	HR-90	9/17	1.35m	未 確 認
盛土のみ。				21-90

四 条 一 坊	中・壬生神明町1-86			
立 会	HR-91	9/17	0.36m	未 確 認
巡回時工事終了。調査不可能。				26-91

六 条 一 坊		下・中堂寺庄ノ内町44-9		
立 会	HR-92	9/20	0.70m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-92

九 条 二 坊		中・唐橋平坦町19-2, 20-1		
立 会	HR-93	9/21	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-93

北 辺 三 坊		北・大將軍一条町北部150		
立 会	HR-94	9/24	1.05m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-94

三 条 四 坊		右・山ノ内御堂殿町22-3、他2筆		
試 掘	HR-95	9/27	1.47m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-95

二 条 二 坊		中・西ノ京南上合町13-3		
立 会	HR-96	9/27	1.15m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-96

六 条 三 坊		右・西院西舟町26		
立 会	HR-97	9/27	1.40m	上部削平
表土下0.82mにて南北方向の溝1条検出。時期不明。				25-97

六 条 四 坊		右・西京極東大丸町22		
立 会	HR-98	9/27	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-98

三 条 二 坊		中・西ノ京南原町10		
試 掘	HR-99	9/29	2.00m	半 壊
表土下1.0mにて平安時代中期の遺物を含む湿地状の堆積検出。土師器、須恵器、緑釉、灰釉(黒書含む)など出土。				22-99

北 辺 二 坊		上・一条通御前西入大東町92		
立 会	HR-100	10/1	1.60m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-100

七 条 二 坊		下・西七条東御前田町49		
立 会	HR-101	10/1	1.40m	未 確 認
盛土のみ。				26-101

一 条 二 坊		上・御前通上/下立売上ル北町574-8		
立 会	HR-102	10/5	1.20m	半 壊
表土下1.05mにて鎌倉時代の土壌1基検出。				22-102

七 条 一 坊		下・朱雀分木町68-5, 78-3		
立 会	HR-103	10/6	1.45m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-103

六 条 四 坊		右・西京極東大丸町1		
立 会	HR-104	10/7	1.00m	未 確 認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-104

五 条 四 坊		右・西院東員川町37-2		
立 会	HR-105	10/7	1.45m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-105

北 辺 一 坊		上・一条通御前東堅町120		
試 掘	HR-106	10/9	1.75m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-106

平安京隣接地・四円寺跡		右・御室小松野町、他		
立 会	HR-107	10/13-3/31	1.50m	半 壊
表土下1.0mにて池または湿地状の堆積検出。鎌倉時代の井戸検出。1.5mにて平安時代の包含層検出。				21-107

二 条 三 坊		中・西ノ京塚本町6-3, 6-10, 41		
立 会	HR-108	10/18	1.40m	上部削平
表土下0.23mにて平安時代中期の包含層検出。				21-108

三 条 一 坊		中・西ノ京永本町5-20		
立 会	HR-109	10/18	0.40m	未 確 認
盛土のみ。				22-109

八条三坊		下・七条御所ノ内西町3-1、他		
試掘	HR-110	10/20	2.67m	全壊
表土下1.18mにて平安時代の包含層検出。				29-110

北辺二坊		北・北野下白梅町26		
立会	HR-111	10/22	0.25m	未確認
盛土のみ。				22-111

一条二坊		上・上ノ下立売通御前西入2丁目堀川町527-33		
立会	HR-112	10/22	1.70m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-112

一条二坊		北・大將軍東藤町82-2		
立会	HR-113	10/22	1.50m	未確認
盛土のみ。				22-113

五条一坊		中・壬生下溝町51-58		
立会	HR-114	10/23・26	1.10m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-114

七条二坊		下・西七条北衣田町5		
立会	HR-115	10/25	1.15m	不明
表土下1.45mにて池または湿地状の堆積。				26-115

七条四坊		右・西京極西池田町13-4		
立会	HR-116	10/29・30	2.75m	不明
調査区全域池または湿地状の堆積。				25-116

五条四坊		右・西院東貝川町56、57		
立会	HR-117	10/29	1.80m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-117

一条二坊		北・大將軍東藤町58-3		
立会	HR-118	11/2	1.60m	上部削平
平安時代中期～室町時代の包含層検出。土師器、須恵器、緑釉、灰釉など出土。				22-118

八 条 一 坊	下・梅小路本町92地先～79地先			
立 会	HR-119	11/15-19	1.25m	半 壊
表土下0.25mにて平安時代の包含層検出。0.43mにて溝2条検出するが、時期不明。				30-119

七 条 一 坊	下・朱雀北ノ口町5			
立 会	HR-120	11/15	2.23m	全 壊
表土下0.35mにて平安時代後期の包含層検出。				26-120

一 条 二 坊	中・西ノ京円町37			
立 会	HR-121	11/19	1.25m	半 壊
表土下0.47mにて土壊11基検出。時期不明。				22-121

一 条 三 坊	中・西ノ京伯楽町14-51			
立 会	HR-122	11/22	1.40m	半 壊
表土下0.2mにて土壊4基検出。時期不明。				21-122

五 条 四 坊	右・西院安塚町21			
試 掘	HR-123	11/24	2.50m	全 壊
表土下2.2mにて土壊1基検出。時期不明。				25-123

八 条 一 坊	下・西七条東久保町55			
立 会	HR-124	11/25	0.45m	未 確 認
盛土のみ。				30-124

九 条 二 坊	南・吉祥院清水町36			
試 掘	HR-125	11/30	1.55m	不 明
調査区全域河川の堆積。				30-125

三 条 三 坊	中・西ノ京西中合町38			
立 会	HR-126	11/30	0.30m	未 確 認
盛土のみ。				21-126

四 条 一 坊	中・壬生森町45-24			
立 会	HR-127	12/7	0.85m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-127

八条一坊		下・西七条東久保町55		
立会	HR-128	12/7	2.00m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-128

一条三坊		中・西ノ京御興ヶ岡町12-8・23		
立会	HR-129	12/8	0.70m	未確認
盛土のみ。				21-129

四条二坊		中・壬生東大竹町地内		
立会	HR-130	12/10~13	1.64m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-130

一条二坊		上・上ノ下立売通御前西入2丁目堀川町572-28		
立会	HR-131	12/13	0.85m	未確認
盛土のみ。				22-131

九条三坊		南・吉祥院中河原里南町20		
立会	HR-132	12/13	1.75m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-132

二条二坊		中・西ノ京西円町6-2		
立会	HR-133	12/13	1.60m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-133

四条三坊		右・山ノ内養老町8-9		
立会	HR-134	12/16	1.25m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-134

六条三坊		右・西院太田町84, 85		
立会	HR-135	12/17~22	1.40m	半壊
平安時代の溝11条、柱穴6基、中世の溝1条、土壌1基検出。土師器、須恵器、緑釉（陰刻花文を含む）、灰釉、陶器、瓦など出土。				25-135

七条四坊		右・西京極西川町地先		
立会	HR-136	12/18	1.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-136

九条三坊		南・吉祥院西ノ庄瀬ノ西町14-1		
立会	HR-137	12/23	1.25m	未確認
盛土のみ。				29-137

北辺二坊		北・大将軍川端町49		
立会	HR-138	1/10	1.20m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-138

三条三坊		中・西ノ京中合町49, 50		
立会	HR-139	1/10	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-139

六条一坊		下・中堂寺栗田町1		
立会	HR-140	1/13	1.30m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-140

三条二坊		中・西ノ京新建町1		
試掘	HR-141	1/17	1.50m	不明
表土下0.5m以下時期不明の旧河川の堆積。				22-141

九条二坊		南・唐橋西寺町26		
立会	HR-142	1/21	0.15m	未確認
盛土のみ。				30-142

四条一坊		中・壬生天ヶ池町29		
立会	HR-143	1/24	0.50m	未確認
盛土のみ。				26-143

一条三坊		中・西ノ京伯楽町10-4		
立会	HR-144	1/25	1.15m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-144

七条四坊		右・西京板北裏町15		
立会	HR-145	1/25・26	3.00m	全壊
表土下1.3mで平安時代中期の包含層及び平安時代前期～中期の土壌を7基検出。土師器、須恵器、黒色土器、緑釉、灰釉、瓦、鉄製品、軽石など多量の遺物が出土。				25-145

九 条 三 坊	南・吉祥院前河原町15-1			
試 掘	HR-146	1/26	1.55m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-146

四 条 二 坊	右・西院異町40-2			
立 会	HR-147	2/12	1.40m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-147

八 条 四 坊	右・西京極南方町2			
立 会	HR-148	2/14	0.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-148

一 条 四 坊	右・花園宮ノ上町地先			
立 会	HR-149	2/14・18・23	1.25m	半 壊
表土下0.2mで鎌倉時代後期の包含層検出。				21-149

北 辺 二 坊	上・天神通一条下ル大東町84			
立 会	HR-150	2/19	1.50m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-150

六 条 一 坊	下・中堂寺庄ノ内町37-6			
立 会	HR-151	2/22	0.70m	上部削平
表土下0.5m以下掘削深まで平安時代の包含層検出。				26-151

六 条 四 坊	右・西京極野田町51			
立 会	HR-152	2/22	1.25m	未 確 認
盛土のみ。				25-152

三 条 二 坊	中・西ノ京原町地先			
立 会	HR-153	2/22	1.25m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-153

四 条 二 坊	右・西院東今田町10-13			
立 会	HR-154	2/22	1.47m	上部削平
調査地西端では表土下1.47mで地状堆積、出土遺物なし。東端の表土下0.95mで平安時代中期の包含層検出。				26-154

一 条 二 坊	上・上ノ下立先通御前西入大宮町488-1			
試 掘	HR-155	2/23	1.30m	半 堀
調査区中央北の表土下1.05mで平安時代前期の包含層を検出するが南北端ともに後世の攪乱を受けている。				22-155

八 条 二 坊	下・西七条南衣田町68			
立 会	HR-156	2/23・25	2.50m	全 堀
表土下1.0m出七条大路の路面と思われる層数層と土壌1基を検出したが時期不明。				30-156

七 条 二 坊	下・西七条市部町41-2			
立 会	HR-157	3/3	1.10m	全 堀
対象となる遺構・遺物の検出なし。				26-157

九 条 二 坊	下・七条御所ノ内本町100			
立 会	HR-158	3/3	1.30m	半 堀
表土下0.85mで地山を切って平安時代中期の土壌1基検出。				30-158

九 条 二 坊	南・唐橋門脇町28			
立 会	HR-159	3/3	1.40m	全 堀
敷地の大半は旧建物で削平されていたが、表土下0.17mで室町時代、下層で古墳時代前期の土壌検出。				30-159

一 条 二 坊	中・西ノ京円町15			
立 会	HR-160	3/7・8	1.30m	全 堀
表土下0.2m以下で平安時代中期の包含層及び土壌6基、時期不明の土壌2基検出。平安時代中期の土壌及び層からは黒色土器A、須恵器、緑釉、灰釉、瓦など出土。				22-160

一 条 四 坊	右・花園宮ノ上町地先~伊町地先			
立 会	HR-161	3/11・12	1.50m	全 堀
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-161

二 条 二 坊	中・西ノ京円町29-3			
試 掘	HR-162	3/14	1.80m	半 堀
対象となる遺構・遺物の検出なし。				22-162

六 条 一 坊	中・中堂寺庄ノ内町1-212			
立 会	HR-163	3/15	1.40m	半 堀
表土下0.41m以下で平安時代中期の包含層と室町時代の土壌1基検出。				26-163

二条三坊		中・西ノ京藤乃木町1-4		
立会	HR-164	3/15・18	1.10m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-164

一条二坊		北・大將軍東磨司町		
立会	HR-165	3/15・16	1.50m	半壊
表土下0.55m以下で平安時代～室町時代の包含層と室町時代の土壌検出。				22-165

四条二坊		中・壬生大竹町23		
立会	HR-166	3/15	0.50m	未確認
盛土のみ。				26-166

七条二坊		下・西七条西石ヶ坪町40		
試掘	HR-167	3/16	1.30m	全壊
調査区中央部で東側へ大きく落ちるラインを確認、推定西堀川と考えられる。東部では表土下0.35mで平安時代中期の包含層検出。				26-167

五条四坊		右・西院東貝川町地内		
立会	HR-168	3/17・18	1.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-168

五条三坊		右・西院太田町24		
立会	HR-169	3/22	0.60m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				25-169

七条一坊		下・朱雀宝蔵町58		
試掘	HR-170	3/28	1.30m	全壊
表土下1.25mの地山面に平瓦少量出土したのみ。				26-170

九条三坊		南・吉祥院西ノ庄瀬ノ西町14-2		
立会	HR-171	3/28	2.00m	未確認
盛土のみ。				29-171

二条三坊		中・西ノ京伯楽町4-15		
立会	HR-172	3/24	1.50m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				21-172

八条二坊		下・西七条石井町30-1		
立会	HL-173	3/31	1.30m	全壊
表土下1.0mにて古墳時代前期の包含層検出。				30-173

平安京左京

五条一坊		中・壬生郷ノ宮町30		
立会	HL-1	4/1	0.25m	未確認
盛土のみ。				27-1

四条四坊		中・納薬師通富小路東入油小路町141		
立会	HL-2	4/5	2.15m	上部削平
表土下1.25mにて平安時代後期～江戸時代の包含層、土壌6基検出。				28-2

三条四坊		中・東洞院通二条下ル瓦之町373, 380		
試掘	HL-3	4/7・8	2.50m	全壊
表土下1.46mにて室町時代の包含層、土壌2基検出。				24-3

六条四坊		下・松原通柳馬場杉屋町295		
立会	HL-4	4/7～9	2.50m	上部削平
調査区西側の表土下1.45mにて室町時代の路面及び東西方向の溝1条検出。推定五条大路及び南御溝に位置する。				28-4

四条一坊		中・神泉苑通三条下ル今新在家東町89		
立会	HL-5	4/8	1.30m	全壊
表土下0.63mにて平安時代後期の包含層、土壌1基検出。土師器、瓦器、白磁、瓦など出土。				27-5

四条四坊		中・寺町通錦小路下ル東大文字町300		
試掘	HL-6	4/9・10	2.20m	半壊
調査区東側の表土下0.8～1.4mにて平安時代後期～江戸時代にかけての路面5面検出。推定東京極大路に位置する。				28-6

五条四坊		下・高倉通仏光寺上ル西前町377		
立会	HL-7	4/9	0.95m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-7

一 条 二 坊	上・黒門通出水上ル吉野町697			
立 会	H L-8	4 / 9	0.79m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-8

一 条 二 坊	上・上長者町通葎屋町東入南俣町336			
立 会	H L-9	4 / 10	1.55m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-9

一 条 三 坊	上・下長者町通新町西入蔵之内町82			
立 会	H L-10	4 / 10	1.20m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-10

七 条 二 坊	下・黒門通五条下ル柿本町594-24			
立 会	H L-11	4 / 10	0.80m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-11

七 条 一 坊	下・北小路通壬生川東入西葎屋町地内			
立 会	H L-12	4 / 10・12	1.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-12

四 条 一 坊	中・壬生坊城町48			
立 会	H L-13	4 / 13	0.90m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-13

一 条 二 坊	上・出水通猪熊東入荒神町426-11			
立 会	H L-14	4 / 16・19	1.65m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-14

七 条 四 坊	下・六条通高倉東入栄町516			
立 会	H L-15	4 / 16	2.60m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-15

三 条 二 坊	中・二条通西洞院西入西大黒町340			
立 会	H L-16	4 / 17・19	2.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-16

四 条 四 坊		中・柳馬場通六角下ル井筒屋町405		
立 会	HL-17	4/20・22・23	2.70m	上部削平
表土下0.95m以下にて平安時代後期～室町時代の包含層、土壌3基検出。土師器、須恵器、白磁、陶器、瓦器など出土。				28-17

北 辺 二 坊		上・中立売通瀬川東入ル橋詰町地先		
立 会	HL-18	4/20	1.20m	未 確 認
埋土のみ。				23-18

四 条 四 坊		中・柳馬場通錦小路下ル中魚屋町478		
立 会	HL-19	4/21	1.55m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-19

北 辺 二 坊		上・小川通上長者町上ル下小川町187		
立 会	HL-20	4/21-30	2.00m	半 壊
表土下0.4m以下にて室町時代の包含層、土壌検出。土師器、白磁、瓦、漆器、金属片など出土。				23-20

六 条 一 坊		下・中堂寺健田町12-2		
立 会	HL-21	4/22・24	1.50m	上部削平
表土下0.55m以下にて平安時代後期～鎌倉時代の包含層、土壌群を検出。土師器、須恵器、陶器、瓦器、瓦など出土。				27-21

九 条 一 坊		南・八条源町、東寺町地内		
立 会	HL-22	4/22～5/10	1.40m	半 壊
表土下0.5mにて弥生時代後期の土壌1基検出。土師器壺・甕・高杯など多量に出土。				29-22

二 条 二 坊		中・油小路通丸太町下ル大文字町43-3		
立 会	HL-23	4/26	1.60m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-23

九 条 四 坊		南・東九条上御霊町54		
立 会	HL-24	4/26	1.60m	半 壊
表土下0.6mにて鎌倉時代の溝状遺構検出。				30-24

九 条 三 坊		南・東九条烏丸町35		
立 会	HL-25	4/26	1.10m	半 壊
表土下0.5m以下にて平安時代～室町時代の包含層及び土壌3基検出。弥生土師器、土師器、緑釉陶器、瓦など出土。				30-25

四 条 四 坊		中・高倉通六角下ル和久屋町360		
立 会	HL-26	4/28	0.75m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-26

五 条 四 坊		下・四条通柳馬場西入立亮中之町107-4		
立 会	HL-27	4/30	1.65m	上部削平
表土下0.9mにて室町時代の包含層検出。				28-27

六 条 二 坊		下・五条通油小路西入小泉町110-1, 112-9		
立 会	HL-28	4/30, 5/6	3.70m	全 壊
表土下0.65m以下にて室町時代後期の包含層検出。				27-28

八 条 二 坊		下・猪熊通塩小路下ル南夷町地内		
立 会	HL-29	4/30, 5/4-7	1.50m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-29

九 条 一 坊		南・大宮通八条下ル九条町411, 412地先		
立 会	HL-30	4/30, 5/4・6	1.50m	半 壊
表土下0.35mにて室町時代の包含層検出。				29-30

二 条 二 坊		上・大宮通樺木町下ル1町目832-3		
立 会	HL-31	5/6-8	2.00m	半 壊
表土下0.55mにて室町時代後期の包含層検出。1.05mで室町時代の土壌1基検出。				23-31

六 条 四 坊		下・柳馬場通五条上ル柏屋町332-1		
立 会	HL-32	5/6	1.10m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-32

七 条 三 坊		下・烏丸通七条上ル常葉町754		
立 会	HL-33	5/6・7	2.16m	半 壊
表土下1.07mにて室町時代、下層にて平安時代後期の包含層検出。土師器、須恵器、緑釉、白磁など出土。				28-33

九 条 二 坊		南・西九条春日町33-2		
立 会	HL-34	5/6・7	1.80m	上部削平
表土下0.35mにて平安時代前期の包含層検出。				29-34

八 条 三 坊		下・烏丸通塩小路東塩小路町718		
立 会	H L-35	5 / 6 ~ 10	3.15m	全 壊
表土下1.15m以下にて平安時代中期～鎌倉時代の包含層及び土壌検出。				30-35

五 条 三 坊		下・綾小路通東洞院西入厨酒屋町275-2		
立 会	H L-36	5 / 7 ・ 10	3.00m	半 壊
表土下1.3m以下にて室町時代の包含層検出。				28-36

六 条 四 坊		下・木屋町通五条下ル平居町地内～都市町地内		
立 会	H L-37	5 / 8	1.55m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-37

六 条 三 坊		下・不明門通六条上ル仏具屋町172		
立 会	H L-38	5 / 10 ・ 11	1.35m	上部削平
表土下1.15mにて路面2面及び室町時代後期の東西方向の溝1条検出。推定六条大路北側溝に位置する。				28-38

八 条 二 坊		下・猪熊通梅小路上ル南夷町170		
立 会	H L-39	5 / 10 ~ 12	2.25m	半 壊
表土下1.2mにて平安時代～室町時代の土壌を多数検出。土師器、練粘、銅銭など出土。				29-39

四 条 一 坊		中・六角通大宮西入三条大宮町242		
立 会	H L-40	5 / 10 ・ 11	2.00m	全 壊
表土下1.0mにて室町時代後期の東西方向の溝検出。1.8mで室町時代の井戸検出。				27-40

八 条 一 坊		下・観音寺町（国鉄用地内）		
試 掘	H L-41	5 / 12	2.00m	全 壊
表土下0.6mにて路面、南北方向の溝1条検出。推定壬生大路東側溝に位置する。遺構の残存状態良好のため発掘調査に切り換える。				29-41

七 条 三 坊		下・七条通新町西入夷之町718		
立 会	H L-42	5 / 14 ・ 17	1.10m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-42

七 条 二 坊		下・北小路通油小路西入北小路町138		
立 会	H L-43	5 / 15	1.50m	上部削平
表土下1.4mにて鎌倉時代の包含層検出。				27-43

三 条 三 坊		中・烏丸通御池下ル虎屋町		
試 掘	H L-44	5/19~6/5	2.80m	全 壊
調査区東側にて表土下2.5mで平安時代後期の南北方向の溝検出。溝より土師器皿、須恵器椀、白磁碗・壺、軒瓦、瓦器椀、鉛ガラス製数珠玉などが出土する。烏丸小路西側溝に位置する。 24-44				

六 条 一 坊		下・中堂寺前田町22-2		
立 会	H L-45	5/19	1.00m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-45

九 条 二 坊		南・東寺門前町76		
立 会	H L-46	5/21	1.95m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-46

三 条 二 坊		中・御池通池小路西入森ノ木町		
立 会	H L-47	5/24	1.20m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-47

九 条 一 坊		南・八条内田町6-13		
立 会	H L-48	5/24	1.20m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-48

二 条 二 坊		上・猪熊通丸太町下ル墓屋町536-65		
試 掘	H L-49	5/25	0.90m	全 壊
調査区南側にて0.6mで平安時代前期の東西方向の溝1条検出。溝内より土師器、縁輪など出土。推定大炊御門大路南側溝に位置する。 23-49				

四 条 三 坊		中・烏丸通六条下ル七観音町638		
立 会	H L-50	5/25, 6/8	3.30m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-50

二 条 三 坊		中・二条通烏丸東入仁王門町11		
立 会	H L-51	5/25~27	1.70m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-51

三 条 一 坊		中・西ノ京池ノ内町地先		
立 会	H L-52	5/25	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-52

一条二坊	上・大宮通下立売下ル養屋町796			
立会	HL-53	5/27・31	2.00m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-53

北辺三坊	上・中立売通室町西入三丁目471-3			
立会	HL-54	5/29	0.25m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-54

七条二坊	下・東中筋通正面下ル紅葉町359			
立会	HL-55	6/1	1.75m	半壊
表土0.95mにて平安時代後期の包含層検出。時期不明の土壌2基検出。				27-55

三条二坊	中・西洞院通御池三坊西洞院町580			
立会	HL-56	6/4	1.30m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-56

四条一坊	中・壬生坊城町33-5			
立会	HL-57	6/8~14	1.90m	全壊
表土下0.7m以下にて平安時代中期の包含層検出。下層で同時期の池状堆積を検出。土師器、須恵器、白磁、緑釉、灰釉、瓦など出土。				27-57

六条二坊	下・堀川通五条泉水町			
立会	HL-58	6/11, 7/14	2.50m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-58

六条四坊	下・御幸町通松原石不動町691			
立会	HL-59	6/17・18	1.60m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-59

二条三坊	中・烏丸通爽川上ル少将井町250			
立会	HL-60	6/17~24	3.50m	半壊
表土下2.5mにて室町時代後期の包含層、溝1条検出。3.2mで平安時代後期の包含層検出。				24-60

四条三坊	下・四条通西洞院東入郭巨山町26			
立会	HL-61	6/18~21	1.30m	半壊
表土下0.35m以下にて室町時代の包含層、土壌検出。0.8mにて時期不明の溝状遺構検出。				28-61

一 条 二 坊		上・西洞院通下長者町上ル頭町265		
立 会	H L-62	6 / 19	1.80m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-62

四 条 二 坊		中・黒門通錦小路上ル下黒門町441		
立 会	H L-63	6 / 21	1.20m	上部削平
表土下0.35mにて室町時代以降の土壌2基および包含層検出。				27-63

四 条 四 坊		中・御幸町通三条下ル海老屋町319		
立 会	H L-64	6 / 22	0.50m	未 確 認
盛土のみ。				28-64

三 条 四 坊		中・押小路通高倉西入左京町140		
立 会	H L-65	6 / 24	1.50m	上部削平
表土下0.85mにて室町時代～江戸時代の包含層検出。				24-65

四 条 三 坊		中・六角通烏丸西入骨屋町154-5		
立 会	H L-66	6 / 26	1.35m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-66

八 条 四 坊		下・郷之町109-2		
立 会	H L-67	6 / 26	1.15m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-67

四 条 三 坊		下・六角通烏丸西入骨屋町154-6		
立 会	H L-68	6 / 26	1.40m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-68

四 条 一 坊		中・神泉苑通三条下ル今新在家東町89-6		
立 会	H L-69	6 / 28	1.00m	半 壊
表土下0.6mにて鎌倉時代の包含層検出。				27-69

六 条 一 坊		下・中堂時藤田町地内		
立 会	H L-70	6 / 28, 7 / 8~14	1.45m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-70

四 条 三 坊		中・西洞院通蛸薬師下ル古西町442		
立 会	HL-71	6/29	0.95m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-71

五 条 一 坊		下・大宮通高辻下ル高辻大宮町123, 123-5		
試 掘	HL-72	7/2	2.20m	半 壊
表土下1.3mにて室町時代の東西方向の溝1条検出。推定大宮大路西側溝に位置する。				27-72

四 条 四 坊		下・麩屋町通四条上ル立売東町28-2		
立 会	HL-73	7/2・6・26・27	2.20m	上部削平
表土下1.15~1.78mに路面4面検出。時期不明。1.7mにて鎌倉時代、下層に平安時代後期の包含層検出。				28-73

三 条 二 坊		中・西堀川通三条上ル飾西堀川町507, 508		
立 会	HL-74	7/2・5	1.55m	全 壊
表土下0.74mにて鎌倉時代前期の土塀1基検出。土師里多量に出土。				23-74

八 条 四 坊		下・西之町19, 23, 24, 下之町20, 21		
試 掘	HL-75	7/5	2.91m	半 壊
表土下1.5mにて旧河川の堆積と思れる層を検出。堆積層より平安時代~室町時代の遺物が出土。				30-75

四 条 二 坊		中・西洞院通蛸薬師上ル池須町432-3		
立 会	HL-76	7/5	1.10m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-76

三 条 四 坊		中・高倉通二条下ル瓦町566-1		
立 会	HL-77	7/5	1.40m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-77

四 条 一 坊		中・壬生坊城町48-3他		
立 会	HL-78	7/5	1.60m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-78

三 条 四 坊		中・麩屋町通二条下ル尾張町205		
立 会	HL-79	7/6・12	1.40m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-79

九 条 一 坊		南・壬生通八条下ル東寺町534~588		
立 会	HL-80	7/6・8・14・15	1.60m	半 壊
表土下0.7mにて南北方向の旧河川の堆積検出。				29-80

二 条 二 坊		中・東堀川通丸太町下ル七丁目1		
試掘・立会	HL-81	7/6・8	1.70m	上部削平
表土下0.8m以下にて平安時代~室町時代の包含層及び土壌1基、柱穴12基検出。				23-81

一 条 二 坊		上・上長者町通小川東入有春町179		
立 会	HL-82	7/8	1.20m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-82

四 条 二 坊		中・岩上通六角下ル岩上町746		
試 掘	HL-83	7/9・10	1.56m	全 壊
表土下0.3m以下にて平安時代後期~鎌倉時代にかけての土壌及び柱穴多数検出。土師器、須恵器、黒色土器、緑釉、灰粒、白磁、青磁、瓦など多数出土。				27-83

三 条 三 坊		中・御池通車屋町東入梅屋町361-1		
立 会	HL-84	7/12	0.35m	未 確 認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-84

一 条 二 坊		上・東堀川通下長者町上ル二丁目22-1		
立 会	HL-85	7/14	1.70m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-85

二 条 四 坊		中・寺町通竹屋町上ル下御堂前町639-1		
立 会	HL-86	7/15~22	2.50m	半 壊
表土下1.0m以下にて平安時代前期~室町時代にかけての包含層検出。土師器、須恵器、陶器など出土。				24-86

四 条 二 坊		中・黒門通錦小路上ル下黒門町444		
立 会	HL-87	7/17・21	1.40m	半 壊
表土下0.3m以下にて平安時代末期の包含層3層及び時期不明の土壌1基検出。				27-87

三 条 二・三 坊		中・西洞院通錦小路上ル三坊西洞院町576		
立 会	HL-88	7/21・23・26	2.10m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-88

七 条 二 坊	下・堀川通花屋町下門前町60			
立 会	HL-89	7/20~29	1.00m	上部削平
表土下0.5m以下にて平安時代~室町時代の包含層及び土壌1基検出。推定堀川小路、七条坊門小路の交差点部は瓦溜のため全壊。				27-89

北 辺 二 坊	上・葎屋町通上長者町上ル南俣町322			
立 会	HL-90	7/20	1.45m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-90

四 条 三 坊	下・四条通西洞院東入郭巨山町5			
立 会	HL-91	7/20・21	1.50m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-91

三 条 四 坊	中・柳馬場通姉小路上ル柳八幡町74			
立 会	HL-92	7/20	1.85m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-92

三 条 四 坊	中・柳馬場通御池下ル柳八幡町74-2			
立 会	HL-93	7/20	1.45m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-93

二 条 二 坊	中・西洞院通夷川上ル毘沙門町397-2			
試 掘	HL-94	7/20	2.70m	全 壊
表土下1.0m以下で室町時代以降の包含層及び土壌3基検出。				23-94

五 条 二 坊	下・綾小路通隠ヶ井西入西半町79			
立 会	HL-95	7/21	1.00m	上部削平
表土下0.8mにて平安時代の包含層検出。				27-95

三 条 四 坊	中・三条通柳馬場東入中之町12			
立 会	HL-96	7/23	1.95m	上部削平
表土下1.8mにて鎌倉時代の包含層検出。				24-96

三 条 二 坊	中・油小路通二条下ル二条油小路町289-2			
立 会	HL-97	7/23・27	1.75m	半 壊
表土下0.7m以下にて平安時代中期~後期の包含層検出。土師器、練釉、灰釉など出土。				23-97

三 条 一 坊		中・大宮通御池下ル三坊大宮町150		
立 会	HL-98	7/23	1.50m	上部削平
表土下1.2mにて室町時代後期の包含層検出。土師器出土。				23-98

三 条 四 坊		中・御池通車屋町～鮎屋町		
立 会	HL-99	10/4～1/20	5.00m	半 壊
表土下1.4m以下で平安時代後期～鎌倉時代の包含層及び土壌を検出。土師器、陶器、瓦など出土。				24-99

六 条 二 坊		下・堀川通五条下ル柿本町、泉水町		
立 会	HL-100	7/30	1.65m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-100

六 条 二 坊		下・堀川通五条下ル柿本町、泉水町		
立 会	HL-101	7/30	1.65m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-101

五 条 四 坊		下・松原通堺町東入杉屋町285-2		
立 会	HL-102	7/30	1.80m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-102

二 条 三 坊		中・新町通九太町下ル大炊町201-1		
試 掘	HL-103	8/4	2.00m	全 壊
大部分が江戸時代以降の擾乱を受けているが、ごく一部で表土下1.26mにて鎌倉時代の包含層、下層に平安時代後期の土壌を検出。後者より土師器、緑釉のほか石帯1個が出土。				24-103

二 条 三 坊		中・烏丸通二条上ル葛絵屋町282, 283		
立 会	HL-104	8/9	2.60m	上部削平
表土下1.7mで平安時代の土壌3基検出。				24-104

七 条 二 坊		下・大宮通花屋町上ル柿本町609-1 (淳風小学校)		
立 会	HL-105	8/5	2.05m	全 壊
表土下0.45m以下にて平安時代末期～室町時代の土壌3基検出。				27-105

七 条 二 坊		下・東中筋通花屋町下ル柳町317-4		
立 会	HL-106	8/5	1.30m	全 壊
表土下0.55mにて室町時代の土壌1基、下層にて平安時代後期の井戸1基検出。				27-106

五 条 三 坊		下・仏光寺通新町西入上ル菅大臣町		
立 会	H L-107	8 / 6・19	1.70m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-107

四 条 二 坊		中・油小路通四条上ル藤本町549		
立 会	H L-108	8 / 6	1.45m	半 壊
表土下0.55mにて江戸時代の路面敷面検出。推定油小路に位置する。下層にて室町時代の土壌、包含層検出。				27-108

六 条 四 坊		下・富小路通松原下ル本上神明町461, 463		
試 掘	H L-109	8 / 6	2.70m	全 壊
表土下1.05mにて鎌倉時代の包含層検出。				28-109

二 条 二 坊		上・丸太町通堀川西入西丸太町187		
立 会	H L-110	8 / 9	0.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-110

四 条 二 坊		中・三条通油小路西入橋東詰町26		
立 会	H L-111	8 / 17	1.35m	上部削平
表土下1.0mにて室町時代の包含層検出。				27-111

五 条 四 坊		下・高辻通東洞院東入三軒町552, 553		
試 掘	H L-112	8 / 19	2.80m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-112

二 条 二 坊		中・二条通小川東入西大黒町315地先～稲屋町地先		
立 会	H L-113	8 / 19	0.80m	未 確 認
埋土のみ。				23-113

六 条 四 坊		下・富小路通五条下ル本塩町557		
立 会	H L-114	8 / 20	1.95m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-114

四 条 三 坊		中・新町通錦小路上ル百足屋町385-3		
試 掘	H L-115	8 / 21	3.00m	半 壊
表土下2.0mにて室町時代の包含層検出。土師器、漆器碗など出土。				28-115

四 条 四 坊	中・柳馬場通蛸薬師十文字町433			
立 会	HL-116	8/23	1.15m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-116

六 条 四 坊	下・間之町通五条下ル2丁目塗師屋町123			
立 会	HL-117	8/23	2.10m	全 壊
表土下1.6mにて室町時代後期の土壌1基検出。土師皿多量に出土。				28-117

七 条 二 坊	下・西洞院通正面下ル鍛冶屋町435-1			
立 会	HL-118	8/23	0.75m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-118

九 条 二 坊	南・西九条西蔵王町1			
立 会	HL-119	8/24	1.05m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-119

北 辺 二 坊	上・東堀川通中立売下ル東橋詰町65-1			
立 会	HL-120	8/25	1.25m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-120

四 条 一 坊	中・壬生坊城町48			
立 会	HL-121	8/27	1.20m	未 確 認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-121

九 条 二 坊	南・西九条池ノ内町97			
立 会	HL-122	8/26・30	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				29-122

八 条 一 坊	下・観喜寺町3 (大内小学校)			
立 会	HL-123	7/28	1.35m	上部削平
表土下1.1mにて平安時代中期の包含層検出。				29-123

八 条 二 坊	下・大宮通七条下ル上之町421-3			
立 会	HL-124	8/31, 9/1・3	2.10m	上部削平
表土下1.0m以下にて室町時代の遺物を包含する旧河川の堆積を検出。				29-124

九 条 二 坊		中・西九条春日町13 (九条弘道小学校)		
立 会	H L-125	7 / 15	1.80m	未 確 認
表土下1.8mまで旧基礎にて観察不能。				29-125

三 条 二 坊		中・小川通御池上ル下古城町405、他		
試 掘	H L-126	9 / 2	1.35m	全 壊
表土下0.75m以下にて室町時代の包含層検出。下層にて平安時代末期～室町時代の土師器、須恵器、緑釉、灰釉、瓦器、陶器、瓦など出土。				23-126

五 条 四 坊		下・柳馬場通仏光寺上ル永原町106-1		
立 会	H L-127	9 / 3	1.30m	未 確 認
盛土のみ				28-127

二 条 二 坊		上・丸太町通黒門東入蒸屋町536-1 (待賢小学校)		
立 会	H L-128	9 / 6	0.40m	未 確 認
盛土のみ。				23-128

六 条 三 坊		下・若宮通五条上ル布屋町96-1		
立 会	H L-129	9 / 7・9・13	3.00m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-129

四 条 三 坊		中・三条通室町西入衣棚町59-1		
立 会	H L-130	9 / 7	2.90m	上部削平
表土下1.6mにて室町時代後期の包含層、土壌1基検出。				28-130

五 条 二 坊		下・黒門通松原上ル米迎堂町		
立 会	H L-131	9 / 7	1.05m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-131

四 条 三 坊		下・四条通新町東入月鐘町54		
立 会	H L-132	9 / 8-14	4.20m	全 壊
表土下1.4mにて平安時代後期の土壌1基検出。土壌内より平安時代の遺物と共に弥生時代中期の壺片も出土。				28-132

三 条 三 坊		中・室町通三条上ル役行者町369		
試 掘	H L-133	9 / 9	2.80m	全 壊
表土下1.0mにて室町時代後期の土壌1基検出。下層にて平安時代中期の包含層検出。				24-133

七 条 一 坊		下・貫町通花屋町上ル突抜一丁目342		
立 会	H L-134	9 / 9	0.75m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-134

三 条 四 坊		中・塚町通三条上ル樹屋町64-2		
立 会	H L-135	9 / 9	1.05m	上部削平
表土下1.0mにて室町時代の包含層検出。				24-135

北 辺 二 坊		上・東堀川一条上ル野宮田町438-29		
立 会	H L-136	9 / 10	1.20m	半 壊
表土下0.56mにて室町時代の包含層検出。				23-136

六 条 四 坊		下・魁屋町通五条上ル下鱗形町545-3		
立 会	H L-137	9 / 11・18	1.60m	上部削平
表土下1.0mにて平安時代後期の包含層検出。				28-137

四 条 三 坊		中・錦小路通西洞院東入西錦小路町		
立 会	H L-138	9 / 14	1.40m	半 壊
表土下0.8m以下にて室町時代の包含層及び土壌2基検出。				28-138

三 条 四 坊		中・三条通柳馬場西入樹屋町75		
試 掘	H L-139	9 / 16	2.50m	上部削平
表土下1.35mにて室町時代後期の土壌1基検出。				24-139

五 条 一 坊		下・四条通大宮四条大宮町		
立 会	H L-140	9 / 16	1.55m	全 壊
表土下0.99mにて室町時代の土壌2基検出。				27-140

二 条 四 坊		中・夷川通東洞院東入三本木五丁目501-1		
立 会	H L-141	9 / 16	1.25m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-141

八 条 二 坊		下・油小路通木津橋下ル北不動堂町521-1		
試 掘	H L-142	9 / 17	1.70m	全 壊
調査区西側にて表土下1.6mで平安時代、鎌倉時代の土壌3基検出。東側では0.6mで路面と思われる遺構面を3面検出。推定油小路路面に位置する。遺構の残存状態良好のため発掘調査に切り換える。				29-142

三 条 一 坊	中・西ノ京勸学院町13			
立 会	H L-143	9/20	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-143

六 条 二 坊	下・腰ヶ井通松原下ル橋町			
立 会	H L-144	9/21	1.15m	半 壊
表土下0.97mにて室町時代の土壇1基検出。				27-144

二 条 二 坊	上・丸太町通堀川西入西丸太町187			
立 会	H L-145	9/21	1.40m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-145

五 条 四 坊	下・富小路通仏光寺上ル仏光寺東町121			
立 会	H L-146	9/21	1.35m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-146

一 条 二 坊	上・中長者町通西洞院西入中橋詰町168			
立 会	H L-147	9/22	1.30m	半 壊
表土下0.85mにて平安時代中期の土壇1基検出。土師器、黒色土器出土。				23-147

二 条 二 坊	上・榎木町通黒門東入中御門横町576			
立 会	H L-148	9/22	1.05m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-148

七 条 四 坊	下・西木屋町通正面上ル梅浜町98地先-92-10地先			
立 会	H L-149	9/24	1.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-149

二 条 四 坊	中・二条通柳馬場東入晴明町663			
立 会	H L-150	9/27-10/6	2.45m	全 壊
表土下1.3mにて室町時代の包含層検出。2.0mにて平安時代前、中期の包含層検出。				24-150

三 条 二 坊	中・堀川通御池東入森ノ本町地内			
立 会	H L-151	9/27	1.35m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-151

四 条 四 坊		中・堺町通六角下ル甲屋町283		
立 会	H L-152	9/27・28	1.45m	上部削平
表土下1.2mにて室町時代後期の包含層検出。				28-152

五 条 三 坊		下・横小路通新町西入矢田町119		
立 会	H L-153	9/28-10/7	1.83m	全 壊
表土下1.3m以下にて平安時代後期～室町時代の土壌検出。				28-153

三 条 三 坊		中・押小路通新町西入頭町22-2		
立 会	H L-154	9/29	1.08m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-154

五 条 四 坊		下・四条通高倉西入立売西町		
立 会	H L-155	9/29・30, 10/9	3.55m	上部削平
表土下1.7m以下にて弥生時代後期～古墳時代前期の包含層検出。				28-155

四 条 三 坊		中・錦小路通室町西入天神山町287		
試 掘	H L-156	10/1・2	2.00m	全 壊
表土下1.5mにて平安時代中期～室町時代後期の包含層及び土壌20数基検出。また下層で弥生土器が出土する。遺構の残存状態良好のため、発掘調査に切り換える。				28-156

六 条 二 坊		下・醒ヶ井通松原下ル篠屋町54		
立 会	H L-157	10/1	1.00m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-157

五 条 三 坊		下・仏光寺通新町東入糸屋町209		
立 会	H L-158	10/4・5	1.65m	上部削平
鎌倉時代の包含層検出。				28-158

三 条 三 坊		中・新町通三条上ル町頭町97		
試 掘	H L-159	10/8	3.30m	半 壊
平安時代後期～室町時代の土壌検出。				24-159

六 条 三 坊		下・不明門通五条下ル2丁目下平野町473		
立 会	H L-160	10/6・7	1.30m	半 壊
室町時代の包含層検出。				28-160

六条一坊		下・中堂寺坊城町16		
立会	HL-161	10/7	5.00m	未確認
巡回時工事終了、観察不可能。				27-161

三条三坊		中・新町通御池上ル中之町50		
立会	HL-162	10/8	1.05m	上部削平
室町時代の包含層検出。				24-162

六条三坊		下・東洞院通五条上ル深草町576-1		
立会	HL-163	10/12	1.30m	上部削平
表土下0.9mにて室町時代～江戸時代の土壌2基検出。				28-163

三条四坊		中・柳馬場通三条上ル油屋町100, 他1筆		
試掘	HL-164	10/21	3.40m	上部削平
表土下0.9mにて室町時代の石組遺構検出。2.29mにて室町時代の土壌6基検出。				24-164

七条一坊		下・襦笥通花屋町下ル裏片町198-2		
立会	HL-165	10/14	0.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-165

四条一坊		中・三条通神泉苑西入今新在東西町25-2		
立会	HL-166	10/15	0.95m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-166

四条一坊		中・壬生坊城町48-3他		
立会	HL-167	10/15	0.75m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-167

二条二坊		上・大宮通丸太町上ル1町目843		
立会	HL-168	10/20~22	1.50m	半壊
表土下0.5mにて平安時代の包含層及び江戸時代の土壌2基検出。1.2mにて路面と思われる遺構検出。推定大宮大路に位置する。				23-168

北辺二坊		上・小川通中立売上ル小川町260		
立会	HL-169	10/21・23	1.90m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-169

六条二坊		下・羅ヶ井通松原下ル篠屋町60		
立会	HL-170	10/21	1.84m	全壊
表土下0.7m以下にて鎌倉時代～室町時代の包含層及び弥生時代(Ⅱ)～江戸時代の土壌12基を検出。弥生土器、土師器、須恵器、灰釉、陶器、瓦、埴など出土。				27-170

二条三坊		中・衣櫛通爽川下ル堅大恩寺町742-1		
立会	HL-171	10/22・23	1.53m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-171

七条一坊		下・大宮通丹波口下ル大宮一丁目565-4-6		
立会	HL-172	10/22	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-172

北辺三坊		上・一条通新町東入東日野殿町394-1		
立会	HL-173	10/25	0.40m	未確認
盛土のみ。				24-173

五条二坊		下・堀川通綾小路下ル綾堀川町311-2他		
立会	HL-174	10/26	1.95m	不明
表土下1.3mにて流路を検出。出土遺物なし。				27-174

四条二坊		中・錦小路堀川東入三文字町		
立会	HL-175	10/30・11/2	1.70m	上部削平
表土下1.0mにて室町時代の包含層検出。				27-175

五条二坊		下・高辻通堀川西入富永町681		
立会	HL-176	10/30・11/4	1.90m	全壊
表土下0.4mにて鎌倉時代前期の包含層検出。0.7mにて平安時代の土壌検出。				27-176

六条三坊		下・室町通五条下ル堺町235-3		
立会	HL-177	11/2	2.10m	半壊
表土下1.9mにて旧河川の堆積を検出。				28-177

三条二坊		中・猪熊通三条上ル妹猪熊町333		
立会	HL-178	11/4・5	1.50m	上部削平
表土下0.7m以下にて鎌倉時代以降の包含層及び土壌2基検出。				23-178

三 条 二 坊	中・御池通油小路西入森ノ木町208-1			
立 会	HL-179	11/8・11・13	1.30m	上部削平
表土下0.45mにて室町時代の包含層検出。下層にて室町時代の土壌2基、鎌倉時代の井戸1基検出。				23-179

三 条 三 坊	中・御池通烏丸東入笠屋町地先～松下町地先			
立 会	HL-180	11/11～22	1.60m	半 壊
表土下1.55mにて室町時代の包含層検出。				24-180

一 条 三 坊	上・下立先通室町西入東立先町23-2			
立 会	HL-181	11/12・19	1.80m	上部削平
表土下1.3mにて鎌倉時代の包含層検出。調査区西側では1.4mにて室町時代の土壌8基検出。				24-181

六 条 二 坊	上・五条通堀川東入小泉町地先			
立 会	HL-182	11/16		未 確 認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-182

七 条 三 坊	下・西洞院通六条下ル東側町512			
立 会	HL-183	11/18	1.30m	上部削平
表土下0.95mにて鎌倉時代の土壌1基検出。1.04mにて平安時代末期の包含層検出。				28-183

四 条 四 坊	中・御幸町通三条下ル海老屋町328			
立 会	HL-184	11/18	2.10m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-184

四 条 四 坊	中・御幸町通錦小路上ル船屋町369、他			
立 会	HL-185	11/20	2.50m	半 壊
表土下2.1mにて平安時代前期～鎌倉時代の土壌5基検出。				28-185

七 条 二 坊	下・北小路通西洞院西入文覚町394			
立 会	HL-186	11/22	1.75m	半 壊
表土下0.75mにて鎌倉時代の包含層検出。下層にて鎌倉時代の土壌3基検出。土師器、須恵器、白磁、青磁、陶器など出土。				27-186

二 条 四 坊	中・堺町通夷川上ル絹屋町135			
立 会	HL-187	11/25	0.00m	未 確 認
工事に伴う掘削なし。				24-187

七 条 二 坊		下・油小路通六条下ル		
立 会	H L-188	11/26・27	2.05m	半 壊
表土下0.65mにて室町時代の包含層検出。1.0mにて土壌6基検出。うち1基は平安時代後期で他は時期不明。				27-188

七 条 二 坊		下・堀川通花屋町西入門前町地先～元日町地先		
立 会	H L-189	11/27	1.00m	未 確 認
盛土のみ。				27-189

七 条 一 坊		下・下松屋町通花屋町下ル突抜二丁目375		
立 会	H L-190	11/27・29	1.20m	半 壊
表土下0.2m以下にて土壌8基検出。時期不明。				27-190

七 条 三 坊		下・新町通六条下ル良町877		
立 会	H L-191	11/29	1.20m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-191

六 条 三 坊		下・室町通五条上ル飯東屋町266		
試 掘	H L-192	12/1	1.42m	半 壊
表土下1.4mにて東西方向の溝検出。推定室町小路東側溝に位置する。遺構の残存状態良好のため発掘調査に切り替える。				28-192

三 条 三 坊		中・御池通室町西入西横町181		
立 会	H L-193	12/1	1.80m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-193

四 条 三 坊		中・三条通室町西入衣棚町57		
立 会	H L-194	12/1	1.20m	上部削平
表土下0.75mにて旧河川の堆積検出。				28-194

四 条 一 坊		中・壬生朱雀町8-13		
立 会	H L-195	12/3	1.55m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-195

三 条 四 坊		中・富小路御池下ル松下町138		
立 会	H L-196	12/4	1.30m	上部削平
表土下0.9mにて室町時代の包含層検出。				24-196

二条四坊		中・高倉通竹屋町下ル福屋町729		
立会	HL-197	12/4・11	1.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-197

六条二坊		下・松原通堀川東入橋町27		
立会	HL-198	12/13	1.60m	半壊
表土下0.7mにて室町時代の東西方向の溝検出。推定五条大路南側溝に位置する。				27-198

四条一坊		中・壬生朱雀町8-8		
立会	HL-199	12/13	0.75m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-199

七条三坊		下・不明門通七条上ル粉川町231		
立会	HL-200	12/14	1.88m	半壊
表土下1.5mにて室町時代の包含層検出。				28-200

一条二坊		上・黒門通下長者町下ル吉野町688		
立会	HL-201	12/17	0.25m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-201

三条二坊		中・西洞院二条下ル二条西洞院町654		
立会	HL-202	12/20	0.35m	未確認
盛土のみ。				23-202

六条四坊		下・柳町通松原下ル鍛冶屋町		
立会	HL-203	12/22	1.00m	未確認
盛土のみ。				28-203

五条二坊		下・堀川通四条下ル四条堀川町262、他		
立会	HL-204	1/10	2.10m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-204

四条二坊		中・堀川通錦小路下ル錦堀川町663		
立会	HL-205	1/10	2.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-205

三 条 一 坊		中・大宮通三条上ル錦大宮町東側115-12		
立 会	HL-206	1/10	1.35m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-206

五 条 四 坊		下・高辻通東洞院東入灯籠町560		
立 会	HL-207	1/14	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-207

九 条 三 坊		南・東九条西山王町5		
立 会	HL-208	1/20	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-208

四 条 四 坊		中・御幸町三条下ル海老屋町323-3		
試 掘	HL-209	1/24	2.60m	半 壊
表土下2.0mにて平安時代中、後期の土壌3基検出。				28-209

五 条 四 坊		下・御幸町通仏光寺下ル橋町		
立 会	HL-210	1/24	0.80m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-210

四 条 四 坊		中・新京極蛸薬師下ル東側町501-11・12		
立 会	HL-211	1/24	0.60m	未 確 認
盛土のみ。				28-211

九 条 二 坊		南・西九条川原城町20		
立 会	HL-212	1/24	1.30m	半 壊
表土下0.55mにて室町時代の土壌1基検出。				29-212

七 条 二 坊		下・大宮通花屋町上ル柿本町609-1		
立 会	HL-213	1/25	0.90m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-213

八 条 二 坊		下・黒門通木津屋橋上ル徹宝町413-1		
立 会	HL-214	1/25	1.20m	上部削平
表土下1.1mにて鎌倉時代前期の土壌5基、室町時代の土壌1基検出。				29-214

六条四坊		下・万寿寺通寺町西入榎松町736		
立会	HL-215	1/28	1.45m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-215

六条四坊		下・富小路通五条上ル本神明町426-1		
立会	HL-216	1/28~2/1	2.70m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-216

七条三坊		下・若宮通正面上ル四本松町595		
立会	HL-217	2/1	1.40m	半壊
表土下1.1mにて平安時代の包含層検出。				28-217

七条四坊		下・七条通河原町西入榎荷町451		
立会	HL-218	2/1	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-218

八条二坊		下・猪熊通梅小路上ル南夷町170		
立会	HL-219	2/3	2.00m	全壊
平安時代後期の土壌16基、鎌倉時代後期の土壌7基、室町時代前期の土壌4基、江戸時代以降の土壌5基、時期不明の土壌1基検出。				29-219

四条四坊		中・錦小路通富小路西入東魚屋町182		
立会	HL-220	2/3	0.70m	未確認
盛土のみ。				28-220

五条二坊		下・醒々井通綾小路下ル要法寺町430-3		
立会	HL-221	2/3	1.50m	半壊
表土下0.9mにて鎌倉時代の包含層、土壌3基検出。時期不明の土壌6基検出。				27-221

四条二坊		中・岩上通錦小路下ル松浦町861		
試掘	HL-222	2/4	1.80m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-222

一条二坊		上・下立先通大高東入橋西二丁目643		
立会	HL-223	2/9・10	1.50m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-223

三 条 二 坊		中・三条通油小路東入ル塩屋町56-2		
立 会	H L-224	2 / 14	1.35m	半 壊
表土下0.8mで鎌倉時代の包含層、下層に平安時代の包含層を検出。				23-224

北 辺 二 坊		上・中立売通大宮東入ル常陸町396		
立 会	H L-225	2 / 14	1.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-225

四 条 四 坊		中・東洞院通六角下ル御射山町206		
試 掘	H L-226	2 / 16	2.40m	上部削平
旧建物の基礎により大部分が攪乱。一部で平安時代後期～鎌倉時代の包含層検出。				28-226

五 条 一 坊		中・壬生質陽御所町49		
立 会	H L-227	2 / 16~18	1.25m	半 壊
表土下0.5mで土壌8基検出。平安時代前期1基、平安時代中期3基、鎌倉時代1基、室町時代中期～後期3基。多量の土器出土。				27-227

六 条 三 坊		下・諏訪町通五条上ル高砂町		
立 会	H L-228	2 / 24	1.65m	半 壊
表土下1.1m以下で鎌倉時代、室町時代の包含層を検出。				28-228

七 条 四 坊		下・加茂川端上ノ口下ル菊屋町372		
立 会	H L-229	2 / 25	1.10m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-229

六 条 二 坊		下・五条通堀川東入ル柿本町576-1		
立 会	H L-230	2 / 25・28	1.10m	全 壊
表土下0.4m以下で平安時代末期～室町時代の包含層、室町時代後期の土壌を検出。				27-230

四 条 四 坊		中・六角通東洞院東入ル鹽屋町187-3		
立 会	H L-231	2 / 28	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-231

九 条 一 坊		南・四ッ塚34		
立 会	H L-232	2 / 26	1.49m	不 明
湿地または旧河川の堆積。出土遺物なし。				29-232

二条三坊		中・二条通室町東入ル東玉屋町482-2		
立 会	HL-233	2/28	1.45m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-233

四 条 三 坊		中・東洞院通崎薬師下ル元竹田町631		
試 掘	HL-234	3/3	2.70m	半 壊
表土下2.7mで室町時代末期の包含層検出。濠内埋土か？				28-234

二 条 四 坊		中・夷川通東洞院東入ル山中町537、三本木町5丁目		
立 会	HL-235	3/3	1.30m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-235

四 条 三 坊		中・室町通六角下ル廻山町523		
立 会	HL-236	3/3	1.20m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-236

七 条 一 坊		下・西新屋敷中堂寺町56		
立 会	HL-237	3/3・7	1.50m	半 壊
表土下0.47m以下で古墳時代前期～江戸時代の土壇14基及び包含層を検出。布留式土師器、土師器、須恵器など出土。				27-237

北辺一坊隣接地		上・千本通一条下ル伊勢殿構町682、北伊勢殿構町		
立 会	HL-238	10/21	0.30m	未 確 認
盛土のみ。				23-238

三 条 三 坊		中・両替町通押小路西入金吹町460		
立 会	HL-239	3/5	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				24-239

四 条 四 坊		中・三条通柳馬場西入ル梶屋町72		
立 会	HL-240	3/7・8	1.35m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-240

九 条 一 坊		南・八条通大宮西入ル九条町405		
立 会	HL-241	3/8	1.20m	半 壊
表土下0.7mにて鎌倉時代後期の包含層検出。				29-241

五 条 三 坊		下・綾小路通室町東入童侍者町160		
立 会	HL-242	3 / 9	0.95m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-242

七 条 二 坊		下・七条通堀川～油小路		
立 会	HL-243	3 / 9・25	2.00m	上部削平
表土下1.5mにて路面2面検出。推定七条大路路面に位置する。時期不明。				27-243

一 条 二 坊		上・出水通堀川東入四丁目190		
立 会	HL-244	3 / 10	0.85m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				23-244

四 条 二 坊		中・猪熊通築紫師下下瓦町585		
立 会	HL-245	3 / 11・12	1.40m	半 壊
表土下1.15mにて古墳時代の包含層及び平安時代後期の柱穴を検出。				27-245

二 条 三 坊		中・鳥丸通竹屋町上ル大倉町218-1・3		
立 会	HL-246	3 / 15～19	3.50m	全 壊
表土下1.5mにて室町時代の包含層検出。下層にて平安時代末期、鎌倉時代の土壌を検出。				24-246

八 条 二 坊		下・油小路通下魚ノ棚下ル油小路町301		
立 会	HL-247	3 / 15	1.50m	上部削平
表土下1.2mにて室町時代の包含層検出。				29-247

五 条 四 坊		下・富小路通綾小路下ル塗師屋町82-1		
立 会	HL-248	3 / 15	1.30m	上部削平
表土下0.9mにて室町時代末期の包含層検出。				28-248

六 条 三 坊		下・不明門通五条上ル玉屋町519		
立 会	HL-249	3 / 16	1.50m	未 確 認
旧建造物の基礎で攪乱されていた。				28-249

一 条 二 坊		下・下立売通室町西入東立売町209-1		
立 会	HL-250	3 / 19・29	2.30m	全 壊
表土下1.3m以下にて鎌倉時代～室町時代の包含層及び土壌検出。				24-250

七 条 四 坊	下・間之町通花屋町下下天神町401-1			
立 会	HL-251	3/19	1.30m	全 壊
表土下0.94mにて平安時代中期の包含層検出。須恵器、黒色土器A出土。				28-251

八 条 四 坊	下・塩小路通河原町東入下川端町4			
立 会	HL-252	3/22	0.88m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				30-252

五 条 四 坊	下・富小路通綾小路下下塩屋町66-2			
立 会	HL-253	3/24	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				28-253

三 条 三 坊	中・新町通御池上ル中之町42			
立 会	HL-254	3/26-30	2.15m	全 壊
表土下0.45m以下平安時代後期～室町時代の包含層、土壌を多数検出。土師器、瓦器、緑釉、磁器、陶器、瓦、大定通宝、頭蓋骨など出土。				24-254

四 条 四 坊	中・寺町通六角下下ル式部町244			
立 会	HL-255	3/26	1.70m	上部削平
表土下0.9～1.7mにて路面5面検出。推定東京極大路に位置する最下層は平安時代後期の路面。				28-255

三 条 二 坊	中・三条通猪熊西入御供町289			
立 会	HL-256	3/2	1.00m	上部削平
表土下0.9mにて鎌倉時代の包含層検出。				23-256

四 条 一 坊	中・壬生坊城町53-6・8・14			
試 掘	HL-257	3/30	1.10m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-257

五 条 一 坊	中・壬生相合町71-1			
立 会	HL-258	3/31	0.75m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				27-258

仁和寺院家跡		右・常盤御池町21-14		
立 会	UZ-1	4 / 5	2.60m	半 壊
表土下0.9mにて鎌倉時代前期の包含層検出。				

広隆寺境内遺跡		右・太秦一ノ井町13-10		
立 会	UZ-2	4 / 5	0.25m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				

森ヶ東瓦窯跡		右・太秦森ヶ東町地内～森ヶ東町4		
立 会	UZ-3	5 / 24・26	1.70m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

常盤東ノ町古墳群		右・常盤村ノ内町8-43		
立 会	UZ-4	6 / 14	0.50m	未 確 認
盛土のみ。				

仁和寺南院跡		右・宇多野御屋敷町1-1		
立 会	UZ-5	5 / 29～6 / 5	2.00m	半 壊
調査区北側にて室町時代の包含層直下表土下0.6mで池状の堆積検出。南院内の池状遺構と考えられる。層中より平安時代中期～末期の土師器皿、白磁、須恵器、瓦及び木製人形・動物形・剣形・尺、木簡など木製品が多量に出土。				

上ノ段町遺跡		右・太秦宮ノ前町～墨箕山町		
立 会	UZ-6	6 / 15～7 / 24	1.35m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

井戸ヶ尻遺跡		右・太秦海正寺町地内		
立 会	UZ-7	6 / 19～7 / 16	1.30m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

常盤東ノ町古墳群		右・常盤村ノ内町1・5・14		
試 掘	UZ-8	8 / 9・10	0.95m	半 壊
表土下0.5m以下にて古墳時代後期～室町時代の包含層、土葬群検出。				

常盤東ノ町古墳群		右・太秦一ノ井町32-15		
立 会	UZ-9	8/19	1.70m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

広隆寺境内遺跡		右・太秦峰岡町32		
立 会	UZ-10	9/10・18・22	3.50m	半 壊
表土下0.1m以下にて平安時代の包含層土壌3基検出。				

散 布 地		右・嵯峨広沢西裏町35-1・4		
立 会	UZ-11	9/14・16	2.30m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

門 田 町 遺 跡		右・太秦門田町4		
立 会	UZ-12	10/29, 11/11	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

門 田 町 遺 跡		右・太秦門田町4		
立 会	UZ-13	10/29, 11/11	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

門 田 町 遺 跡		右・太秦門田町4		
立 会	UZ-14	10/29, 11/11	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

仁和寺院家跡		右・宇多野三ノ宮町地先		
立 会	UZ-15	12/2	1.25m	未 確 認
盛土のみ。				

広隆寺境内遺跡		右・太秦東峰岡町10		
試 掘	UZ-16	12/10	1.20m	全 壊
表土下0.7~0.86mの地山面で古墳時代後期~室町時代の土壌、柱穴検出。				

一ノ井遺跡		右・太秦森ヶ西町6-3		
立 会	UZ-17	2/18	0.60m	半 壊
柱穴1基、土壌1基検出。時期不明。				

広隆寺境内遺跡		右・太秦峰岡町10-165		
立 会	UZ-18	2 / 28, 3 / 3	1.20m	半 壊
表土下0.45mで柱穴検出。時期不明。				

円教寺跡		右・花園天授ヶ岡町3		
立 会	UZ-19	3 / 18	1.50m	全 壊
表土下0.63mで平安時代の包含層検出。				

栗栖野瓦窯跡		左・岩倉榑枝町1234, 656		
試 掘	RH-1	4 / 1	2.25m	半 壊
表土下1.6~2.25mに流路か湿地状の堆積検出。堆積層より多量の平安時代の瓦出土。				

出雲寺跡		上・鳥丸通鞍馬口東入下上御霊堅町446地先		
立 会	RH-2	4 / 6	0.65m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

大徳寺境内		北・紫野北花ノ坊町地内~大徳寺町地内		
立 会	RH-3	4 / 13	1.40m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

植物園北遺跡		左・松ヶ崎西山16-1地先		
立 会	RH-4	4 / 26	1.20m	未 確 認
盛土のみ。				

北野廃寺		上・今小路通御前西入上ル観音寺門前町821-46		
立 会	RH-5	5 / 6	0.30m	未 確 認
盛土のみ。				

植物園北遺跡		北・上賀茂土門町66		
立 会	RH-6	5 / 25	1.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

平安京左京北辺一坊隣接地		上・一条通千本東入北伊勢殿構町681		
立 会	RH-7	5 / 31	0.35m	未 確 認
盛土のみ。				

南ノ庄田瓦窯跡		左・岩倉幡枝町410-1, 433-2		
試掘	RH-8	6/10	1.10m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

室町殿跡		上・烏丸通今出川上ル御所八幡町110-14		
立会	RH-9	6/11	0.40m	未確認
盛土のみ。				

北野廐寺		北・北野東紅梅町6		
立会	RH-10	4/5, 6/18	1.50m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

植物園北遺跡		北・上賀茂桜井町88-1~5		
試掘	RH-11	6/30	1.95m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

室町殿跡		上・室町通上立売下ル裏築地町88		
立会	RH-12	7/20	1.15m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

相国寺旧境内隣接地		上・室町通上立売上ル室町頭町278		
立会	RH-13	7/27	2.00m	半壊
表土下1.3mにて室町時代の包含層検出。				

遺跡外		上・油小路通元誓願寺上ル東入針屋町(小川小学校)		
立会	RH-14	7/27	1.90m	半壊
表土下1.2mにて室町時代の包含層検出。				

植物園北遺跡		北・上賀茂桜井町31		
立会	RH-15	8/9	0.40m	未確認
盛土のみ。				

平安京右京北辺一坊隣接地		上・一条通七本松西入滝ヶ鼻町地内		
立会	RH-16	8/20	1.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

北野麁寺	北・西大路通平野神社南～今小路			
立会	RH-17	8/21~30	1.50m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

相国寺旧境内	上・室町通寺ノ内上ル下柳原北半町211-3			
立会	RH-18	8/24・26	1.70m	半壊
表土下0.95mにて室町時代の包含層検出。				

相国寺旧境内	上・烏丸通上御霊前下ル相国寺門前町647-7			
立会	RH-19	9/3	1.50m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

植物園北遺跡	左・下鴨南芝町39			
立会	RH-20	9/27・28	2.20m	上部削平
表土下0.15mにて土壌5基検出。時期、性格とも不明。				

北野麁寺	北・北野東紅梅町22-3			
立会	RH-21	10/6	1.40m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

北野麁寺	北・北野上白梅町地先～上・紙屋川町地先			
立会	RH-22	10/15・16	2.30m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

粟楽第跡	上・笹屋町通大宮西入斜屋町585			
立会	RH-23	11/4	1.20m	半壊
表土下0.8mにて室町時代後期の包含層検出。				

室町殿跡	上・今出川通堀川～烏丸西入			
立会	RH-24	11/29～3/7	4.00m	半壊
表土下0.8m以下で平安時代末期～室町時代末期の包含層及び土壌を多数検出。須恵器、多量の土師器、至和元宝など出土。				

植物園北遺跡	左・下鴨南芝町28-3			
立会	RH-25	12/7	0.45m	未確認
盛土のみ。				

北野遺跡		北・北野西白梅町64		
立会	RH-26	12/15	0.30m	未確認
盛土のみ。				

相国寺旧境内		上・室町通上立売上ル東入柳/園子町308		
立会	RH-27	1/20・21	1.30m	上部削平
表土0.34m以下で室町時代の包含層、土壌検出。				

紫野斎院跡		上・大宮通西裏蘆山寺上ル2丁目堅社南半町223, 225		
立会	RH-28	2/17~19	1.80m	半壊
表土下0.25m以下にて平安時代後期の包含層、土壌9基検出。				

聚楽第跡		上・元智願寺堀川西入富小路町460		
立会	RH-29	2/21・22	1.10m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

植物園北遺跡		北・上賀茂石計町52		
立会	RH-30	3/7	0.50m	未確認
盛土のみ。				

相国寺旧境内		上・烏丸通今出川東入玄武町地先		
立会	RH-31	3/31	1.40m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

白河街区跡		左・岡崎円勝寺町91地先		
立会	KS-1	4/2	1.45m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				32-1

白河街区跡		左・岡崎天王町48-2		
立会	KS-2	4/10	0.40m	未確認
盛土のみ。				32-2

白河街区跡		左・聖徳院川原町27-1		
立会	KS-3	4/13	1.65m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-3

白河街区跡		左・岡崎成勝寺町5-4		
立 会	KS-4	4/20	0.45m	未確認
盛土のみ。				32-4

白河街区跡		左・聖護院蓮華蔵町地先		
立 会	KS-5	4/22	1.45m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-5

白河街区跡		左・聖護院蓮華蔵町8-12		
立 会	KS-6	5/15・17	0.55m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-6

白河街区跡		左・新東洞院通仁王門下ル菊鈴町296		
立 会	KS-7	5/15	1.70m	上部削平
表土下1.5mにて室町時代後期の土壌1基検出。				32-7

白河街区跡		左・岡崎天王町35地内～39地内		
立 会	KS-8	5/28～6/4	1.30m	全壊
表土下0.4mにて鎌倉時代の包含層検出。下層にて同時期の土壌2基検出。				32-8

白河街区跡		左・聖護院川原町1		
立 会	KS-9	6/7・8	2.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-9

白河街区跡		左・岡崎天王町地先		
立 会	KS-10	6/12・15	1.50m	半壊
表土下0.15mにて鎌倉時代前期の包含層検出。				32-10

白河街区跡		左・孫橋町～岡崎成勝寺町		
立 会	KS-11	6/24～10/6	1.80m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-11

禪林寺境内		左・若王子町13		
立 会	KS-12	6/28	0.30m	未確認
盛土のみ。				

白河街区跡		左・川増通二筋東一乗上ル新先斗町131-2, 129		
立 会	KS-13	6/29	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-13

白河街区跡		左・丸太町通岡崎道～天王町他		
立 会	KS-14	7/6・8・21・22	1.30m	上部削平
一部表土下0.8mにて室町時代の包含層検出。青磁、瓦など出土。				32-14

古 墳 群		左・北白川上池田町7地先～下池田町94地先		
立 会	KS-15	7/9～8/4	1.60m	全 壊
表土下0.12m以下で古墳時代後期～鎌倉時代の包含層、土壇検出。うち1基より古墳時代の土師器壺2個体、須恵器杯出土。				

白河街区跡		左・岡崎徳成町24		
立 会	KS-16	7/12	0.20m	未 確 認
盛土のみ。				32-16

京都大学農学部構内遺跡		左・北白川西町地内		
立 会	KS-17	7/13～26	1.60m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

修学院小学校内遺跡		左・修学院川尻町(修学院小学校)		
立 会	KS-18	5/31	1.30m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

北白川廃寺		左・北白川山ノ元町地内		
立 会	KS-19	8/10～19	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

京都大学農学部構内遺跡		左・北白川西町85～88		
立 会	KS-20	8/13～9/1	1.40m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

白河街区跡		左・岡崎徳成町23-6		
試 掘	KS-21	8/25	2.70m	半 壊
表土下1.6mにて平安時代の包含層検出。				32-21

白河街区跡		左・吉永町272-1		
立会	KS-22	8/25・28	1.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-22

白河街区跡		左・岡崎徳成町～北門前町		
立会	KS-23	8/28	1.30m	未確認
盛土のみ。				32-23

白河街区跡		左・仁王門通新高倉東入北門前町474-2		
立会	KS-24	9/6	1.15m	半壊
表土下0.7mにて室町時代の包含層検出。				32-24

白河街区跡		左・岡崎最勝寺町		
立会	KS-25	3/11・12	0.30m	上部削平
表土下0.25mにて平安時代後期の包含層検出。				32-25

法成寺跡		上・寺町通梵神口上ル東入宮垣町78-1		
立会	KS-26	9/30, 10/1	1.75m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

白河街区跡		左・仁王門通疏水西通～神宮道		
立会	KS-27	10/5	1.30m	未確認
巡回時工事終了。調査不可能。				32-27

白河街区跡		左・竹屋町通川端東入東竹屋町63-2		
試掘	KS-28	10/12	3.20m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-28

白河街区跡		左・竹屋町通川端東入東竹屋町64, 68-1		
立会	KS-29	10/12	0.40m	未確認
盛土のみ				32-29

白河街区跡		左・丸太町通川端東入丸太町39		
立会	KS-30	10/13	2.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-30

白河街区跡	左・岡崎円勝寺町149-3、他3筆			
試掘	KS-31	10/20	2.82m	半壊
調査区南部では表土下2.56mにて平安時代末期の包含層及び土壌1基、北部では表土下2.14mにて同時期の包含層検出。土師器、瓦出土。				32-31

追分町古墳群	左・北白川追分町89～小倉町58			
立会	KS-32	11/2・4・11・15	1.60m	半壊
表土下1.33mにて縄文時代晩期の包含層検出。深鉢、浅鉢出土。				

白河街区跡	左・仁王門通新高倉東入福本町413			
立会	KS-33	11/6	1.30m	上部削平
表土下1.3mで室町時代の包含層検出。土師器出土。				32-33

一乗寺西浦畑町遺跡	左・一乗寺西浦畑町地先			
立会	KS-34	11/8・9	1.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

京都大学医学部構内遺跡	左・吉田中ノ宮町地先			
立会	KS-35	12/7	1.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

白河街区跡	左・岡崎法勝寺町(京都市立動物園)			
立会	KS-36	12/9・10	0.35m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-36

小倉町・別当町遺跡隣接地	左・北白川上池田町12地先			
立会	KS-37	12/9～11	1.65m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

白河街区跡	左・岡崎成勝寺町9			
立会	KS-38	1/10～3/8	3.55m	半壊
表土下0.65m以下で古墳時代～室町時代の包含層検出。土壌数基検出するか時期不明。				32-38

吉田山遺跡	左・吉田神楽岡町8-144			
立会	KS-39	1/17	0.80m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-39

白河街区跡	左・吉田下大路町24			
立会	KS-40	1/17	1.30m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-40

白河街区跡	左・岡崎成勝寺町地先～円勝寺町地先			
立会	KS-41	1/17・19	1.50m	未確認
盛土のみ。				32-41

白河街区跡	左・岡崎天王町45-1			
立会	KS-42	1/19	0.40m	上部削平
表土下0.1mにて包含層検出。時期不明。				32-42

白河街区跡	左・丸太町通川端東入東丸太町15-1・2			
立会	KS-43	2/25	3.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-43

白河街区跡	左・仁王門通岡崎円勝寺町～南禅寺草川町			
立会	KS-44	2/26	1.10m	未確認
盛土のみ。				32-44

白河街区跡	左・吉田近衛町26地先～26-6地先			
立会	KS-45	3/3～25	1.45m	半壊
表土下0.25m以下平安時代末期～江戸時代の包含層及び土壌4基検出。				32-45

白河街区跡	左・岡崎北御所町48-3			
立会	KS-46	3/23	0.30m	未確認
盛土のみ。				32-46

白河街区跡	左・岡崎北御所町46-17			
立会	KS-47	3/25	2.10m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-47

平安京左京三条四坊隣接地	中・寺町通御池下ル天性寺前町地先			
立会	RT-1	4/5	1.33m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

山科本願寺跡		山・西野山階町25-5		
立 会	RT-2	4/7	2.00m	未 確 認
盛土のみ。				

法 興 院 跡		中・新烏丸通夷川上ル梅之木町146		
立 会	RT-3	4/12	0.85m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中 臣 遺 跡		山・勤修寺東金ヶ崎52-1		
立 会	RT-4	4/12	0.20m	未 確 認
盛土のみ。				33-4

中 臣 遺 跡		山・西野山中臣町		
立 会	RT-5	4/16	1.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
				33-5

中 臣 遺 跡		山・勤修寺西栗柄町40-19		
立 会	RT-6	4/16	0.10m	未 確 認
盛土のみ。				33-6

法 性 寺 跡		山・深草正覚町27		
立 会	RT-7	4/23, 5/31	0.40m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法観寺旧境内		東・高台寺南通下河原東入崩屋町359		
立 会	RT-8	4/24, 5/4・6	2.30m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法 住 寺 殿 跡		東・大和大路七条下ル辰巳町608		
立 会	RT-9	5/7・8	1.30m	全 壊
表土下0.35mにて鎌倉時代の土壇1基検出。				

中 臣 遺 跡		山・西野山中臣町64		
試 掘	RT-10	5/17	1.40m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
				33-10

法性寺跡		東・今熊野池田町		
立会	RT-11	5/17	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

六波羅政庁跡		東・本町四丁目125-2		
立会	RT-12	5/14	1.40m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中臣遺跡		山・東野舞台町		
立会	RT-13	5/18	4.10m	半壊
表土下3.0mにて平安時代～室町時代の包含層検出。3.4mで縄文時代晩期～弥生時代前期の包含層検出。 33-13				

法性寺跡		東・泉涌寺門前町26		
立会	RT-14	5/29	1.73m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中臣遺跡		山・勤修寺西金ヶ崎77-1		
試掘	RT-15	6/2	1.70m	全壊
表土下0.55mにて古墳時代の包含層検出。 33-15				

珍皇寺境内		東・松原通大和大寺東入2丁目轆轤町110		
試掘・立会	RT-16	6/5・10・11	1.23m	半壊
表土下0.6mにて鎌倉時代前期～室町時代の土壌数基検出。土師器、須恵器、瓦器、滑石製羽釜など出土。				

法住寺殿跡		東・大和大路七条下ル辰巳町595地先		
立会	RT-17	6/9・10	1.10m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法興院跡		中・寺町通～新権木町通、丸太町通～二条通		
立会	RT-18	6/10～7/28	1.90m	半壊
0.85m以下にて室町時代の包含層及び平安時代末期の南北方向の溝状遺構を検出。				

法性寺跡		東・本町十三丁目237-6		
立会	RT-19	6/15	1.20m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法興院跡		中・新鳥丸通竹屋町下ル梅の木町136-1, 137		
立会	RT-20	6/16	1.20m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中臣遺跡		山・勤修寺西栗栖野町21-4		
立会	RT-21	6/22	0.50m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-21

六波羅政庁跡		東・大黒町通五条上ル音羽町321		
立会	RT-22	6/23	1.00m	未確認
盛土のみ。				

法住寺殿跡		東・南瓦町705-7		
立会	RT-23	6/30	0.70m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法性寺跡		東・泉涌寺門前町30		
立会	RT-24	7/23	1.10m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

六波羅政庁跡		東・大黒町通七条上ル塗師屋町581		
立会	RT-25	7/27	0.95m	未確認
盛土のみ。				

鳥辺山遺跡		東・今熊野南日吉町30地先		
立会	RT-26	8/9~23	1.50m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

六波羅政庁跡		東・大和大路通五条下ル3丁目東入南梅屋町199		
立会	RT-27	8/20	1.50m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

六波羅政庁跡		東・五条橋東四丁目423		
立会	RT-28	8/24	0.95m	未確認
盛土のみ。				

六波羅政庁跡		東・六波羅南通東入三盛町170		
立 会	RT-29	9/1	1.30m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

元 屋 敷 庵 寺		山・大塚元屋敷町63、大岩5-25		
立 会	RT-30	9/6	2.10m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

勸 修 寺 境 内		山・勸修寺西北出町23-1		
立 会	RT-31	9/8	0.90m	未 確 認
盛土のみ。				

鳥 辺 野		東・妙法院前側町439		
立 会	RT-32	9/13	1.20m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥 辺 野		東・今熊野南日吉町21-23		
立 会	RT-33	9/13	1.50m	未 確 認
盛土のみ。				

六波羅政庁跡		東・六波羅南通東入三盛町174		
立 会	RT-34	9/16	1.50m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法 興 院 跡		中・河原町通夷川上ル指物町327		
立 会	RT-35	10/9	1.45m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

大 塚 遺 跡		山・大塚野溝町地先～北溝町地先		
立 会	RT-36	10/12~25	1.50m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥 辺 野		東・今熊野阿弥陀ヶ峯町3-1、今熊野北日吉町		
試 掘	RT-37	10/13	4.50m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法性寺跡	東・今能野柳ノ森町			
立会	RT-38	10/20	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法興院跡	中・新橋木町通竹屋町上ル西草堂町205-4			
立会	RT-39	10/29・30	2.10m	不明
表土下1.85m以下旧河川の堆積。				

中臣遺跡	山・勤修寺西金ヶ崎78-2・3			
立会	RT-40	11/2	1.25m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-40

中臣遺跡	山・栗栖野狐塚41-1			
立会	RT-41	11/5	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-41

中臣遺跡	山・柳辻番所ヶ口町27-2			
試掘	RT-42	11/11	1.75m	上郎剛平
表土下1.35mで飛鳥時代、奈良時代の包含層検出。過去の調査歴より古墳時代～奈良時代の遺構検出の可能性があるため発掘調査に切り換える。				33-42

六波羅政庁跡	東・渋谷通東大路鐘鉢町414-11・12			
立会	RT-43	11/12	1.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

大塚遺跡	山・大塚野溝町76-1			
立会	RT-44	11/19・20	1.50m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中臣遺跡	山・勤修寺西金ヶ崎15, 16			
立会	RT-45	11/20	0.40m	未確認
盛土のみ。				33-45

六波羅政庁跡	東・五条通藤仁町西入五条橋東二丁目4、他			
立会	RT-46	11/24~26	5.00m	全壊
表土下1.8m以下旧河川の氾濫原。				

中 臣 遺 跡	山・勤修寺西栗栖野町54-3			
立 会	RT-47	11/29	0.43m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-47

中 臣 遺 跡	山・勤修寺東栗栖野町13-1, 17			
試 掘	RT-48	12/3	0.68m	全 壊
表土下0.16m盛土直下で地山。				33-48

中 臣 遺 跡	山・勤修寺東金ヶ崎26-3			
試 掘	RT-49	12/6	2.80m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-49

鳥 辺 野	東・今熊野南日吉町21-25			
立 会	RT-50	12/7	1.30m	未 確 認
盛土のみ。				

大 宅 麻 寺	山・大宅中小路町17-2			
試 掘	RT-51	12/15	1.50m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法 性 寺 跡	東・一橋野本町105			
立 会	RT-52	12/16	0.42m	未 確 認
盛土のみ。				

法 性 寺 跡	東・泉涌寺東林町29			
試 掘	RT-53	1/19・24・25	1.25m	半 壊
調査区北側にて表土下1.25mで東西方向の江戸時代の溝1条検出。また南側0.45mにて平安時代後期の柱穴1基検出。				

中 臣 遺 跡	山・勤修寺西金ヶ崎75			
試 掘	RT-54	1/27		
東西方向の溝1条、竪穴住居址1戸検出。残存状態良好なため発掘調査に切り替える。				33-54

中臣遺跡隣接地	山・柳辻封ジ川町10-1			
試 掘	RT-55	1/24	2.00m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-55

珍皇寺境内		東・小松町〜榎崎町地先		
立 会	RT-56	1/28・29	1.10m	半 壊
表土下0.45mにて室町時代の土壌1基検出。				

六波羅政庁跡		東・大黒町通正面上ル蛭子町南組239		
立 会	RT-57	2/1	1.60m	半 壊
表土下1.55mにて室町時代の池または湿地状の堆積検出。				

山科本願寺跡		山・西野広見町38地先		
立 会	RT-58	2/4~26	1.50m	半 壊
表土下1.15mにて室町時代の包含層検出。				

中 臣 遺 跡		山・東野舞台町69-10, 65-7		
立 会	RT-59	2/5	0.55m	未 確 認
盛土のみ。				33-59

中 臣 遺 跡		山・栗栖野狐塚10, 11, 11-7, 27, 27-1・2		
試 掘	RT-60	2/14	2.30m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-60

法 性 寺 跡		東・泉涌寺雀ヶ森町3		
立 会	RT-61	2/14	0.65m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中 臣 遺 跡		山・		
立 会	RT-62	2/21	0.90m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-62

六波羅政庁跡		東・問屋町通正面上ル健屋町497		
立 会	RT-63	3/8	1.15m	上部削平
表土下0.75m以下賀茂川の氾濫か？				

六波羅政庁跡		東・六波羅南通東入多門町158		
立 会	RT-64	3/9	1.20m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

法住寺殿跡	東・大和路通塩小路上ル七軒町575, 576, 578			
試掘	RT-65	3/11	2.00m	半壊
表土下0.6mで平安時代後期の整地面検出。遺構残存状態良好のため、発掘調査に切り換える。				

法住寺殿跡	東・東大路通七条下ル東瓦町地先			
立会	RT-66	3/11・12	1.50m	全壊
盛土直下地山。				

中臣遺跡	山・栗栖野塚18-4、他			
試掘	RT-67	2/28	1.50m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				33-67

中臣遺跡	山・勤修寺東栗栖野町78			
立会	RT-68	3/14	0.50m	未確認
盛土のみ。				33-68

伏見城跡	伏・銀座町四丁目279			
立会	FD-1	4/6	0.30m	未確認
盛土のみ。				

伏見城跡	伏・京町北七丁目9-1			
立会	FD-2	4/17	1.35m	上部削平
表土下0.15mにて桃山時代の瓦出土。				

伏見城跡	伏・桃山町泰長老179			
試掘	FD-3	4/26, 5/24~29	0.80m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡	伏・桃山町大蔵45			
立会	FD-4	5/28・29	1.60m	未確認
埋土のみ。				

伏見城跡	伏・下板橋町639			
試掘	FD-5	6/21・23	1.80m	全壊
表土下1.0mにて桃山時代の土壌1基検出。				

深草寺跡		伏・深草田谷町1		
試掘	FD-6	6/28	2.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・東大手町759		
立会	FD-7	8/4	1.45m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・銀座町1、他		
立会	FD-8	8/5	1.75m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山町永井久太郎(官有地)		
立会	FD-9	8/11	1.90m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山町金森出雲1-3		
立会	FD-10	8/23	0.85m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山町板倉周防～本多上野地内		
立会	FD-11	9/22～29	1.50m	半壊
表土下0.6mにて伏見城跡の濠跡を検出。				

伏見城跡		伏・桃山町泰長老179		
立会	FD-12	9/24	0.50m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山町伊賀56, 56-1		
立会	FD-13	10/8	3.00m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

国立京都病院構内遺跡		伏・深草向畑町(国立京都病院構内)		
試掘	FD-14	11/12	2.20m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山井伊掃部東町		
立会	FD-15	11/13・15	1.40m	半壊
表土下0.4mで室町時代末期の落ち込み検出。土師器、白磁、染付、瓦など出土。				

伏見城跡		伏・下板橋町～伯耆町		
立会	FD-16	11/15, 1/6～31	1.75m	全壊
表土下0.95mで地山を切る室町時代の落ち込みを検出。				

伏見城跡		伏・墨染町706		
立会	FD-17	11/12	1.38m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

深草遺跡		伏・深草直達橋八丁目地先		
立会	FD-18	11/17	1.10m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・深草墨染町地内		
立会	FD-19	11/25	1.25m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・京町四丁目168-1, 169-1, 170-1		
立会	FD-20	1/6・7・11	1.90m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山毛利長門西町地内		
立会	FD-21	12/18・20	1.65m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山町大蔵45		
立会	FD-22	1/17	1.10m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

伏見城跡		伏・桃山町毛利長門東町		
立会	FD-23	1/21		未確認
盛土のみ。				

伏見城跡		伏・墨染町708		
立会	FD-24	2/16	1.10m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

下鳥羽遺跡		伏・下鳥羽北ノ口町41-1・2		
立会	TB-1	4/9・12	1.18m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
32-1				

下鳥羽遺跡		伏・竹田瀬川町地先～泓ノ川町地先		
立会	TB-2	4/13・16	1.65m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
32-2				

鳥羽離宮跡		伏・竹田内畑町18		
試掘	TB-3	4/19	1.00m	半壊
表土下0.7mにて東西方向の溝状の遺構検出。また同層部にて鳥羽離宮時代の柱穴1基検出。溝状の遺構は81年度に50m道路で調査した東西方向の溝の西延長部と考えられる。				
31-3				

鳥羽離宮跡		伏・中島前山町25-1		
立会	TB-4	4/27	1.35m	不明
対象となる遺構・遺物なし。				
31-4				

鳥羽離宮跡		伏・中島前山町24-1		
立会	TB-5	4/28	0.00m	未確認
工事に伴う掘削なし。				
31-5				

鳥羽離宮跡		伏・中島御所ノ内町25-1		
試掘	TB-6	5/31	2.40m	不明
表土下1.1mにて池状堆積。				
31-6				

鳥羽離宮跡		伏・竹田浄菩提院町64, 65		
試掘	TB-7	6/5	0.47m	上部削平
調査区北側の表土下0.1mにて東西に延びる基壇状の遺構検出。				
31-7				

鳥羽離宮跡		伏・竹田浄菩提院町73, 73-9		
試掘	TB-8	6/7	2.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
31-8				

鳥羽離宮跡		伏・竹田小屋ノ内町11-B		
試掘・立会	TB-9	6/8・12	0.90m	上部削平
表土下0.68mにて鳥羽離宮期の溝状遺構検出。				31-9

鳥羽離宮跡		伏・竹田田中殿町34		
立会	TB-10	6/19	1.20m	上部削平
表土下0.5mにて鳥羽離宮期の包含層検出。				31-10

鳥羽離宮跡		伏・中島中道町20		
立会	TB-11	6/18	0.10m	未確認
盛土のみ。				31-11

鳥羽離宮跡		伏・中島前山町		
立会	TB-12	6/25	1.05m	不明
表土下0.6mにて池または旧河川の堆積。				31-12

深草遺跡		伏・深草キトロ町32		
立会	TB-13	6/28	0.90m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

唐橋遺跡		南・唐橋川久保町地先		
立会	TB-14	6/28	1.20m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥羽離宮跡		伏・中島中道町10-1, 11-1, 12		
試掘	TB-15	7/22	2.50m	上部削平
表土下1.52mにて池状の堆積を検出。遺物の出土なし。				31-15

唐橋遺跡		南・吉祥院九条町55-5		
立会	TB-16	8/24	1.60m	半壊
表土下0.6mにて室町時代の包含層検出。				

鳥羽離宮跡		伏・中島前山町8-1		
立会	TB-17	8/26	0.30m	未確認
盛土のみ。				31-17

鳥羽離宮跡		伏・竹田小屋ノ内町36、浄菩提院町33-A		
試掘	T B-18	8/30	1.95m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-18

鳥羽離宮跡		伏・中島宮ノ後町12-1、他3筆		
試掘	T B-19	9/4・5	0.75m	上部削平
表土下0.7mにて鳥羽離宮期の基壇の地盤を検出。				31-19

下鳥羽遺跡		伏・寝小屋町62, 62-4, 64, 64-3, 67		
試掘	T B-20	9/10	2.10m	上部削平
表土下0.45mにて鎌倉時代の包含層、下層で鎌倉時代の溝状遺構を検出。				32-20

西飯食町遺跡		伏・深草池ノ内町官有地		
試掘	T B-21	9/13	2.90m	不明
表土下1.5mにて旧河川の堆積層を検出。出土遺物なし。				

鳥羽離宮跡		伏・中島堀端町		
立会	T B-22	9/30, 10/1	1.00m	半壊
表土下0.25m以下にて鎌倉時代後期の土壌2基検出。				31-22

鳥羽離宮跡		伏・竹田浄菩提院町地先		
立会	T B-23	10/6	1.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-23

下鳥羽遺跡		伏・下鳥羽北ノ口町40-1・2, 41-1・2、渡瀬町31-11		
立会	T B-24	10/6	1.10m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				32-24

下鳥羽遺跡		伏・竹田泓ノ川町、下鳥羽城ノ越町		
試掘	T B-25	10/7	3.30m	不明
表土下1.5mにて旧河川の堆積を検出。出土遺物なし。				32-25

平安京左京九条三坊隣接地		南・九条南鳥丸町19(東和小学校)		
立会	T B-26	9/21	1.85m	全壊
旧建造物の基礎による擾乱が著しく、対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥羽離宮跡		伏・竹田橋ノ井町		
立 会	T B-27	10/21	0.30m	未 確 認
盛土のみ。				31-27

鳥羽離宮跡		伏・中島前山町		
立 会	T B-28	10/26	1.00m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-28

下鳥羽遺跡		伏・竹田松林町40, 40-1		
試 掘	T B-29	10/27	2.70m	上部削平
表土下1.5mにて湿地状の堆積検出。古墳時代後期の土師器甕、須恵器杯出土。				32-29

鳥羽離宮跡		伏・中島秋ノ山町32		
試 掘	T B-30	11/4	2.33m	上部削平
調査区北側では表土下1.5mにて鳥羽離宮期の遺構面検出。軒平瓦、土師器皿出土。南側では表土下1.3mにて池状の堆積検出。遺構の残存状態良好のため発掘調査に切り換える。				31-30

鳥羽離宮跡		伏・竹田小屋ノ内町9, 9-2, 10, 浄菩提院町		
試 掘	T B-31	11/8	1.94m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-31

鳥羽離宮跡		伏・中島中道町23-11・22		
立 会	T B-32	11/9	1.40m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-32

西飯食町遺跡		伏・深草池ノ内町12-1		
試 掘	T B-33	11/15	1.00m	全 壊
調査区西側にて表土下0.85mで鎌倉時代の包含層、遺構面を検出。東側においても表土下0.5mで鎌倉時代の包含層を検出。				

下鳥羽遺跡		伏・竹田蒸屋町27-A		
立 会	T B-34	11/29・30	1.10m	半 壊
表土下0.76mにて奈良時代～平安時代の包含層検出。弥生土器も出土する。				32-34

鳥羽離宮跡		伏・竹田内畑町66地先～79地先		
立 会	T B-35	12/2・3・7・8	1.00m	未 確 認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-35

鳥羽離宮跡		伏・竹田内畑町10-3・5, 25-1・2		
立 会	T B-36	12/13	0.90m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-36

深草遺跡		伏・深草西浦町7丁目6-1		
立 会	T B-37	12/24	0.80m	未確認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥羽離宮跡		伏・中島中道町28, 29, 30-3		
試 掘	T B-38	1/7	2.50m	上部削平
調査区西側では表土下1.2m以下2.5mまで湿地状の堆積を呈するが、東側では表土下1.4 mにて飛鳥時代の遺構面と土壌2基を検出。うち1基より壺1個体が出土する。発掘調査に切り換える。				31-38

深草遺跡		伏・深草西浦町4丁目60-2		
試 掘	T B-39	1/12	2.30m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥羽離宮跡		伏・竹田真榎木町50-1, 50-2		
試 掘	T B-40	1/14	2.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-40

鳥羽離宮跡		伏・中島外山町7-1		
立 会	T B-41	1/19	1.85m	上部削平
表土下1.1m～1.85mに砂層とシルト層の互層堆積を検出。旧河川の堆積層と思われる。				31-41

鳥羽離宮跡		伏・中島秋ノ山町		
立 会	T B-42	1/31	0.50m	未確認
盛土のみ。				31-42

鳥羽離宮跡		伏・竹田真榎木町42-2		
試 掘	T B-43	2/7	1.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-43

鳥羽離宮跡		伏・中島宮ノ前町16-1		
試 掘	T B-44	2/17	2.10m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-44

鳥羽離宮跡		伏・竹田浄菩提院町101、竹田小屋ノ内町		
試掘	T B-45	2/18	1.50m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-45

鳥羽離宮跡		伏・中島宮ノ後町		
試掘	T B-46	2/21~24	1.60m	上部削平
表土下1.3mで鳥羽離宮期の土壌検出。				31-46

鳥羽離宮跡		伏・竹田内畑町19-2		
立会	T B-47	2/23・24	1.00m	上部削平
調査区東側、表土下0.75mで鎌倉時代後半~室町時代初頭の遺物を含む池状堆積検出。また中央部表土下0.64mで鎌倉時代の包含層検出。				31-47

鳥羽離宮跡		伏・竹田浄菩提院町73-9		
立会	T B-48	3/8	1.55m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-48

上鳥羽遺跡		南・上鳥羽南花名町36		
試掘	T B-49	3/9	2.50m	不明
表土下0.93mで旧河川の堆積検出。				

下鳥羽遺跡		伏・下鳥羽芹川町3-10, 39-2, 39		
立会	T B-50	3/25・26	1.49m	上部削平
表土下0.83m以下で弥生時代の包含層検出。				32-50

平安京左京九条一坊隣接地		南・唐橋堂ノ前町45~羅城門町60		
立会	T B-51	3/25~28	1.60m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

鳥羽離宮跡		伏・竹田樋ノ井町50-2, 50-3		
立会	T B-52	3/31	1.20m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-52

鳥羽離宮跡		伏・竹田小屋ノ内町		
立会	T B-53	3/31	1.30m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				31-53

中久世遺跡		南・久世中久町736		
立 会	MK-1	5/8, 6/8・9	2.00m	未確認
盛土のみ。				34-MK1

上久世遺跡		南・久世上久世町417-1		
立 会	MK-2	5/20・21・24	1.10m	半壊
表土下0.4mにて北東～南西方向の溝1条検出。出土遺物なし。溝延長部にて室町時代前期の土壌及び溝状遺構数基検出。				

中久世遺跡		南・久世殿城町104-4		
立 会	MK-3	5/23	0.95m	半壊
表土下0.85mにて北西～南東方向の溝1条、土壌5基検出。時期不明。				
				34-MK3

中久世遺跡		南・久世殿城町126		
立 会	MK-4	5/29	0.05m	未確認
盛土のみ。				
				34-MK4

中久世遺跡		南・久世殿城町33		
立 会	MK-5	7/29・30	2.25m	上部削平
表土下1.3mにて古墳時代の包含層検出。1.7mで弥生時代の包含層検出。				
				34-MK5

上久世遺跡		南・久世上久世町地先		
立 会	MK-6	9/27	1.22m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中久世遺跡		南・久世中久世町四丁目10		
試 掘	MK-7	10/4	1.23m	半壊
表土下1.2m平安時代後期～室町時代の柱穴、溝と弥生時代後期の竪穴住居址状の遺構2基検出。				
				34-MK7

上久世遺跡		南・久世上久世町		
立 会	MK-8	12/13～2/1	3.30m	全壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

福西古墳群		西・大枝北福西町四丁目地先		
立 会	MK-9	12/2	1.40m	未確認
盛土のみ。				

中久世遺跡		南・久世中久世二丁目104-4		
立 会	MK-10	1/21~27	1.00m	半壊
表土下0.66m以下にて弥生時代中期～古墳時代前期の土壌、南北方向の溝など多数検出。土器、石器、弥生時代中期の完形の甕など出土。				
				34-MK10

上久世遺跡		南・久世中久世町1丁目		
立 会	MK-11	2/21~24	1.30m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
				34-MK11

上久世遺跡隣接地		南・久世上久世町400-2、他		
試 掘	MK-12	3/25・26	1.70m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

中久世遺跡		南・久世中久世町5丁目81		
立 会	MK-13	3/8	2.00m	不明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
				34-MK13

長岡京跡		伏・納所薬師堂地内		
立 会	NG-1	4/8・16	1.25m	未確認
埋土のみ。				

旧淀城跡		伏・納所妙徳寺(納所小学校)		
立 会	NG-2	5/10	2.00m	上部削平
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

長岡京跡		南・久世東土川町183		
立 会	NG-3	7/22	0.50m	未確認
盛土のみ。				
				34-NG3

長岡京跡		南・久世築山町470		
試 掘	NG-4	7/30	3.00m	半壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				
				34-NG4

淀 城 跡	伏・淀本町167			
試 掘	NG-5	8/2	2.00m	未 確 認
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

長 岡 京 跡	伏・淀本町174-46			
立 会	NG-6	8/31, 9/1	1.00m	不 明
旧河川の堆積のみ。				

長 岡 京 跡	南・久世築山町485, 486			
試 掘	NG-7	9/22	2.20m	半 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				34-NG7

長 岡 京 跡	伏・羽東師斐川町地先～志水町地先			
立 会	NG-8	9/28～10/1	2.25m	全 壊
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

東 土 川 遺 跡	南・久世東土川町334-2			
立 会	NG-9	10/5～7		全 壊
表土下0.5mにて弥生時代中期～後期の溝、土壇、柱穴など多数検出。				34-NG9

淀 城 跡	伏・淀本町231			
試 掘	NG-10	11/2	2.80m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

長 岡 京 跡	南・久世東土川町10-1			
試 掘	NG-11	11/18	2.80m	上部削平
表土下2.1mにて長岡京時代の包含層検出。				34-NG11

長 岡 京 跡	伏・横大路西海道、他			
立 会	NG-12	11/24～1/8	2.80m	不 明
旧河川の堆積層検出。出土遺物なし。				

長 岡 京 跡	伏・淀樋爪町627, 628			
立 会	NG-13	1/12	2.10m	不 明
対象となる遺構・遺物の検出なし。				

長岡京跡		南・久世大蔵町500-1・2			
試掘	NG-14	1/21	1.25m	上部削平	
調査区南側、表土下1.1mで0.7m角の方形柱穴2基及び溝状遺構検出。中央部表土下1.0mで溝状遺構2条及び弥生時代の包含層検出。					34-N G14

長岡京跡		南・久世大蔵町545-3			
立会	NG-15	2/9	1.20m	不明	
対象となる遺構・遺物の検出なし。					34-N G15

图 版



1. 左京三条三坊(HL44)調査区全景(北から)



2. 同SD1土器出土状況(南から)



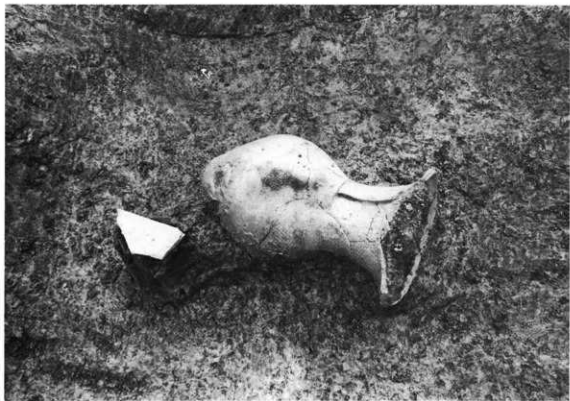
1. 右京二条二坊(HR81)調査区全景(南から)



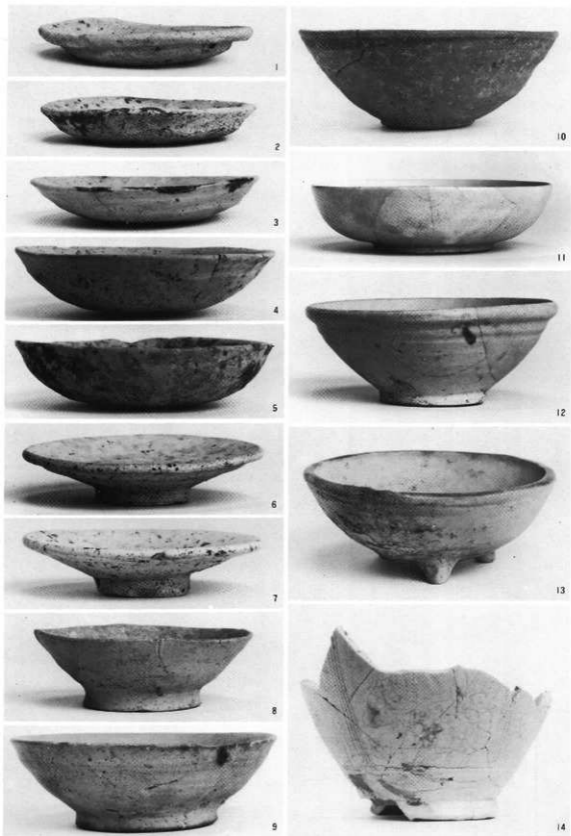
2. 同SD1、SD2、SK13(南から)



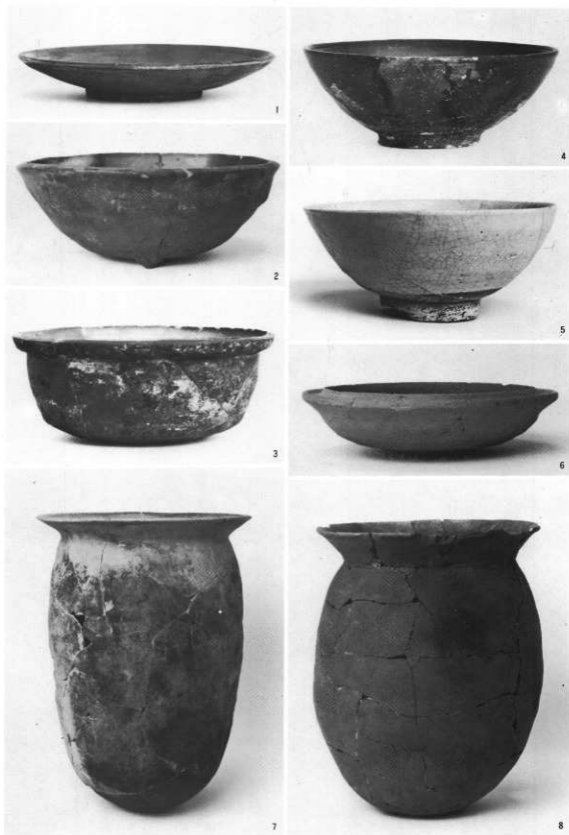
1. 東土川遺跡(NG9)土器出土状況(北東から)



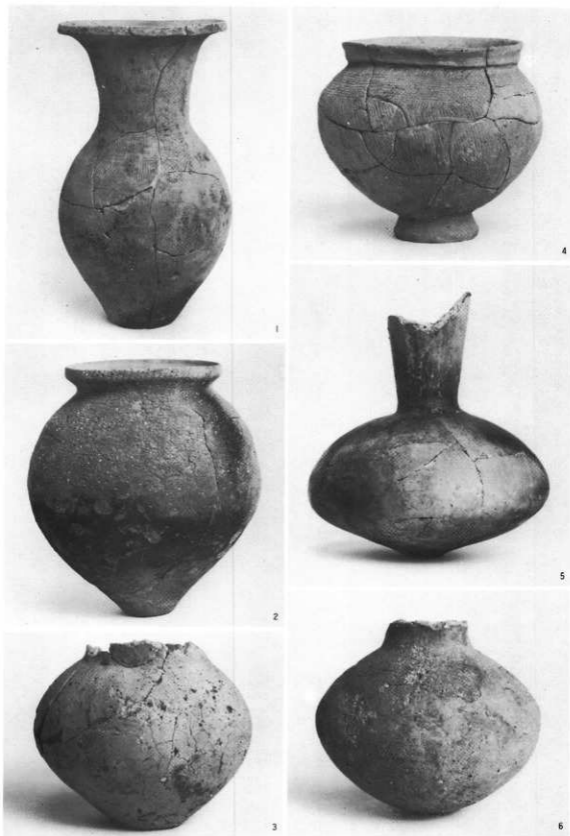
2. 中久世遺跡(MK10)SD1土器出土状況(北から)



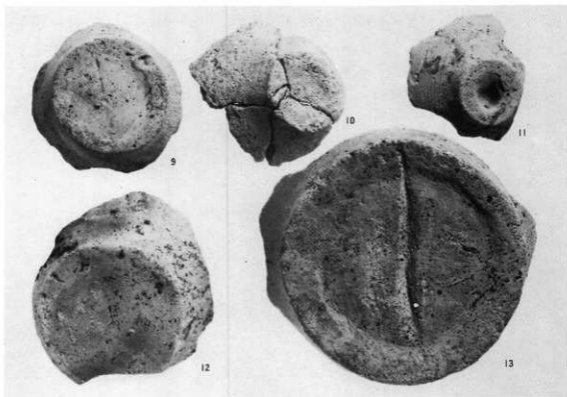
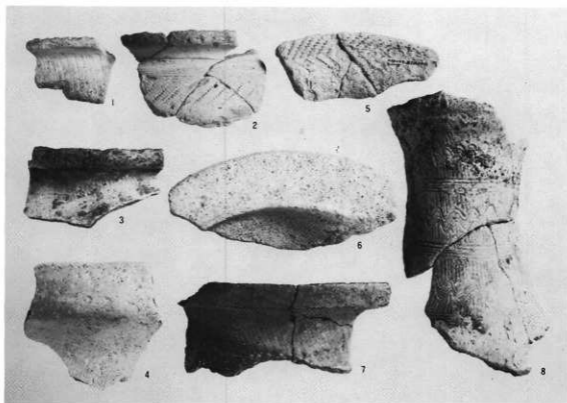
左京三条三坊(HL44)S D 1 出土土器



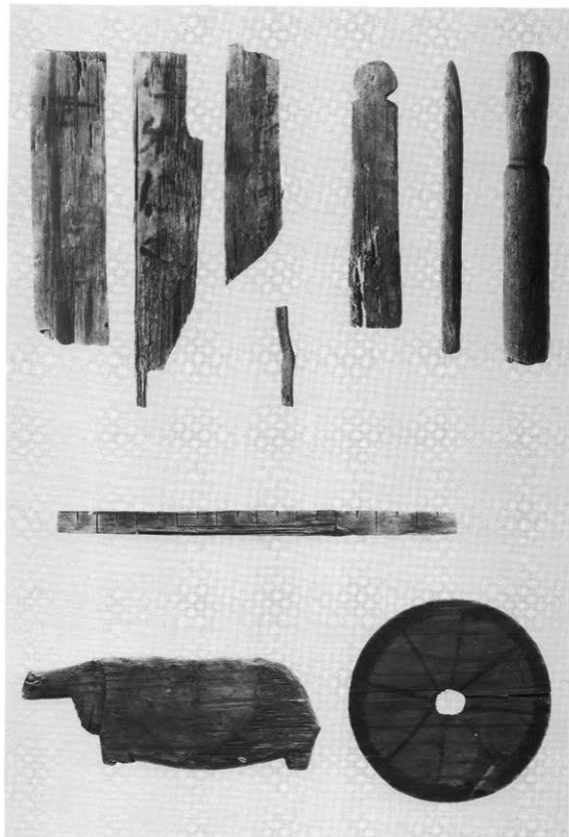
西大宮大路(HR81)出土土器1~3 仁和寺南院跡(UZ5)出土土器4・5
北白河古墳群(KS15)出土土器6~8



中久世遺跡(MK10)出土土器1・4 東土川遺跡(NG9)出土土器2・3・5・6



東土川遺跡(NG9)出土土器SD1(2~11) SK8(1・12・13)



仁和寺南院跡(UZ5)池状遺構出土木製品



1. 小塩地区調査地空撮(南から)



2. 小塩地区小塩川西岸全景(南東から)



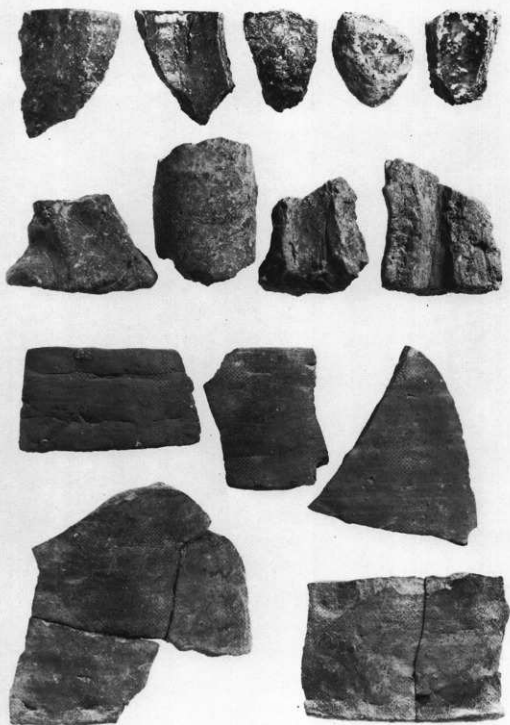
1. 南春日地区調査地空撮(南から)



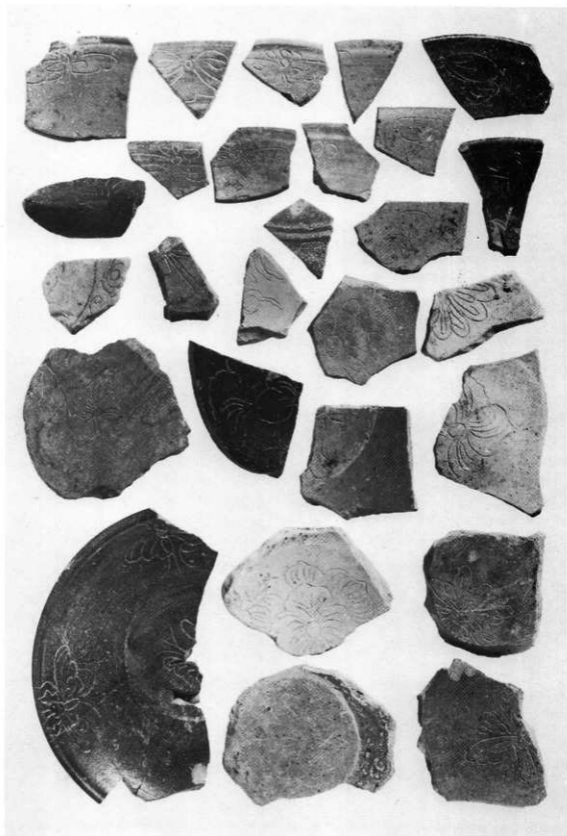
2. 南春日地区全景(北西から)



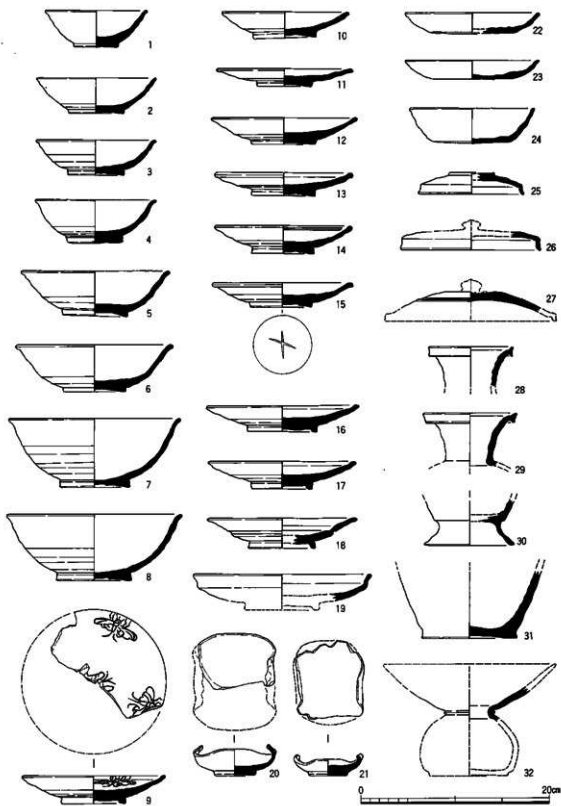
緑釉・無釉陶器・須恵器(小塩地区)



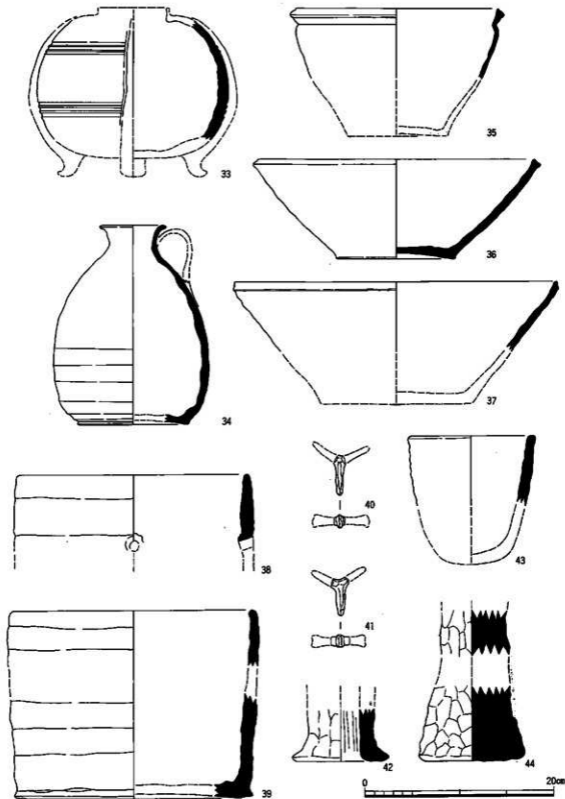
窯道具(小塚地区)



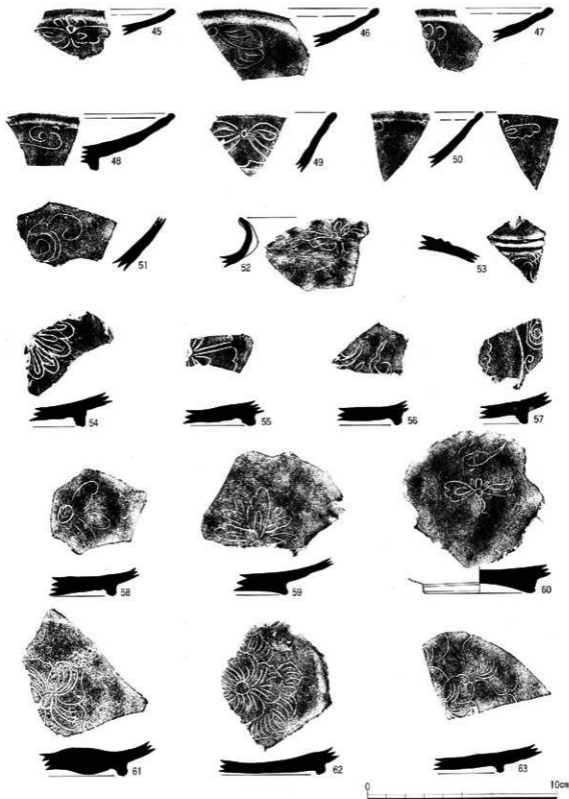
綠釉・無袖陶器除刻文樣(小邨地区)



出土遺物実測図 無釉陶器1～5、7・8、10・11、13、15、18、20、21、25～28、30～32
 緑釉陶器6、9、12、14、16、17、19、29 須恵器22～24



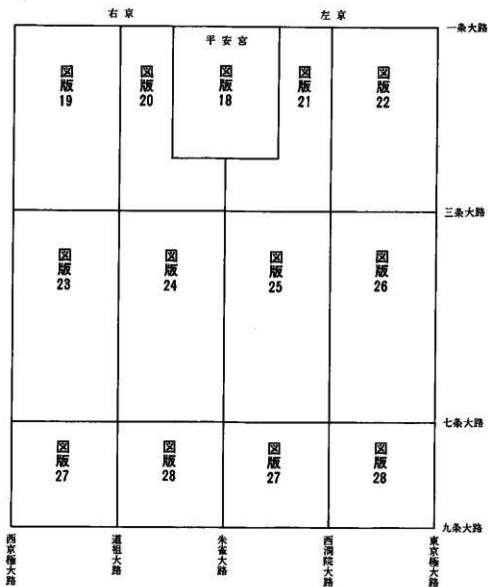
出土遺物実測図 無釉陶器33、須恵器35-37、灰釉陶器34、窯道具38-44



出土遺物拓影・実測図 無釉陶器 47、49～52、54、56～59、61～63
緑釉陶器 45、46、48、53、55、60

調査地点位置図

平安京図葉分割図



凡 例

- □ 試掘調査地点
- ▲ ——— 立会調査地点
- 遺跡範囲

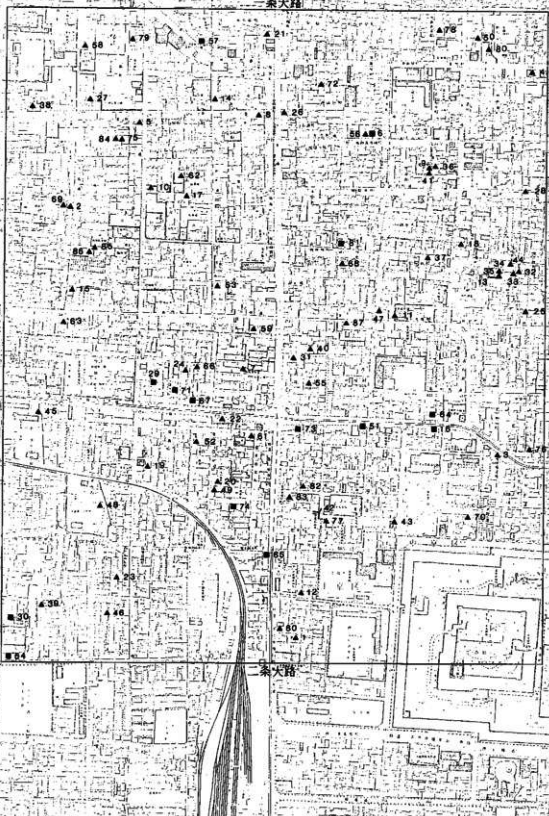
平安宮

一条大路

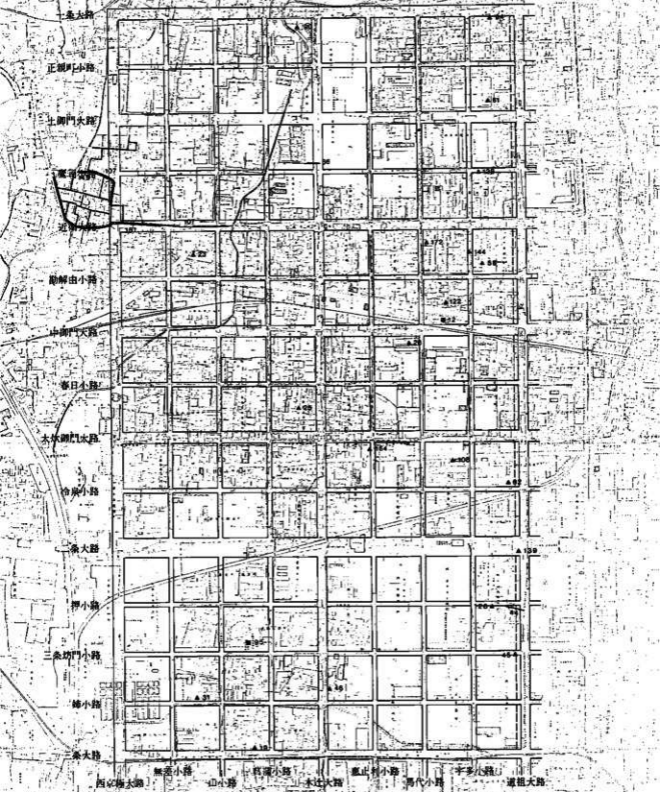
西大宮大路

大宮大路

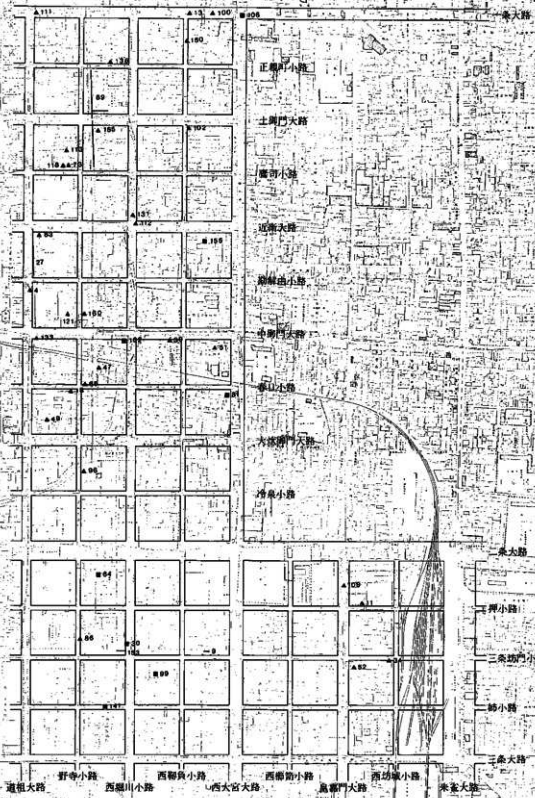
二条大路



右京北邊大門三之三、四坊



右京北辺



圖號 22

左 東 北 西 一 二 三 號

一 東 大 路

正 規 阿 小 路

湖 門 大 路

廣 前 小 路

五 街 大 路

勤 解 由 小 路

中 湖 門 大 路

春 日 小 路

大 湖 門 大 路

冷 泉 小 路

二 東 大 路

湖 小 路

三 東 湖 門 大 路

三 東 大 路

朱 雀 大 路

功 德 小 路

壬 生 大 路

德 壽 小 路

天 宮 大 路

權 國 小 路

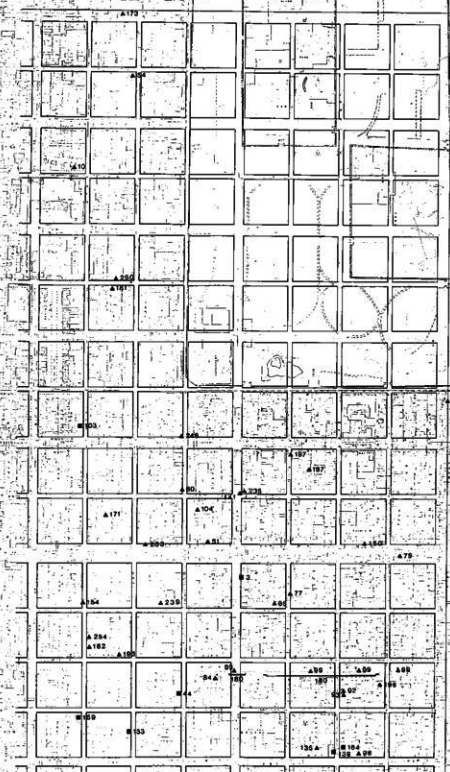
德 川 小 路

油 小 路

西 湖 院 大 路



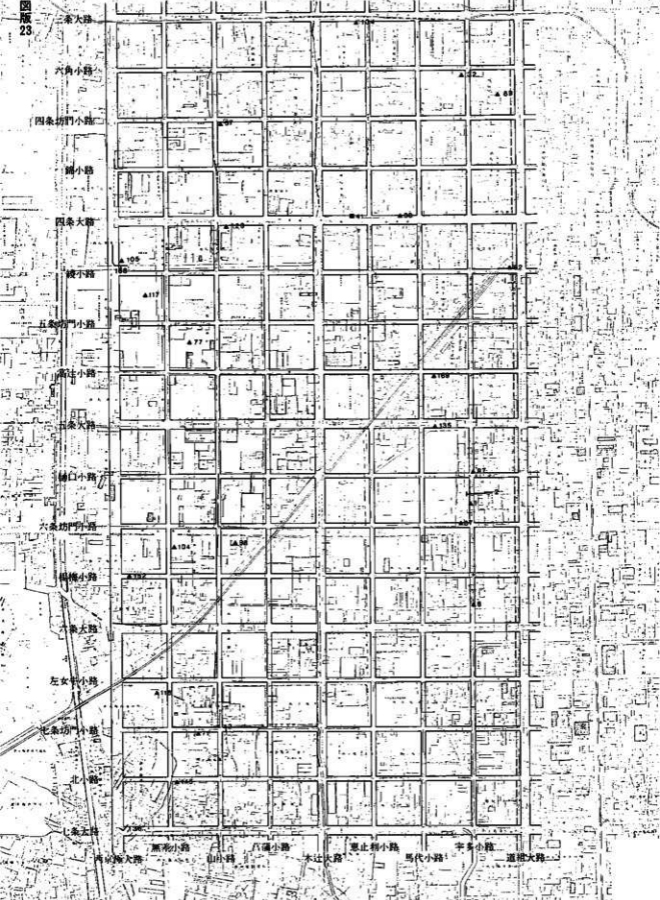
左京北邊・一・三・桑・四坊



一桑大路
 正觀町小路
 上御門大路
 藤司小路
 近衛大路
 藤原由小路
 中御門大路
 藤原小路
 大炊御門大路
 冷泉小路
 三桑大路
 櫻小路
 三桑坊門小路
 藤小路
 三桑大路

西御院大路 町成小路 至町小路 東御院大路 高倉小路 万里小路 高小路 東藏大路

右京 四・五・六・七 条 三・四 坊

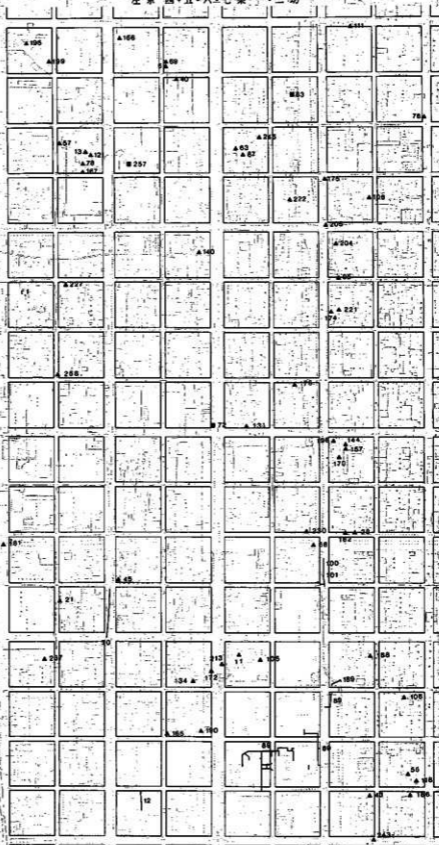




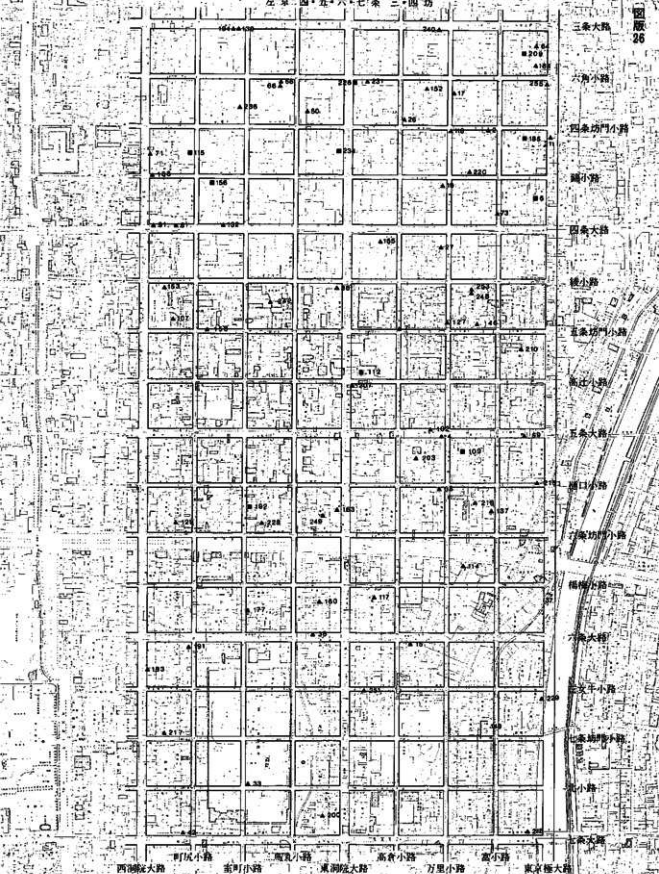
左京 四・五・六・七条 一・二坊

圖版
25

三條大路
六角小路
四條坊門小路
錦小路
四條大路
錦小路
五條坊門小路
高辻小路
五條大路
樋口小路
六條坊門小路
檜梅小路
六條大路
左女平小路
七條坊門小路
北小路
七條大路



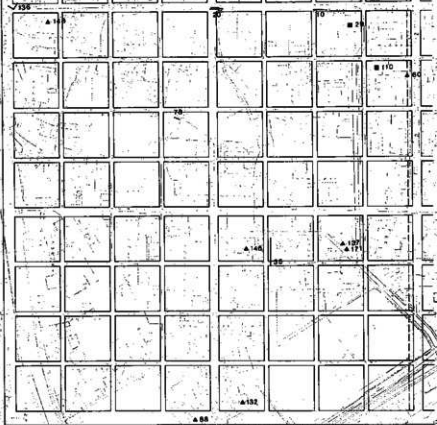
朱雀大路 坊城小路 壬生大路 檜梅小路 大宮大路 猪隈小路 堀川小路 油小路 西洞院大路



三條大路
六角小路
四條坊門小路
鋪小路
四條大路
綾小路
五條坊門小路
新江小路
五條大路
樋口小路
六條坊門小路
橋場小路
六條大路
三文字小路
七條坊門小路
荒小路
七條大路

西湖大路 町尻小路 新町小路 堀川小路 東堀川大路 高倉小路 方里小路 荒小路 東京極大路

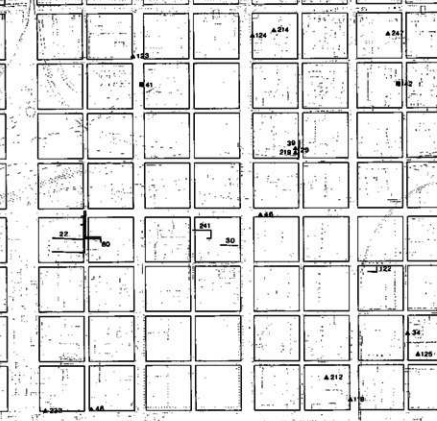
七条大路
 堀小路
 八条坊門小路
 梅小路
 八条大路
 針小路
 九条坊門小路
 信濃小路
 九条大路



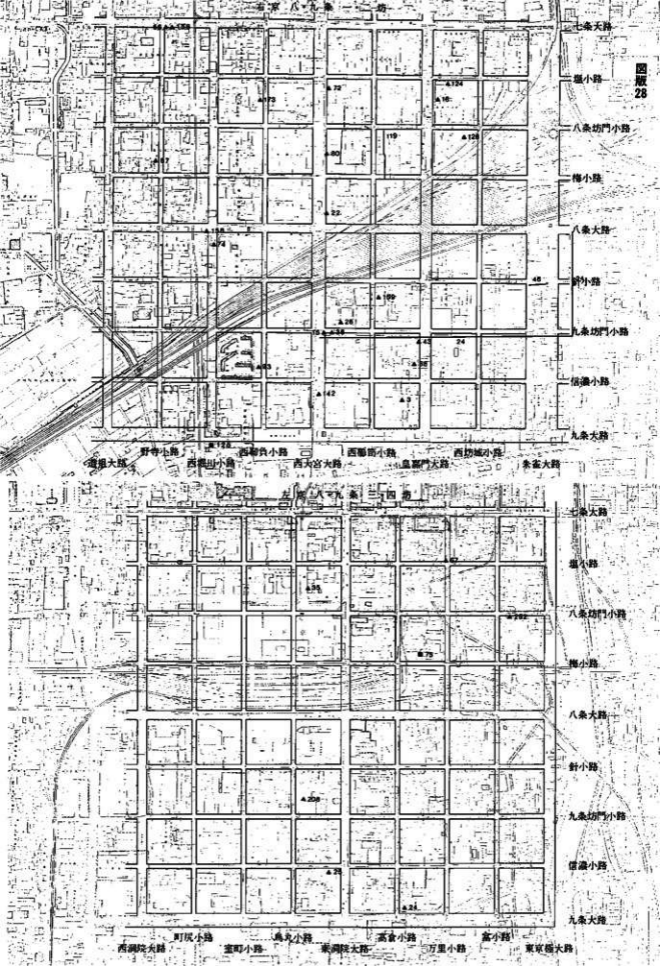
西京極大路 無差小路 山小路 葛籠小路 木辻大路 惠止利小路 鳥代小路 宇多小路 通祖大路

左京 八・九条 一・二坊

七条大路
 堀小路
 八条坊門小路
 梅小路
 八条大路
 針小路
 九条坊門小路
 信濃小路
 九条大路



朱雀大路 坊城小路 壬生大路 御前小路 大宮大路 猪熊小路 堀川小路 油小路 西洞院大路



七條大路
蓮小路
八條坊門小路
梅小路
八條大路
針小路
九條坊門小路
信濃小路
九條大路

西野小路 西野負小路 西野街小路 西野城小路
西野宮大路 西野門大路 西野宮大路 西野宮大路 西野宮大路 西野宮大路 西野宮大路 西野宮大路

七條大路
蓮小路
八條坊門小路
梅小路
八條大路
針小路
九條坊門小路
信濃小路
九條大路

西野院大路 町尻小路 鳥丸小路 高倉小路 萬里小路 富小路 東京橋大路



上 中 下

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學

中 央 大 學



鳥羽離宮跡

伏見区

中島区

中島区

■ 18

▲ 19 ■ 19

■ 31 ▲ 48 ■ 3

▲ 30

■ 45

■ 46

■ 43

■ 40

▲ 52

■ 27

■ 35

■ 3

▲ 47

■ 23

■ 53

■ 15

■ 16

■ 17

■ 20

■ 21

■ 22

■ 24

■ 25

■ 26

■ 28

■ 29

■ 30

■ 31

■ 32

■ 33

■ 34

■ 35

■ 36

■ 37

■ 38

■ 39

■ 40

■ 41

■ 42

■ 43

■ 44

■ 45

■ 46

■ 47

■ 48

■ 49

■ 50

■ 51

■ 52

■ 53

■ 54

■ 55

■ 56

■ 57

■ 58

■ 59

■ 60

■ 61

■ 62

■ 63

■ 64

■ 65

■ 66

■ 67

■ 68

■ 69

■ 70

■ 71

■ 72

■ 73

■ 74

■ 75

■ 76

■ 77

■ 78

■ 79

■ 80

■ 81

■ 82

■ 83

■ 84

■ 85

■ 86

■ 87

■ 88

■ 89

■ 90

■ 91

■ 92

■ 93

■ 94

■ 95

■ 96

■ 97

■ 98

■ 99

■ 100

■ 101

■ 102

■ 103

■ 104

■ 105

■ 106

■ 107

■ 108

■ 109

■ 110

■ 111

■ 112

■ 113

■ 114

■ 115

■ 116

■ 117

■ 118

■ 119

■ 120

■ 121

■ 122

■ 123

■ 124

■ 125

■ 126

■ 127

■ 128

■ 129

■ 130

■ 131

■ 132

■ 133

■ 134

■ 135

■ 136

■ 137

■ 138

■ 139

■ 140

■ 141

■ 142

■ 143

■ 144

■ 145

■ 146

■ 147

■ 148

■ 149

■ 150

■ 151

■ 152

■ 153

■ 154

■ 155

■ 156

■ 157

■ 158

■ 159

■ 160

■ 161

■ 162

■ 163

■ 164

■ 165

■ 166

■ 167

■ 168

■ 169

■ 170

■ 171

■ 172

■ 173

■ 174

■ 175

■ 176

■ 177

■ 178

■ 179

■ 180

■ 181

■ 182

■ 183

■ 184

■ 185

■ 186

■ 187

■ 188

■ 189

■ 190

■ 191

■ 192

■ 193

■ 194

■ 195

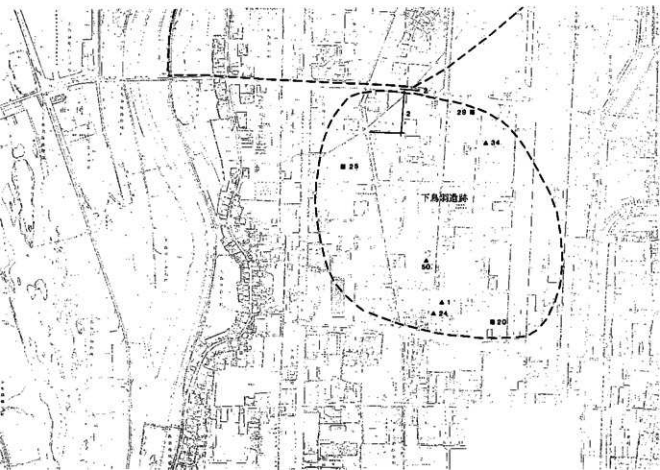
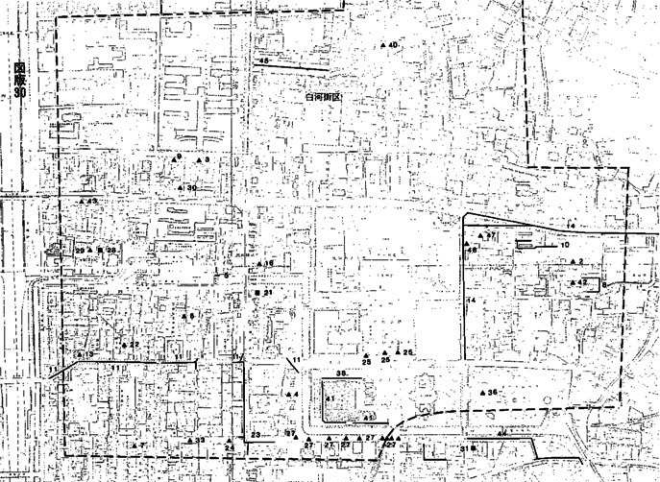
■ 196

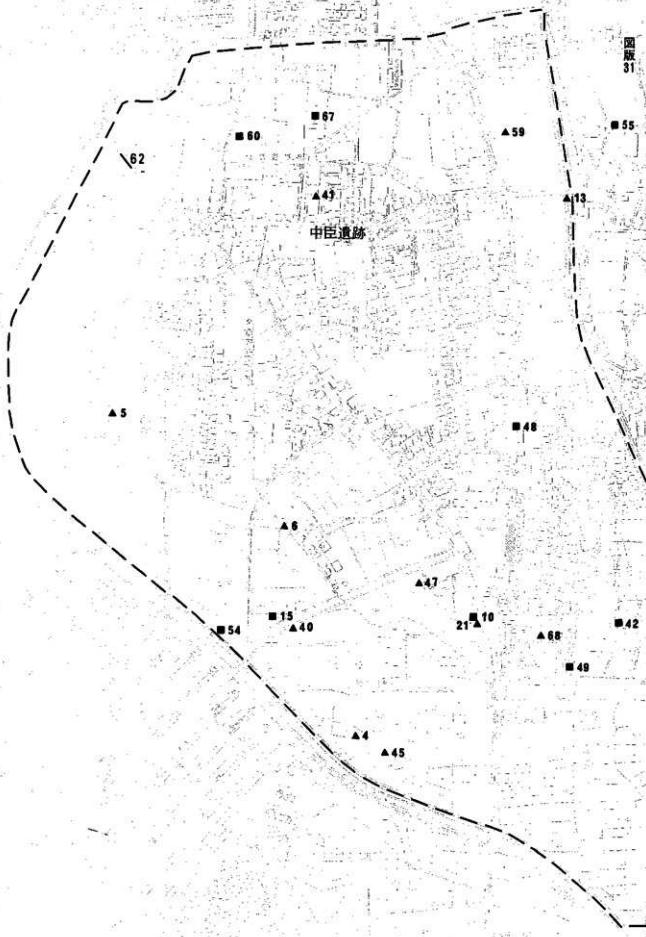
■ 197

■ 198

■ 199

■ 200











東 西





京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和57年度

発行日 昭和58年3月31日

発 行 京都市文化観光局
〒606 京都市左京区岡崎最勝寺町13 京都会場内

編 集 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所
〒602 京都市上京区今出川通大宮東入ル元伊佐町265-1
T E L (075)415-0521

印 刷 徹 真 陽 社
〒600 京都市下京区袖小路横小路下ル風早町566
T E L (075)351-6034